

# 玉城町ふれあいホール 空調設備改修工事

[illegible]

工事特記仕様書（改修）

I. 工事名称

玉城町ふれあいホール空調設備改修工事

II. 工事概要

1 工事場所

三重県度会郡玉城町請田4876番1

2 敷地面積

—

3 工事内容

棟名称

ふれあいホール

構造

鉄筋コンクリート造

建築面積

—

延べ面積

870.57㎡

工事項目

本工事は空調設備工事及び付随する建築、電気設備工事を行うものとする  
※全熱交換器（HEX-3）は別途追加契約を予定する。

III. 建築改修工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書 令和2年8月制定版」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。

2 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修標準仕様書の該当項目等を示す。

章

項目

特記事項

①

① 適用基準等

1）公共建築工事標準仕様書（建築工事編）  
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（平成31年版）

2）建築工事標準詳細図  
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（平成28年版）

②

② 施工条件

(1. 3. 5)

○ 監督員と協議し決定する。  
施工可能日  
・ 指定なし  
・ 指定有り（打合せ）  
一部に土、日曜日、祝祭日施工あり

施工可能時間帯  
○ 指定なし  
・ 時 ～ 時  
・ 指定有り（打合せ）

概成工期  
・ 指定なし  
・ 年 月 日  
○ 適用しない

3

部分引渡し、部分使用

・ 部分引き渡しあり  
・ 部分使用あり

指定部分（ ）  
時 期（平成 年 月 日～ ）

4

埋蔵文化財調査

埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。  
・ 発掘調査等の実施あり  
・ 発見された場合、発掘調査等の実施あり

⑤

⑤ 発生材の処理等

(1. 3. 12)

・ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。  
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
屋根	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
その他（ ）	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用

・ 引き渡しを要するもの  
・ 有（ ）  
・ 特別管理産業廃棄物  
・ 有（ ）  
・ 水銀使用製品産業廃棄物  
・ 有（ ・ 蛍光ランプ ・ HIDランプ ・ （ ））  
・ 現場において再利用を図るもの  
・ （ ）  
・ 再資源化を図るもの  
・ コンクリート塊  
・ アスファルトコンクリート塊  
・ 建設発生木材

⑥

建設副産物情報交換システムの利用

再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負代金額が1億円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

⑦

三重県産業廃棄物税

本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。  
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェスト）の数量の集計）を超えて請求することはできない。

⑧

電気保安技術者

(1. 3. 3)

配置する

⑨

技能士

(1. 6. 2)

職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。

10

施工数量調査

(1. 5. 2)

調査範囲及び調査方法  
・ 工種別の特記による

11

調査のための破壊部分の補修

(1. 5. 3)

補修方法  
・ 図示（図面番号： ）  
・ （ ）

12

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴

[illegible]

	<div>(6.8.2)(3)④(Ⅱ)</div> <div><div><div>・<div>防滑性床シート又は床タイル</div><table><tr><th>種類</th><th>寸法</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr><tr><td>超防汚性ビニル床シート</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></div></div></div> <div>(6.8.2)(5)</div> <div><div><div>・<div>ゴム床タイル</div><table><tr><th>種類</th><th>色柄</th><th>寸法</th><th>厚さ</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></div></div></div> <div>(6.8.3)(1)</div> <div><div>工法</div><div><div>下地</div><div>・モルタル塗り</div><div>・セルフレベリング材塗り</div><div>・木下地</div><div>・その他（ ）</div></div></div> <div>(6.8.3)(2)④(Ⅱ)</div> <div><div><div>ビニル床シート張り</div><div>熱溶接工法</div><div>・適用する</div><div>・適用しない</div></div></div> <div>8カーベット敷き</div> <div>(6.9.3)(1)<div>(表6.9.1)</div></div> <div><div><div>・<div>織じゅうたん</div><table><tr><th>種別</th><th>糸の種類</th><th>パイルの形状</th><th>帯電性</th><th>品質の程度</th><th>色柄</th></tr><tr><td>・A種</td><td>・羊毛</td><td>・カットパイル</td><td>・人体帯電圧 3KV以下</td><td>・（ ）</td><td>・無地</td></tr><tr><td>・B種</td><td>・紡糸</td><td>・ルーブパイル</td><td></td><td></td><td>・柄物</td></tr><tr><td>・C種</td><td>・（ ）</td><td>・カット、ルーブ併用</td><td>・（ ）</td><td></td><td></td></tr></table></div><div>品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。（以下同様）</div></div></div> <div>(6.9.2)(2)<div>(表6.9.2)</div></div> <div><div><div>・<div>タフテッドカーベット</div><table><tr><th>パイルの形状</th><th>パイル長(mm)</th><th>帯電性</th><th>工法</th><th>品質の程度</th></tr><tr><td>・カットパイル</td><td></td><td>・人体帯電圧 3KV以下</td><td>・全面接着工法</td><td></td></tr><tr><td>・ルーブパイル</td><td></td><td></td><td>・グリッパー工法</td><td>・（ ）</td></tr><tr><td>・カット、ルーブ併用</td><td></td><td>・（ ）</td><td></td><td></td></tr></table></div></div></div> <div>(6.9.2)(3)</div> <div><div><div>・<div>ニードルパンチカーベット</div><table><tr><th>厚さ(mm)</th><th>帯電性</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td>・人体帯電圧 3KV以下</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・（ ）</td><td></td></tr></table></div></div></div> <div>(6.9.2)(4)<div>(表6.9.2)</div></div> <div><div><div>・<div>タイルカーベット</div><table><tr><th>種類</th><th>パイルの形状</th><th>寸法(mm)</th><th>総厚さ(mm)</th><th>品質の程度</th></tr><tr><td></td><td>・カットパイル</td><td>・500×500</td><td>・6.5</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・ルーブパイル</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr></table></div></div></div> <div>(6.9.2)(5)</div> <div>(6.9.2)(6)</div> <div><div><div>下敷き材</div><div>・第2種第2号、厚さ8mm</div><div>・（ ）</div></div><div><div>見切り、押え金物</div><div>・適用する（材質、種類及び形状</div><div>・図示（図面番号： ））</div></div></div> <div>(6.9.3)(3)</div> <div><div><div>織じゅうたんの接合方法</div><div>・ヒートボンド工法</div><div>・（ ）</div></div></div> <div>(6.9.3)(5)</div> <div><div><div>タイルカーベットの敷き方</div><table><tr><th>平場</th><td>・市松敷き</td><td>・模様流し</td><td>・（ ）</td></tr><tr><th>階段部分</th><td>・市松敷き</td><td>・模様流し</td><td>・（ ）</td></tr></table></div></div>	種類	寸法	厚さ	備考	超防汚性ビニル床シート												種類	色柄	寸法	厚さ	備考																種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄	・A種	・羊毛	・カットパイル	・人体帯電圧 3KV以下	・（ ）	・無地	・B種	・紡糸	・ルーブパイル			・柄物	・C種	・（ ）	・カット、ルーブ併用	・（ ）			パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度	・カットパイル		・人体帯電圧 3KV以下	・全面接着工法		・ルーブパイル			・グリッパー工法	・（ ）	・カット、ルーブ併用		・（ ）			厚さ(mm)	帯電性	備考		・人体帯電圧 3KV以下			・（ ）		種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度		・カットパイル	・500×500	・6.5			・ルーブパイル	・（ ）	・（ ）	・（ ）	平場	・市松敷き	・模様流し	・（ ）	階段部分	・市松敷き	・模様流し	・（ ）
種類	寸法	厚さ	備考																																																																																																														
超防汚性ビニル床シート																																																																																																																	
種類	色柄	寸法	厚さ	備考																																																																																																													
種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄																																																																																																												
・A種	・羊毛	・カットパイル	・人体帯電圧 3KV以下	・（ ）	・無地																																																																																																												
・B種	・紡糸	・ルーブパイル			・柄物																																																																																																												
・C種	・（ ）	・カット、ルーブ併用	・（ ）																																																																																																														
パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度																																																																																																													
・カットパイル		・人体帯電圧 3KV以下	・全面接着工法																																																																																																														
・ルーブパイル			・グリッパー工法	・（ ）																																																																																																													
・カット、ルーブ併用		・（ ）																																																																																																															
厚さ(mm)	帯電性	備考																																																																																																															
	・人体帯電圧 3KV以下																																																																																																																
	・（ ）																																																																																																																
種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度																																																																																																													
	・カットパイル	・500×500	・6.5																																																																																																														
	・ルーブパイル	・（ ）	・（ ）	・（ ）																																																																																																													
平場	・市松敷き	・模様流し	・（ ）																																																																																																														
階段部分	・市松敷き	・模様流し	・（ ）																																																																																																														

9合成樹脂塗床

(6.10.3)(2)①(a)

(表6.10.4)

弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程

・平滑仕上げ

・防滑仕上げ

・つや消し仕上げ

(6.10.3)(2)①(b)

(6.10.3)(3)

(表6.10.5)～

(表6.10.8)

エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類

・薄膜流しのべ仕上げ（ ・平滑 ・防滑）

・厚膜流しのべ仕上げ（ ・平滑 ・防滑）

・樹脂モルタル仕上げ（ ・平滑 ・防滑）

・薄膜型塗床仕上げ（ ・平滑）

10フローリング張り

(6.11.4)

(表6.11.2)

・

釘留め工法

材料	種別	樹種
・フローリングボード（根太張用）		
・複合フローリング（根太張用）	・A種	・なら
	・B種	・（ ）
	・C種	

防湿処理

・図示（図面番号： ）

(6.11.5)

(表6.11.5)

(表6.11.6)

・

接着工法

材種	樹種	厚さ	大きさ
・フローリングボード（直張用）			
・フローリングブロック（直張用）	・なら		
・複合フローリング（直張用）	・（ ）		
・A種	・B種		
	・C種		

緩衝材

・合成樹脂発泡シート

・図示（図面番号： ）

(6.11.6)(3)

塗装

・ウレタン樹脂ワニス塗り（1液形、B種）

・オイルステイン塗りのうえワックス塗り

・生地のままワックス塗り

・（ ）

11畳敷き

(6.12.2)

(表6.12.1)

種別

・A種

・B種

・C種

・D種

・D種の畳床 K T - （ ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・K ・N ）

①②せっこうボード、その他ボード及び合板張り

(6.13.2)

(表6.13.1)

材種

種別

厚さ(mm)

		壁	・9.5(準不燃)
			・12.5(不燃)
○せっこうボード		天井	○9.5(準不燃)
			・12.5(不燃)
○化粧せっこうボード	○トラバーチン模様		・9.5(不燃) ○9.5(準不燃)
	・木目模様		・9.5(不燃) ・9.5(準不燃)
○ロックウール化粧吸音板	○普通		・9( ) ○12(不燃)
	○立体模様		・9( ) ○12(不燃)
○けい酸カルシウム板	○タイプⅡ0.8FK	○6	

(6.13.2)(3)④(Ⅱ)

遮音シール材

・シーリング材

・ジョイントコンパウンド

(6.13.3)(5)④(Ⅱ)

合板類の張付け

・A種

・B種

(6.13.3)(7)④(Ⅱ)

(表6.13.5)

せっこうボードの目地工法

・継目処理 ○突付け

・目通し

13壁紙張り

(6.14.2)

施工箇所	種類	防火性能	
		・不燃	・準不燃
		・不燃	・準不燃
		・不燃	・準不燃

14モルタル塗り

(6.15.3)

(6.15.5)

(6.15.6)

モルタル

・現場調合材料

・既調合材料

既製目地材

・使用する（形状： ）

床の目地

・図示（図面番号： ）

下地処理

・壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超

・図示（図面番号： ）

5～17分路

7塗装改修工事

①材料

(7.1.3)

②下地調整

(7.2.1～7.2.7)

(表7.2.1)～

(表7.2.7)

屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。

・次の箇所を除き防火材料とする。〈箇所： 〉

既存塗膜の除去範囲（塗り替えでR B種の場合）

・図示（図面番号： ）

3錆止め塗料塗り

(7.3.2)

(7.3.3)

(表7.3.1)～

(表7.3.4)

鉄鋼面

・A種

・B種

亜鉛めっき鋼面

・A種

・B種

・C種

錆止め塗料塗り種別

鉄鋼面

・A種

・B種

・C種

亜鉛めっき鋼面

・A種

・B種

・C種

④合成樹脂調合ベイント塗り(SOP)

(7.4.2)

(7.4.3～7.4.5)

(表7.4.1)～

(表7.4.3)

種別

下地

種別

・木部	・A種	・B種	・C種
・鉄鋼面	・A種	・B種	・C種
○亜鉛めっき鋼面	・A種	○B種	・C種

5クリヤラッカー塗り(CL)

(7.5.2)

(表7.5.1)

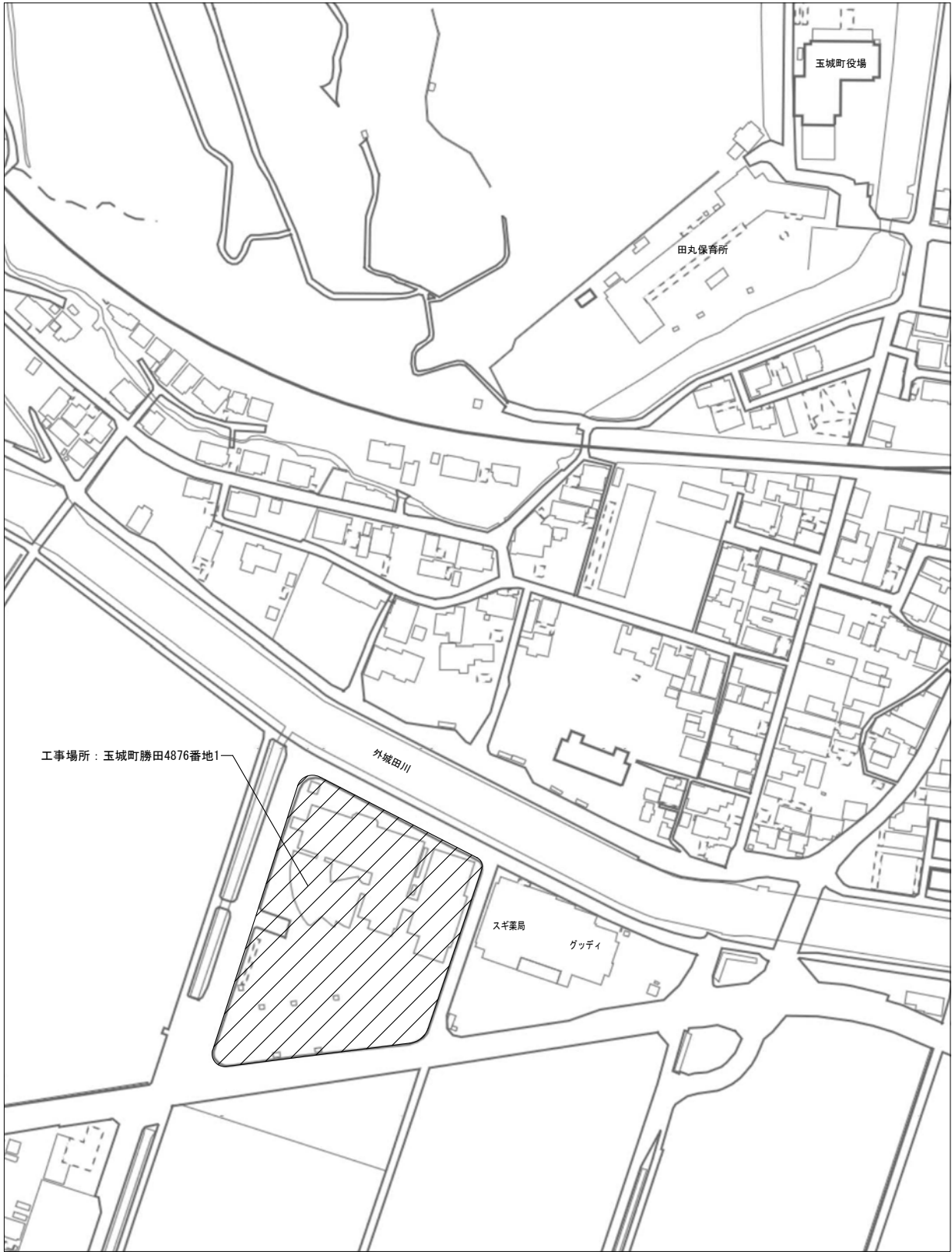
種別

木部

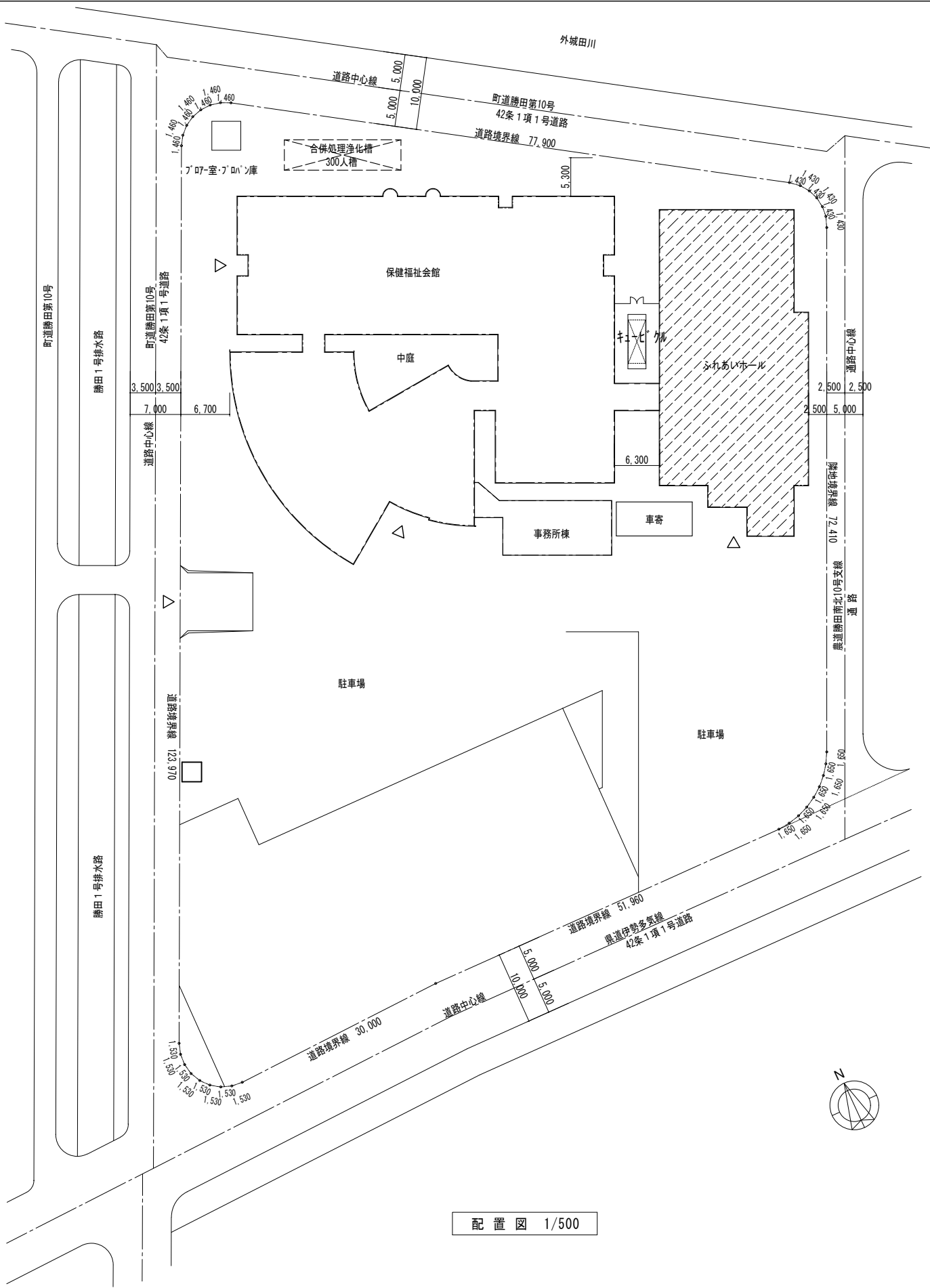
・A種

・B種

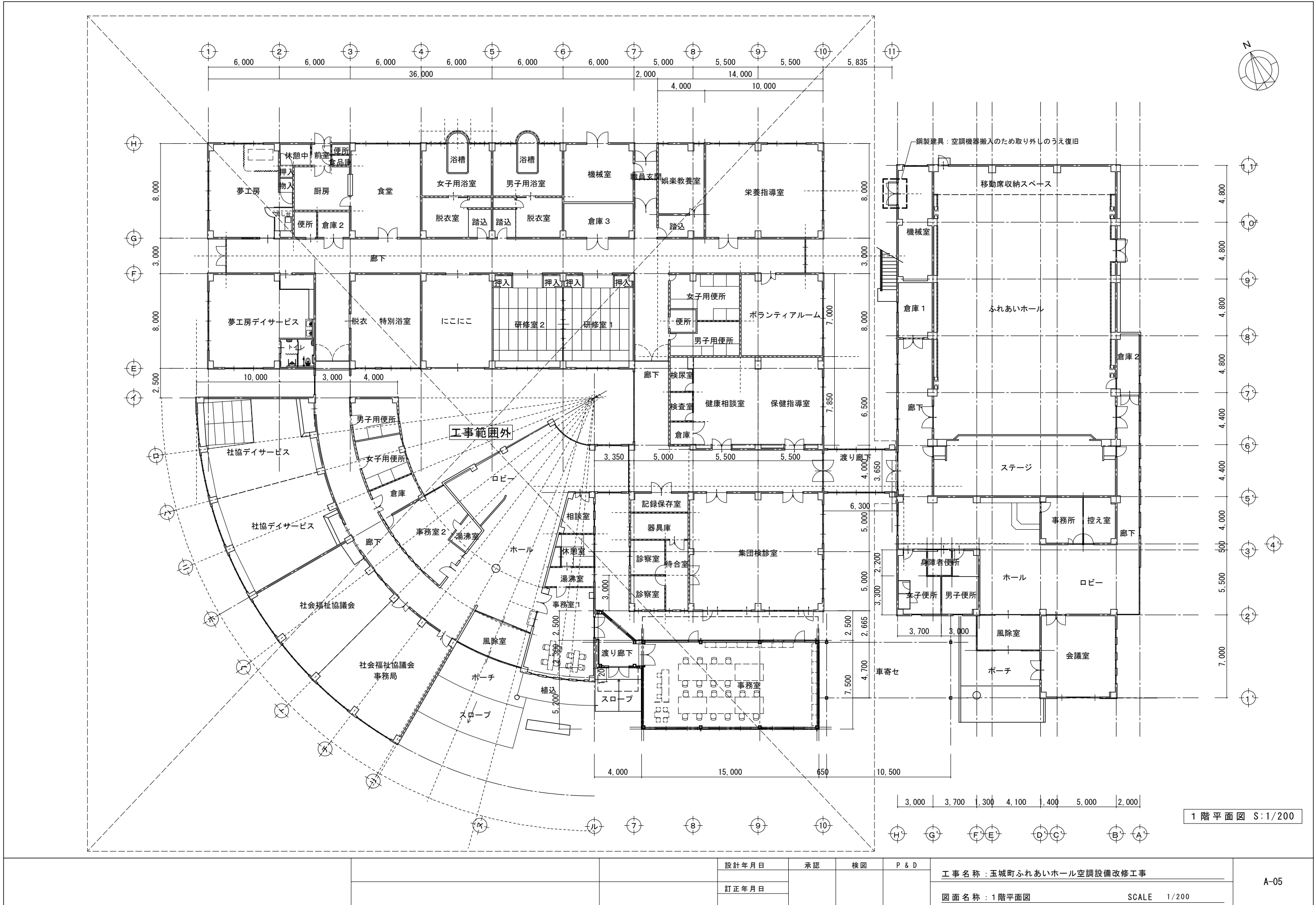
6アクリル樹脂



付 近 見 取 図

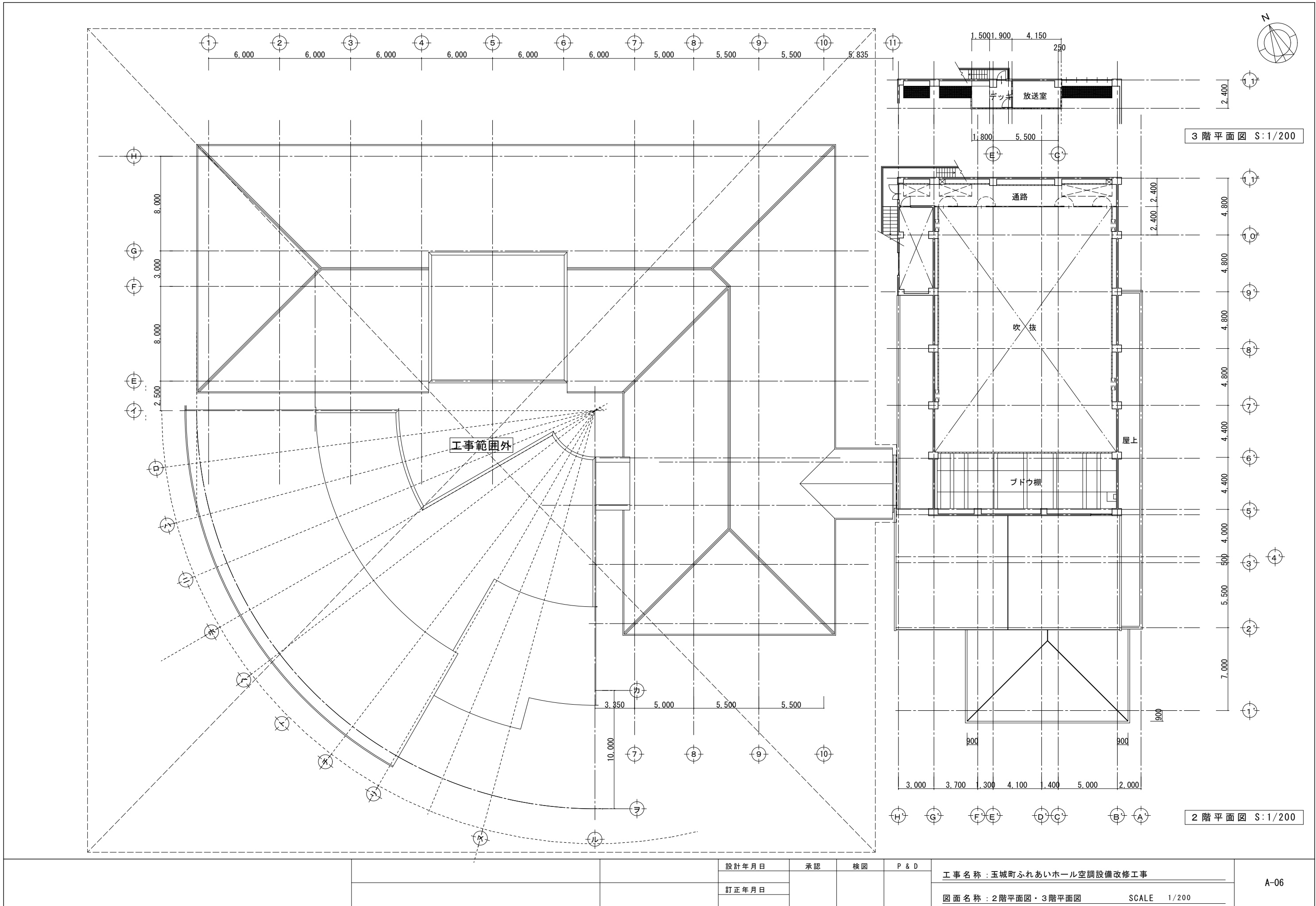


			設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称：玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	A-04
			訂正年月日				図 面 名 称：付近見取図・配置図	
							SCALE 1/500, 1/2500	



1 階平面図 S:1/200

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	A-05
			訂正年月日				図面名称：1 階平面図	
							SCALE 1/200	

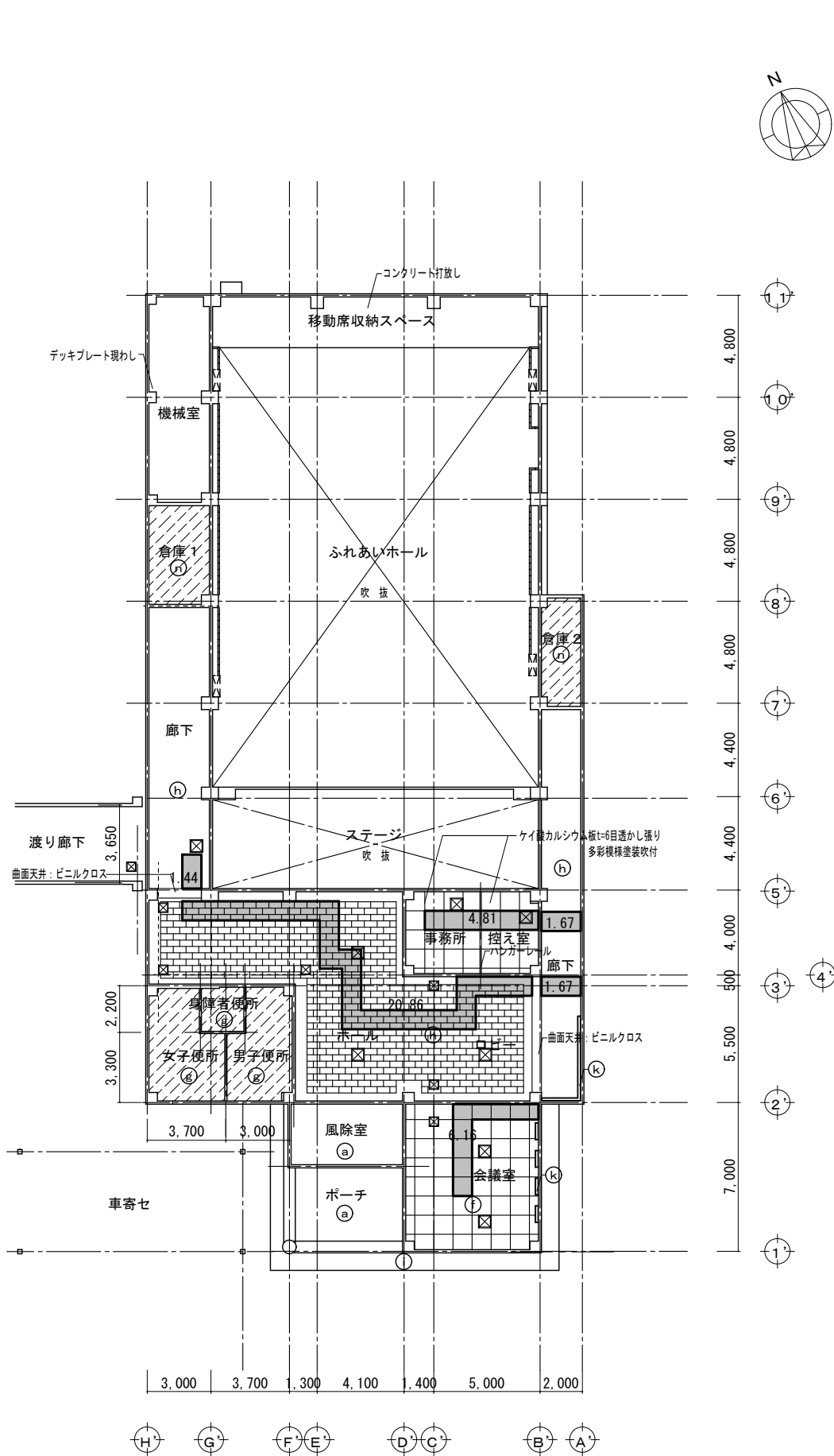




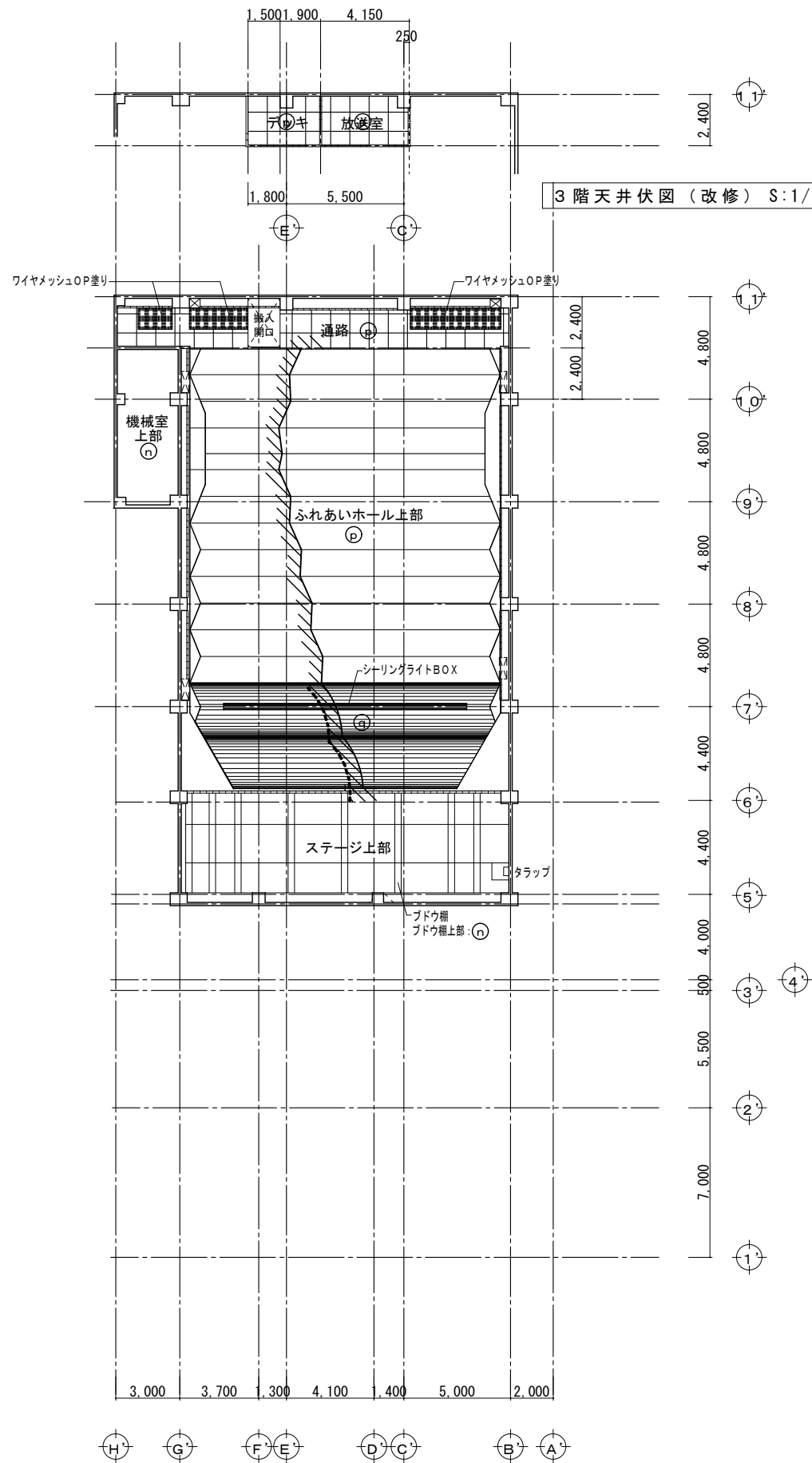


- 撤去のうえ同仕上げて復旧部分
- 空調改修対象外

記号	仕 上
a	アルミスパンデルt=0.8 (カラー)
b	テーパーボードt=9.5 ビニルクロス
c	ケイ酸カルシウム板t=6 目透かし張り EP
d	杉桎化粧石膏ボードt=9.5 敷目天井
e	ラワンベニヤt=4
f	化粧石膏ボードt=9.5 910×910
g	ケイ酸カルシウム板t=6 目透かし張り VP
h	プラスターボードt=9.5 捨て張り ロックウール吸音板t=9
i	合板型枠コンクリート打放し補修 アクリルリシン吹付
j	ケイ酸カルシウム板t=6 アクリルリシン吹付
k	ブラインドBOX OP
l	アルミブラインドBOX (ブラック)
m	アルミルーバー (ホワイト) 1800×1800
n	木毛セメント板
o	バスリブ
p	吸音石膏ボード t=9.5 EP・グラスウール t=50 裏打
q	難燃有孔ベニヤ t=5.5 EP・グラスウール t=50 裏打
☒	アルミ天井点検口 600×600
☒	アルミ天井点検口 450×450



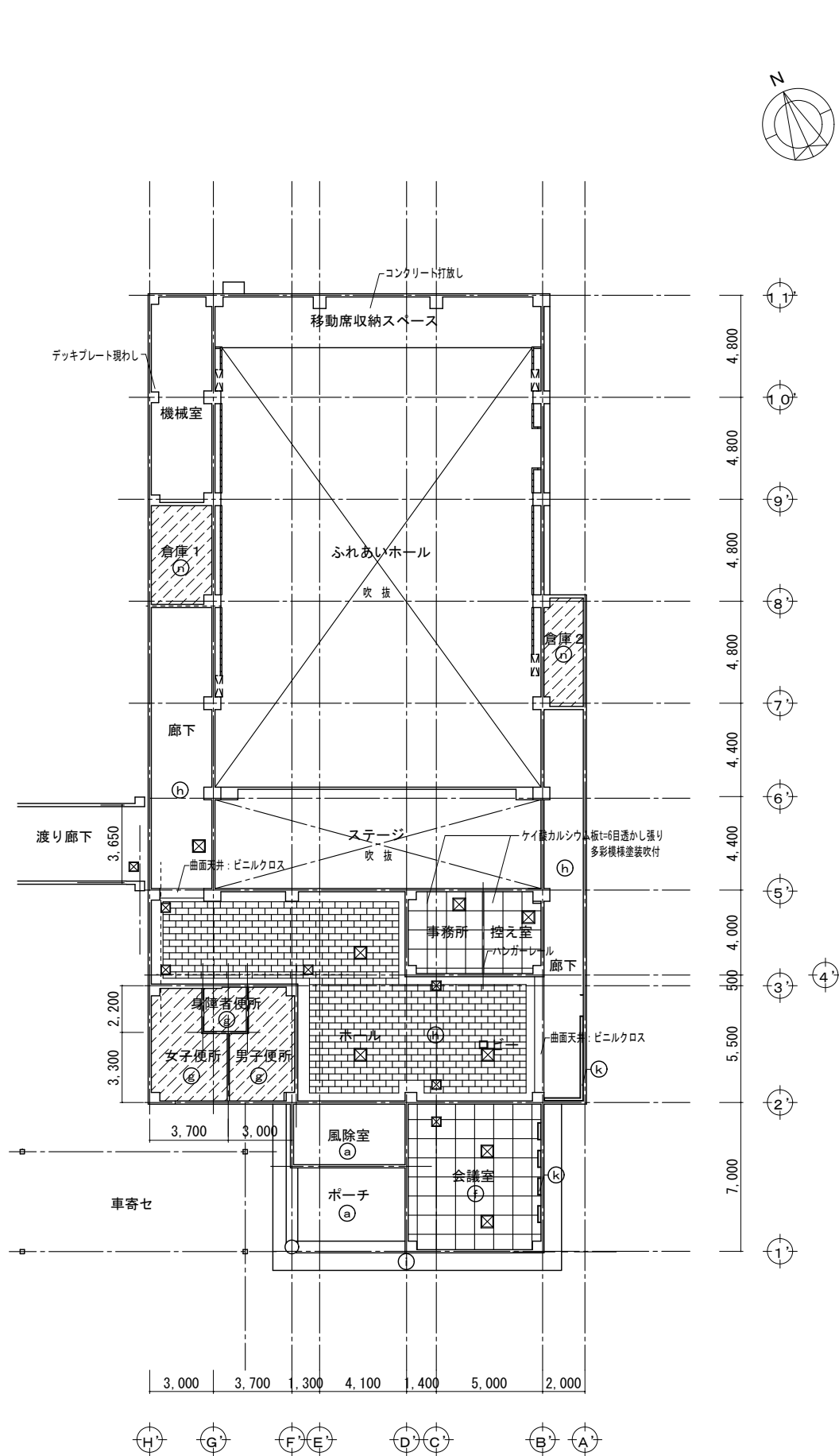
1階天井伏図 (改修) S:1/200



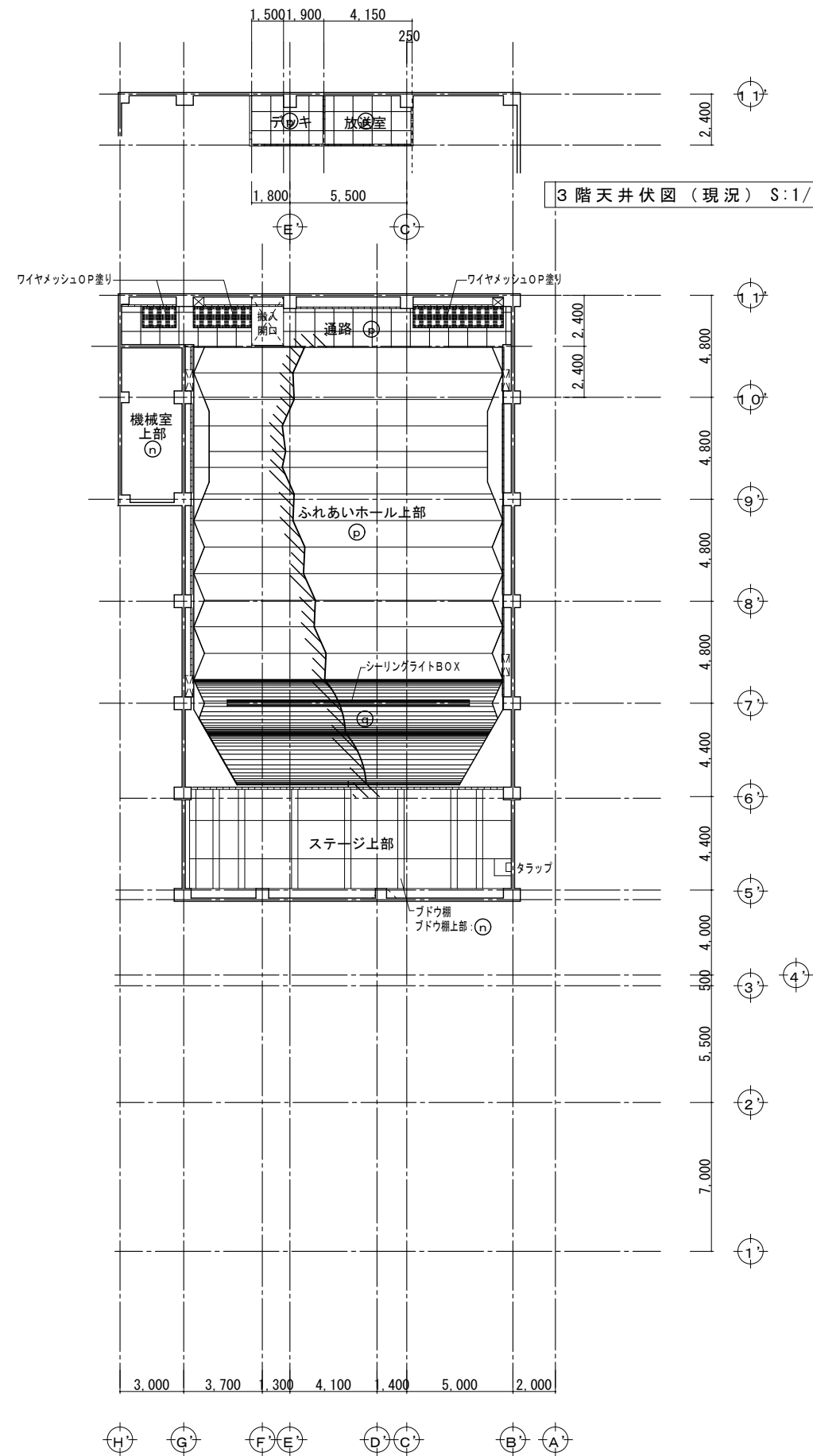
2階天井伏図 (改修) S:1/200

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	A-08
			訂正年月日				図面名称 : 天井伏図 (改修) SCALE 1/200	

記号	仕 上
(a)	アルミスバンドレルt=0.8 (カラー)
(b)	テーパーボードt=9.5 ビニルクロス
(c)	ケイ酸カルシウム板t=6 目透かし張り E P
(d)	杉桎化粧石膏ボードt=9.5 敷目天井
(e)	ラワンベニヤt=4
(f)	化粧石膏ボードt=9.5 910×910
(g)	ケイ酸カルシウム板t=6 目透かし張り V P
(h)	プラスターボードt=9.5 捨て張り ロックウール吸音板t=9
(i)	合板型枠コンクリート打放し補修 アクリルリシン吹付
(j)	ケイ酸カルシウム板t=6 アクリルリシン吹付
(k)	ブラインドBOX OP
(l)	アルミブラインドBOX (ブラック)
(m)	アルミルーバー (ホワイト) 1800×1800
(n)	木毛セメント板
(o)	バスリブ
(p)	吸音石膏ボード t=9.5 E P・グラスウール t=50 裏打
(q)	難燃有孔ベニヤ t=5.5 E P・グラスウール t=50 裏打
☒	アルミ天井点検口 600×600
☒	アルミ天井点検口 450×450

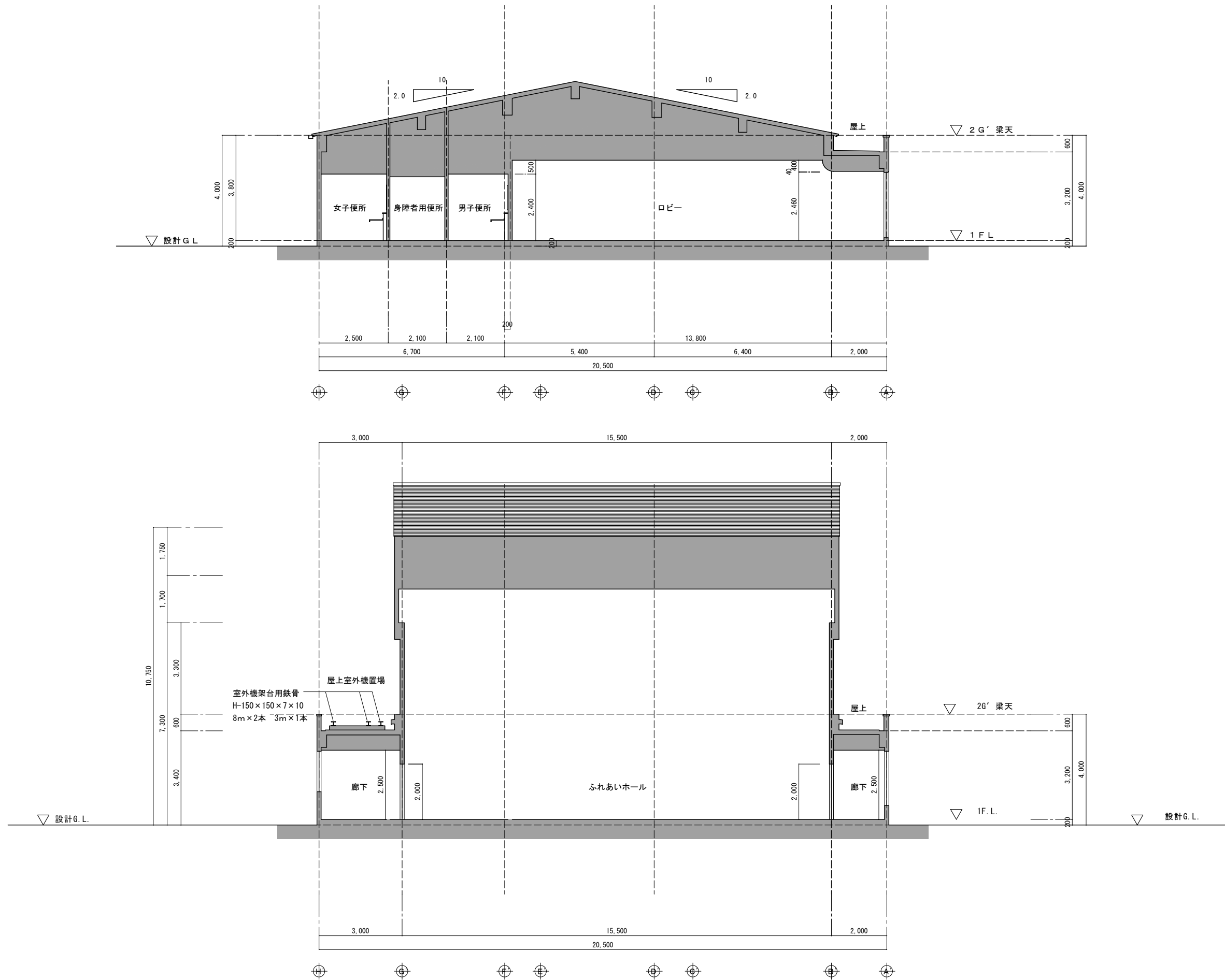


1 階天井伏図 (現況) S:1/200

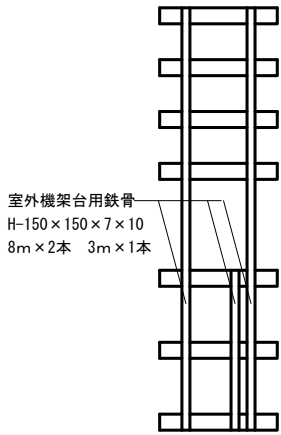


2 階天井伏図 (現況) S:1/200

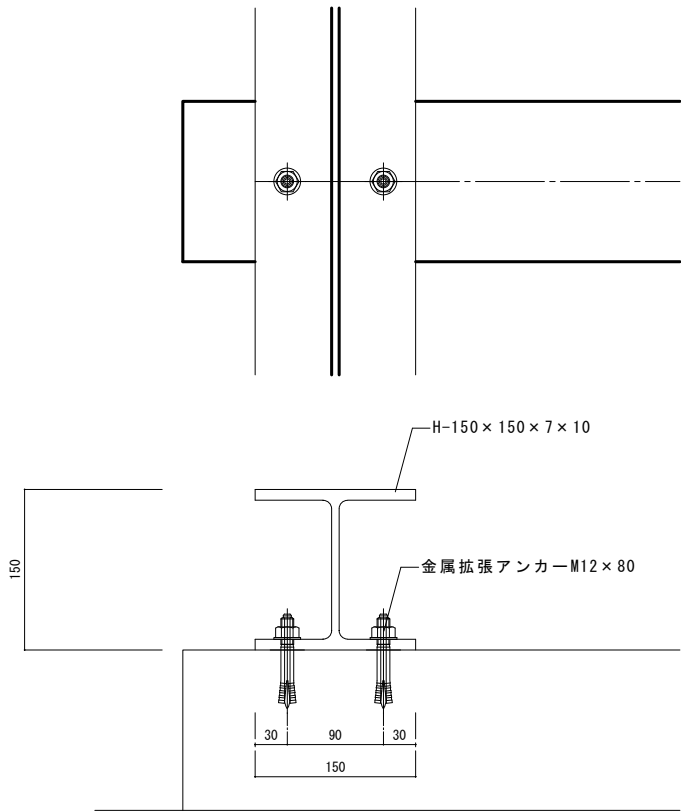
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	A-09
			訂正年月日				図面名称 : 天井伏図 (既設)	
							SCALE 1/200	



			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	A-10
			訂正年月日				図面名称：断面図	
							SCALE 1/100	



室外機架台平面図 S:1/100

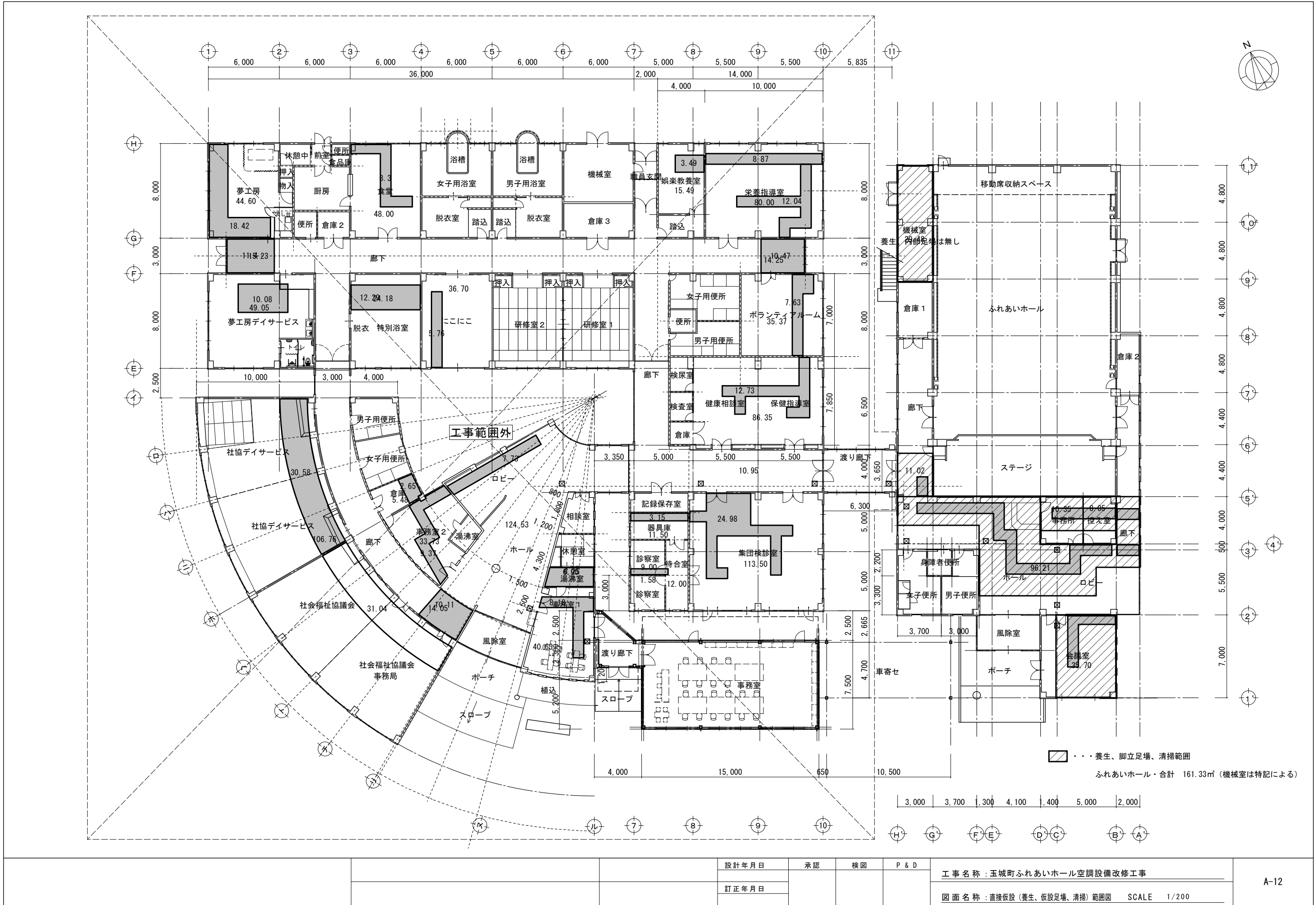


H-150×150×7×10 8.0m×2本、3.0m×1本

アンカー箇所数 8.0m 14ヶ所×2本=28ヶ所  
3.0m 6ヶ所×1本= 6ヶ所  
合計 34ヶ所

室外機架台用鉄骨詳細図 S:1/5

			設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称 : 玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	A-11
			訂正年月日					
							図 面 名 称 : 室外機架台詳細図	SCALE 1/5・1/100



<div>電気設備工事特記仕様書</div> <div><div><div>Ⅰ. 工事概要</div><div><div>1. 工事名称</div><div>玉城町ふれあいホール空調設備改修工事</div></div><div><div>2. 工事場所</div><div>玉城町勝田4876番地1</div></div><div><div>3. 建物概要</div><div><div>ふれあいホール</div><div>RC造</div><div>3階建</div><div>延べ面積870.57㎡</div><div>用途区分(Ⅰ)項</div></div></div></div><div><div>4. 工事項目</div><div>下記において●印を付した工事を対象とする。<div><div>●電力設備</div><div>●受変電設備</div><div>●電力貯蔵設備</div><div>●発電設備</div><div>●通信・情報設備</div><div>●中央監視制御設備</div><div>●医療関係設備</div><div>●構内配電線路</div><div>●構内通信線路</div><div>●その他</div></div></div></div><div>Ⅱ. 共通仕様</div><div>図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。<div><div>・三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月制定版）</div><div>・三重県建設工事実務必携（令和元年7月1日版）</div><div>・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編・電気(機械)設備工事編 各平成31年版）</div><div>「公共建築改修工事標準仕様書」（建築工事編・電気(機械)設備工事編 各平成31年版）</div><div>「公共建築設備工事標準図」（電気設備工事編・機械設備工事編 各平成31年版）</div><div>・電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準）</div><div>・電気工業業の業務の適正化に関する法律</div><div>・電気工事法</div><div>・労働安全衛生法</div><div>・消防関連法規（条例・所轄署指導要領を含む。）</div><div>・電力会社供給約款</div><div>・その他関連法令、関連諸基準</div></div></div><div>Ⅲ. 特記仕様</div><div>1. 一般共通事項</div><div>下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。<div><div>1. 一般事項</div><div>(1)工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に念かつ誠実に施工すること。</div><div>(2)設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤配及び記載漏れ等起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することで将来不具合が発生すると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。</div><div>なお、設計図書のとりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講じること。</div><div>(3)他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工を行うこと。</div><div>2. 技術検査</div><div>中間技術検査 実施回数（＊）回 実施する段階（＊ ＊ ＊ ＊）</div><div>3. 火災保険等</div><div>三重県建設工事請負契約書第52条第1項の規定により、火災保険、組立保険又はその他の保険等に加えし、その加入証券等を提示しなければならない。</div><div>① 保険の目的物 工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）</div><div>② 保険の加入期間 工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間</div><div>③ 保険金額 原則として請負金額に相当する金額</div><div>4. 足場</div><div>●別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が設置したものは無償で利用できる。 ・本工事で設置する。</div><div>足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）第1編第2章2.2.2より足場の種別は以下による。<div><div>・内部足場（・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 ・G種）</div><div>・外部足場（・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種）</div></div></div><div>5. 三重県産業廃棄物税</div><div>本工事はに産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して、当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。</div><div>なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（manifestの数量の集計）を超えて請求することはできない。</div><div>6. 電気工作物の種類</div><div>・一般電気工作物 ●家用電気工作物</div><div>7. 電気工事士</div><div>電気工事士法の区分により施工するものとし、契約電力が500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。</div><div>8. 電気工業業の業務の適正化に関する法律</div><div>電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。</div><div>9. 電気保安技術者</div><div>電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。</div><div>なお、電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、指導を受けるものとする。</div><div>10. 品質計画</div><div>品質計画については、監督員の承諾を受けること</div><div>11. 測定機器の校正等</div><div>試験に使用する計測器類は2年以内の校正証明書（写）又は有効期限内の精度保証書（写）</div></div></div><div><div>等</div><div>を提出する。</div><div>また、照度計、騒音計、振動レベル計等の特定計量器を用いて計測する場合は、計量法に基づく検定に合格し、かつ検定有効期限内のものを使用する。</div><div>12. 施工計画等</div><div>受注者は施工に先立ち、次の書類を提出し監督員と打合せを行う。</div><div>なお、書類の作成においては、関連する関係者と十分に調整すること。</div><div>① 総合施工計画書</div><div>包含工事の場合は、電気設備工事施工計画書とする。</div><div>② 工種別施工計画書（施工要領書）</div><div>各種工種ごとに作成し、停電及び搬入計画書も作成する。</div><div>③ 施工図（プロット図、平面図、展開図、各種詳細図）</div><div>主要機器、重量機器、3kg超過吊器具類等については、固定方法、吊り方法等の詳細図を作成し、十分な耐震性能を確保する施工方法を提案すること。</div><div>④ 耐震計算書、幹線計算書等</div><div>⑤ 照度分布図、センサ動作範囲図など</div><div>13. 機材等</div><div>工事に使用する材料及び機器等については、次の書類を提出する。</div><div>① 使用機材届出書</div><div>② 機器明細図</div><div>使用機材届出書に記載のものその他、監督員の指示による。</div><div>③ 各種計算書</div><div>設計図書による他、監督員の指示による。</div><div>④ 機材の品質・性能証明</div><div>機器及び材料等の選定にあたっては後述の「電気設備工事指定資機材適用規格及びメーカーリスト」、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」又はこれらと同等以上のものとする。</div><div>なお、設備機材については、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料（「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（一社）公共建築協会）による場合は評価書の写しを監督員に提出する。また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。</div><div>建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。</div><div>三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員との協議による。</div><div>（認定製品の品名： ）</div><div>下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するよう努める。</div><div>（認定製品の品名： 間伐材製工事用バリエード・看板・標示板・ ）</div><div>14. 工事写真</div><div>営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成31年版））に従い撮影すること。</div><div>なお、デジタル工事写真の黒小板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の黒小板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営整第211号）」による。</div><div>15. 施工条件</div><div>監督員及び関係部局と協議調整し決定すること。</div><div>(1)施工可能日</div><div>・指定なし</div><div>・一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等）</div><div>●指定あり</div><div>指定日（・施設休業日 ●打ち合わせ ・その他（ ））</div><div>(2)施工可能時間帯</div><div>●指定なし</div><div>・一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等）</div><div>・指定あり</div><div>指定時間（・（ ）時～（ ）時 ・打ち合わせ ・その他（ ））</div><div>(3)概成工期</div><div>・適用する（工事期日より（ ）日前） ●適用しない</div><div>(4)その他（ ）</div><div>16. 埋蔵文化財調査</div><div>埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。</div><div>・発掘調査等の実施あり ・発見された場合、発掘調査等の実施あり</div><div>17. 部分引渡し等</div><div>部分引渡し等がある場合は協力すること。</div><div>・部分引渡ししあり ・部分使用あり</div><div>該当部分（ ） 時期（ ）</div><div>18. 事故の発生時</div><div>工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。</div><div>なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。</div><div>19. 建設副産物</div><div>請負額1億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は工事の着手までに「再生資源利用計画書」（建設資材を搬入する場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物を搬出する場合）を施工計画書に綴じ込んで監督員に提出する。また、工事が変更又は完了した場合には「再生資源利用実施書」（建設資材を搬入した場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物を搬出した場合）を作成し、監督員に提出する。</div><div>なお、計画書及び実施書の提出とともにJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せて行う。</div><div>20. 発生材の処理等</div><div>・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事である。</div><div>分別解体等及び特定建設資材の再資源等の実施について適正な措置を講ずることとする。工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議することとする。</div><div>分別解体等の方法 工事 ・新築 ・増築 ・修繕 ・模様替 ・解体 ・その他（ ）</div><div>分別解体の方法 ・手作業 ・手作業、機械作業併用</div><div>(1)引き渡しを要するものは下記のとおりとし、それ以外は別途監督員の指示による。（ ）</div><div>(2)特別管理産業廃棄物</div><div>・変圧器 ・コンデンサ ・その他（ ）</div><div>現場内の監督員の指定する場所へ保管するものとする。</div></div><div><div>な</div><div>お、施工に際してPCB等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合</div><div>は、監督員に報告し対応を協議するものとする。</div><div>(3)現場内において再利用を図るもの</div><div>・発生土 ・その他（ ）</div><div>(4)再資源化を図るもの</div><div>・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ・（ ）</div><div>(5)水銀使用製品産業廃棄物として取り扱うもの</div><div>・蛍光ランプ ・HIDランプ（高輝度放電ランプ） ・その他（ ）</div><div>「水銀廃棄物ガイドライン 第2版」（平成31年3月 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課）に基づき適切に 処理すること。</div><div>(6)発注者へ引き渡すものについては「現場発出品調書」を提出すること。</div><div>また、再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。</div><div>(7)引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。</div><div>21. 電子納品</div><div>(1)工事写真「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき、電子媒体も提出すること。</div><div>(2)工事完成図書は「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」等に基づき、電子媒体も提出すること。</div><div>22. 官公署への手続き</div><div>工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を遅滞なく行う。</div><div>なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。</div><div>・消防設備関係 ・電気工作物関係 ・受電関係 ・通信関係 ・建設工事関係</div><div>・その他（ ）</div><div>23. 消防法関係の手続き</div><div>(1)消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成</div><div>・本工事（ ・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ） ・別途工事</div><div>(2)防火対象物使用開始届出書</div><div>書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。</div><div>24. 工事用仮設備</div><div>構内への設置 ●できる（施設管理者と協議） ・できない</div><div>25. 工事用電力、水、その他</div><div>(1)本工事に必要な工事用電力、水等の費用は受注者の負担とする。</div><div>(2)本工事で新規受電または既設電気回路に接続し、通電した時から工事の範囲の電力料金も本工事に含まれる。また、本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の選任及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。</div><div>26. 工事中等の保安監理</div><div>電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気保安管理等にかかる費用は本工事に含まれる。</div><div>27. 搬入計画</div><div>大型機器、重量物等の搬入前に、搬入経路の有効寸法（扉、天井高さ、搬入経路上の曲がり等）、障害物（足場等）、養生方法、運送車両、揚重機械、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の処置、受入検査の方法等を記載し監督員に提出する。</div><div>28. 製品確認</div><div>発注者及び受注者の協議により仕様を決定し、製作するような規格品でない製品並びに監督員が指定する製品については、試験及び検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認をするものとする。</div><div>29. 機材等の検査及び試験</div><div>検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督員の指示による。</div><div>30. 完成確認及び完成検査時等の電源確保</div><div>機器の動作確認、電圧、極性、相関係等確認できるように電源を確保すること。</div><div>31. 完成時の操作説明</div><div>総合監等操作の必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。</div><div>32. 不正軽油の使用の禁止</div><div>(1)県工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。</div><div>(2)受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。</div><div>(3)受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じよう管理及び監督しなければならない。</div><div>33. 下請次数制限及び県内（管内）企業優先使用</div><div>(1)本工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。</div><div>なお、その次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。</div><div>(2)本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（2次以下の請負人を含む）を三重県内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。また、工事場所を所管する建設事務所管内又は隣接する建設事務所管内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定するよう努めること。</div><div>なお、県外企業を下請契約の相手方に選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。</div><div>34. 総合評価方式</div><div>総合評価方式の工事において、技術提案の不履行があった場合は、本工事の完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の技術評価点（満点）の1割を減点する。また、同一年度に複数工事で不履行があった場合は不履行工事件数に応じて、発注工事の技術評価点（満点）を減点する。</div><div>35. 不当介入を受けた場合の措置</div><div>暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について</div><div>(1)受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。</div><div>(2)(1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。</div><div>(3)受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。</div></div><div><div>36. 電子メールの活用</div><div>「電子メールを活用した情報共有における実施要領 令和元年7月」を適用する。</div><div>（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</div><div>37. 主任技術者又は監理技術者</div><div>(1)技術者要件</div><div>工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。</div><div>(2)専任を要しない期間</div><div>1)現場施工に着手するまでの期間</div><div>請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。</div><div>2)検査終了後の期間</div><div>工事完成後検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。</div><div>38. 工事の一時中止</div><div>工事の一時中止の取り扱いについては「工事の一時中止のガイドライン（案）」（平成27年6月国土交通省）による。</div><div>三重県建設工事契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。</div><div>工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。</div><div>39. 社会保険等未加入対策</div><div>(1)適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。</div><div>(2)受注者は、施工体制台帳・再下請通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に参加しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。</div><div>40. 現場での安全確保（自主施工の原則）</div><div>(1)受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。</div><div>(2)設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。</div><div>41. 設計図書の照査</div><div>三重県公共工事共通仕様書第1編1章1-1~1-3 2.設計図書の照査に基づく照査を実施すること。また、照査の実施において、契約書第18条第1項から5号に該当する事実がない場合についても、その旨を監督員に報告すること。</div><div>なお、監督員の請求があった場合は、照査の実施が確認できる資料を提示すること。</div></div><div><div>2. 施工仕様</div><div>下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。</div><div>1. 既設設備等の調査</div><div>既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着工前に十分な調査を行うこと。</div><div>(1)地中埋設管路</div><div>1) 項 目 ・埋設配管 ・構造物 ・その他（ ）</div><div>2) 調査範囲 ・埋設ルート ・その他（ ）</div><div>(2)貫通及びはつり</div><div>1) 項 目 ●鉄筋 ●配管 ・その他（ ）</div><div>2) 調査範囲 ●施工部分 ・その他（ ）</div><div>(3)既設との取合い</div><div>1) 項 目 ●接続箇所 ●増設箇所 ・その他（ ）</div><div>2) 調査範囲 ●施工部分 ・その他（ ）</div><div>2. 施工前の測定等</div><div>改修工事にあたっては、工事範囲の既設機器の動作確認及び絶縁測定等を着工前に行い、監督員に報告すること。</div><div>3. 耐震施工</div><div>(1)想定される地震に対応するものとする。</div><div>(2)耐震計算書を監督員に提出するものとする。</div><div>4. 耐震基準</div><div>耐震措置の計算及び施工方法は、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準 平成25年版」（国土交通省大臣官房官庁営繕部）及び「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（一財）日本建築センター）を適用する。</div><div>5. はつり</div><div>(1)穴開け及び補修 ・なし ・あり（貫通場所及び口径は別図による）</div><div>(2)溝はつり及び補修 ・なし ・あり（はつり深さは別図による）</div><div>6. あと施工アンカー</div><div>性能確認試験及び施工確認試験 ・行う ●行わない</div><div>7. 基礎の配線ビット</div><div>基礎に配線ビットを設ける場合、ビットの寸法は敷設するケーブルの曲げ半径、条数、将来増設時の作業性、事故時の対応、排水等に配慮する。</div><div>8. 配管・配線の耐震処置</div><div>建物引込部の配管の耐震処置 ・行う ・行わない</div><div>建物のエキスパンションジョイント部の配線の耐震処置 ・行う ・行わない</div><div>9. 最上階の埋込配管</div><div>最上階のコンクリート屋根スラブへの埋込配管は、原則として行わない。</div><div>10. 露出配管</div><div>(1)雨線外など水気のある場所に施設する場合は、U字配管を行わない。</div><div>(2)附属品は、ねじ込み形を使用する。</div><div>(3)壁面配管で人が容易に触れるおそれのある部分（2m以下）の配管には、突起のない支持金物又は保護カバーを使用する。</div><div>(4)通路部分では床配管を避け、天井配管の場合は原則2.1m以上とする。</div><div>(5)監督員の指示がある場合は、上記に係わらずその指示に従う。</div><div>11. 合成樹脂管</div><div>(1)合成樹脂管の管端には、プッシングを取り付ける。</div><div>(2)原則として屋外の露出には使用しない。（P F管）</div></div></div> <div><table><tr><td></td><td></td><td></td><td>設計年月日</td><td>承認</td><td>検図</td><td>P &amp; D</td><td>工 事 名 称 : 玉城町ふれあいホール空調設備改修工事</td><td rowspan="3">E-01</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>訂正年月日</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>図 面 名 称 : 電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 1 SCALE N/S</td></tr></table></div> <div>A2→A3縮小 71%</div>					設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称 : 玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	E-01				訂正年月日												図 面 名 称 : 電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 1 SCALE N/S
			設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称 : 玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	E-01																		
			訂正年月日																							
							図 面 名 称 : 電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 1 SCALE N/S																			

12. 予備配管等

(1)埋込型分電盤からの立上り予備配管は、予備回路が4回路以下は（P F 2 2）を1本、5回路以上は（P F 2 2）を2本施工する。スラブ天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、位置ボックスを取付ける。また、二重天井の場合は、天井まで立上げ、位置ボックスを取付ける。

(2)防犯主装置、自動火災報知受信機、MDF、警報盤等の間に移報のための空配管を行う。

13. 金属製電線管等の塗装

(1)露出配管、露出ボックス、鋼製プルボックス等のうち下記の部分には、塗装を施す。

1) 屋外、屋内（電気室、機械室、EPS、居室、廊下）、その他建築意匠上必要な箇所。

2) 図面に特記なき場合は、溶融亜鉛メッキ鋼材製のポール及びアームは塗装しなくてもよい。ただし、図面に指示がある場合はその指示による。

3) 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を十分に塗布すること。（監督員が指示した場所は除く。）

4) 仮枠貫通部の金属配管には錆止め塗装を施すこと。

(2)塗装はエッチングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて調合ペイント2回塗りとする。ただし、指定場所及びその他建築意匠上、必要な箇所の露出プルボックスは指定色焼付塗装とする。

14. 導入線

通線を行わない配管及び配線引抜き後に空となった配管には、導入線（φ1.2mm以上の樹脂被覆鉄線等）を挿入する。ただし、長さ1m以下の部分は省略することができる。

15. 予備スリーブ

梁下に配管・配線スペースがない梁には、1スパンに2本程度を予備スリーブとして埋込む。

なお、防火区画貫通スリーブは、防火区画処理を行うこと。

16. ボックス類

位置ボックス及びジョイントボックス類は、特記なき場合、原則として金属製とする。

17. 軽量間仕切のボックス

軽量間仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。

18. プルボックス

(1)屋外形、特殊な形状又は一辺が800mm以上のものは、製作図を提出すること。

(2)屋外形プルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコーキングを行う。

19. ボルト・ナット類

屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの

●ステンレス ●溶融亜鉛メッキ仕上げ

20. 環境に配慮した電線類の採用

電線、ケーブル及び通信線はEM（エコマテリアル）ケーブルを使用すること。

21. ケーブル及び配線

(1)表示

下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札（ケーブル種別及びサイズ、行き先、施工年、用途、施工者名等を表示。）を取り付ける。

① ケーブルがスラブを貫通する部分

② ケーブル分岐部分

③ 変電所内のケーブル引出し部分

④ 盤内及び接地端子箱の外部配線引込み部分

⑤ 屋内の直線部分は、30mごと

⑥ プルボックス内

⑦ 屋外の共同溝等の直線部分は、50mごと

⑧ 屋外の地中管路より建物内への引込み部分

⑨ マンホール及びハンドホールごと

(2)ケーブル余長

1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数

・2箇所 ・4箇所 ・( )箇所

2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数

・2箇所 ・4箇所 ・( )箇所

22. 配線器具の設置

(1)特殊コンセントはプラグ付とする。

(2)電源の種類により色を区別する。

(3)公共住宅の住戸部分に設置するスイッチ・コンセントは原則として表示付とし、特記なきスイッチはワイドスイッチとする。

(4)配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。

(5)プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。

(6)カバープレートは、原則として新金属製とする。

なお、器具を実装しない位置ボックスには用途表示をすること。

(7)フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止リング付）とする。

23. 照明器具の設置

(1)照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承諾を得ること。

(2)照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形A A級とする。

(3)天井下地利より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。

(4)パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。

24. 照明改修の際の測定

対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。

測定箇所 ( ) 測定回数 前後各 ( ) 回

25. 分電盤、制御盤、キュービクル等

(1)図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。

26. 受変電設備、発電設備の設置場所

(1)保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。

(2)屋内に設置する場合は、床の強度計算書、換気計算書等を監督員に提出する。

(3)屋外に設置する場合は、機器及び基礎の質量を求め、地盤の許容地耐力を確認し、結果を監督員に提出する。

なお、地盤改良を行う場合は、工法について監督員と協議する。

(4)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。

(5)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。

27. 発電設備の燃料配管

(1)フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。

(2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。

28. 非常放送設備のスピーカ設置

(1)放送区域の各部からスピーカまでの水平距離は10m以内とする。

(2)階段等にスピーカを設置する場合は、垂直距離15m以内とする。

(3)増幅器からスピーカまでの配線及び非常電話の配線は、各系統ごとに独立させ、共通線方式は用いない。

29. 土工事

(1)埋戻しの材料及び工法

・B種 (材料：根切り土の中の良質土 / 工法：機器による締固め)

・その他 ( )

ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。

(2)特記なき地中埋設配管の深さは、GL-600mm以上とする。

(3)根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつば掘りとする。

(4)機械掘削は根切り底を乱さないようにする。

(5)建設発生土の処理

・構内数ならし ・処分地指定 ( )

・処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 ( ) km

30. ハンドホール、マンホール

高さ900mmを超えるものにあつては、タラップ付とする。

なお、タラップの取付は450mm間隔以内とする。

31. 地中配線路の表示杭

下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。

① 建物への引込口及び送出口付近

② マンホール・ハンドホール付近

③ 地中線路の曲折箇所

④ 道路横断箇所

⑤ 直線部分では30m程度に1個（30mに満たない部分はその間に1個）

3. 機器仕様

下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。

なお、詳細については図面による。

【電力設備】

1. 電灯設備

(1)既設等との取り合い

(2)機器類

(3)一般照明器具

1)形式

2)灯具

3)用途

4)環境

5)照明器具は、

1)センサ類

2)調光方式

3)制御方式

1)照明用ポール

①材質

②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。

2)基礎

3)灯具

4)電源

5)制御

6)接地

(6)コンセント等

(7)分電盤、制御盤等

2. 動力設備

(1)既設との取り合い

(2)機器類

(3)負荷設備

(4)負荷設備への接続

(5)電動機等の接地

(6)分電盤、制御盤等

・無し ・盤改造 ●配線接続 ・電源供給 ・その他 ( )

・一般照明器具 ・照明制御装置 ・外灯（単独設置） ・コンセント等

・分電盤、制御盤等 ・その他 ( )

1)形式 ・公共型 ・一般型

2)灯具 ・LED灯 ・その他 ( )

3)用途 ・屋内用 ・屋外用 ・防災用

4)環境 ・普通地域 ・塩害地域

5)照明器具は、

1)センサ類 ・明るさセンサ ・人感センサ ・タイマ ・調光スイッチ

・その他 ( )

2)調光方式 ・連続調光 ・段階調光 ・ON／OFF制御

・その他 ( )

3)制御方式 ・有線 ・無線通信

1)照明用ポール

①材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・溶融亜鉛メッキ

・その他 ( )

②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。

2)基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ( )

3)灯具 ・LED灯 ・その他 ( )

4)電源 ・商用電源（60Hz）（・200V ・100V） ・その他 ( )

5)制御 ・Eスイッチ ・タイマ ・その他 ( )

6)接地 ・単独接地（・本工事 ・別途工事 ・既設利用） ・共用

・その他 ( )

・ハフション70tレット（・固定型 ・上下動型（アップ式を含む））

1)銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。

2)図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。

3)表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。

4)接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。

5)絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。

6)配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。

2. 動力設備

(1)既設との取り合い

(2)機器類

(3)負荷設備

(4)負荷設備への接続

(5)電動機等の接地

(6)分電盤、制御盤等

・無し ・盤改造 ●配線接続 ・その他 ( )

●分電盤、制御盤等 ・その他 ( )

・給水 ・排水 ・消火 ●空調 ・換気 ・排煙 ・昇降機

・その他 ( )

図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。

●専用接地 ・金属管接地（7.5kW以下）

1)銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、施工制御盤等年月、受注者名、施工者名を記載する。

2)図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。

3)表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。

4)接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。

5)絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。

6)配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。

7)電流計は赤指針付（定格電流指示）とする。

4. 使用資機材のメーカーリスト

(1)以下に掲げる資機材については、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（電気設備機材・機械設備機材）令和元年版（（一社）公共建築協会 発行）」（以下「評価名簿」という）に記載されているメーカーが製造した製品を使用すること。（ただし、納入地区に中部地区又は近畿地区が含まれ、かつ評価の有効期間内である場合に限り使用可能とする）

●LED照明器具（一般屋内用に限る）

●低圧用SPD

●分電盤（OA盤及び実験盤を含む）

●キュービクル式配電盤

●高圧交流遮断器

●高圧限流ヒューズ

●高圧変圧器（特定機器）

●絶縁監視装置（高圧回路用・低圧回路用）

●ベント形据置鉛蓄電池

●据置ニッケル・カドミウム70Ah蓄電池

●交流無停電電源装置

●監視カメラ装置

●照明制御装置

●可変速運転用インバータ装置

●制御盤

●高圧スイッチギア（CWF形・PW形）

●高圧進相コンデンサ

●高圧負荷開閉器

●高圧避雷器

●制御弁式据置鉛蓄電池

●シール形ニッケル・カドミウム70Ah蓄電池

●パワーコディシヨ及び系統連系保護装置

●中央監視制御装置

(2)評価名簿に記載されていないメーカーが製造した製品を使用する場合は、評価名簿の評価基準と同じ条件を満足することを証明する書類を監督員に提出し、かつ監督員の承諾が得られた場合に限り使用できるものとする。

5. 使用資機材の適用規格

(1)以下に定めるとおりとする。なお、以下に定めのない資機材については、日本工業規格（JIS規格）適合品の使用を原則とする。

●電気用品安全法に定める特定電気用品又は特定電気用品以外の電気用品

●電気用品安全法適合品

●耐熱・耐火電線、耐熱・耐火ケーブル

●消防庁の登録認定機関として消防庁告示に規定された耐火・耐熱電線及び耐火バスタクトの適合性検査を行い合格したもの

●第三者認証機関として（一社）日本電線工業会規格（JCS規格）への適合性検査を行い合格したもの

●非常用照明器具

●建築基準法に定める国土交通大臣認定品

●（一社）日本照明工業会の自主評定を受け、JIL5501適合マークが貼付されたもの

●誘導灯

●登録認定機関（（一社）日本電気協会（JEA誘導灯認定委員会））の認定を受け、認定証票が貼付されたもの

●制御盤

●（一社）日本配電制御システム工業会規格（JSIA規格）適合品

●消防用加圧送水装置、不活性ガス消火設備及びハロゲン化物消火設備の制御盤、火災通報装置、総合操作盤等の認定対象品

●登録認定機関（（一財）日本消防設備安全センター（消防用設備等認定委員会））の認定を受け、認定証票が貼付されたもの

●不活性ガス消火設備等の操作箱、新ガス系消火設備制御盤、緊急通報装置、非常通報装置等の性能評定対象品

●（一財）日本消防設備安全センターの性能評定を受け、評定証票が貼付されたもの

●金属閉鎖形スイッチギア

●（一社）日本電機工業会規格（JEM規格）適合品

●高圧機器（遮断器、限流ヒューズ、負荷開閉器、避雷器、断路器、特定機器以外の変圧器、計器用変成器、保護継電器）

●（一社）電気学会電気規格調査会規格（JEC規格）適合品

●直流電源装置（防災電源用）

●登録認定機関（（一社）日本電気協会（JEA蓄電池設備認定委員会））の認定をうけ、認定証票が貼付されたもの

●交流無停電電源装置

●（一社）電気学会電気規格調査会規格（JEC規格）適合品

●自家発電装置（防災電源用）

●登録認定機関（（一社）日本内燃力発電設備協会）の認定を受け、認定証票（長時間形）が貼付されたもの

●自家発電装置（防災電源用でないもの）

●（一社）日本電機工業会規格（JEM規格）適合品

●太陽電池モジュールの支持物

●電気設備の技術基準の解釈第46条第2項又は第3項の規定に適合するもの

●電話用設備（電話交換機、電話機等）

●登録認定機関（（一財）電気通信端末機器審査協会（JATE）等）の技術基準適合認定を受け、適合表示が貼付されたもの

●非常用放送設備

●登録認定機関（日本消防検定協会）の認定を受け、認定証票が貼付されたもの

●テレビ共同受信機器

●優良住宅部品（BL部品）の認定を受けたもので、BLマーク証紙が貼付されたもの

●（一社）電子情報技術産業協会スーパーハイビジョン受信マーク登録品の認定を受けたもので、SHマークが貼付されたもの

●自動火災報知設備

●登録認定機関（日本消防検定協会）の認定を受け、認定証票が貼付されたもの

(2)特殊仕様の資機材を使用する場合は、仕様・性能等を証明する書類を監督員に提出し、かつ監督員の承諾が得られた場合に限り使用できるものとする。

6. 完成時の提出図書 ※部数等記入あるも監督員との打合せによる

名 称	完成書類	部数
完成図（原図サイズ）	竣工図（製本）	1部
	施工図（製本）	1部
完成図（原図サイズA4折り）	ファイル綴	1部
完成図（A3縮小二つ折り）	竣工図（製本）	2部
	施工図（製本）	2部
保全に関する資料 制御システム図 システム系統図 資機材一覧表 機器完成図 取扱説明書 試験結果報告書 工場試験成績書 各種計算・検討書 予備品・付属品一覧表 機器銘板の写し 検査済証 保証書 メンテナンス要領書 メンテナンス参考業者一覧表 官公庁手続き書類一覧表 官公庁手続き書類の写し（表紙のみ） その他監督員の指示するもの *各種書類には一覧表を作成し、インデックスも付けること。	ファイル綴	1部
工事に関する書類 工事カルテ受領書の写し 施工計画書 施工要領書 部分下請負通知書及び下請負契約書の写し 施工体制台帳及び施工体系図 工事進捗状況報告書 各種計画書及び報告書 排出ガス対策型建設機械使用報告書 工事打合簿 段階確認書 工事事故報告書 安全管理関係書類 使用機材届出書 工事材料搬入報告書 機器明細図 機材の品質及び性能証明書 各種計算・検討書 工場試験成績書 試験結果報告書 計測機器類の校正証明書、精度保証書、又は検定証の写し 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書 産業廃棄物処理集計表 現場発生日調書 再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書 再資源化等完了報告書（特定建設資材廃棄物） 工事写真（サムネール及び代表写真） 検査立会者名簿 その他監督員の指示するもの *各種書類には一覧表を作成し、インデックスも付けること。	ファイル綴	1部
官公庁手続き書類 官公庁手続き書類一覧表 官公庁手続き書類（本冊）	ファイル綴	1部
電子納品		3部
工事目的物引渡書 引渡目録		3部

注

・完成図はCADにより作成すること。

・保全に関する資料は、国土交通省「施設保全マニュアル作成要領」を参照する。

・改修工事等は既存の完成図を修正すること。

・白焼き（青焼き不可）で文字潰れのないこと。

・表紙（可能な範囲で背表紙にも）に「年度、工事名、工期、竣工図（又は施工図）、受注者名」を印字（シール不可）すること。

・作成しがたい場合は、監督員との協議による。

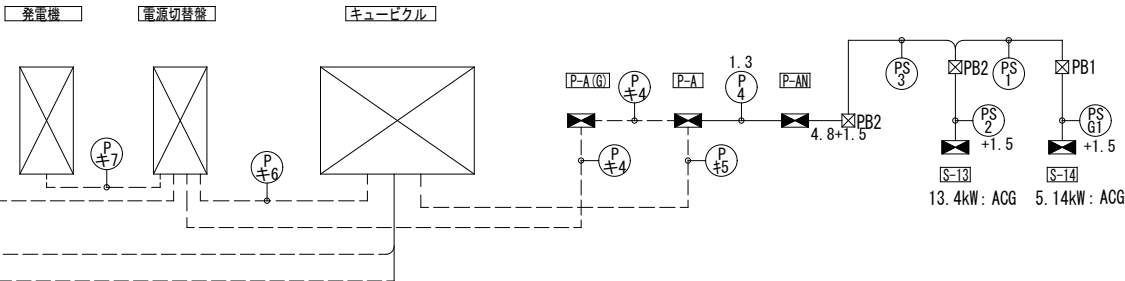
・上記表は標準の部数であり、詳細については監督員の指示による。

・その他監督員の指示する書類を作成して提出すること。

・ファイルはチューブファイル以上とする。

・完成書類の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。

			設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称 : 玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	E-02
			訂正年月日				図 面 名 称 : 電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 2 SCALE N/S	



A2→A3縮小 71%



別途工事								別途工事										
盤名称	結線	負荷名称	消費電力 kW	分岐器具	配線	配管	備考	盤名称	結線	負荷名称	消費電力 kW	分岐器具	配線	配管	備考			
S-1  12.27kW		PAC-3	6.7	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装		S-10  14.41kW		PAC-9	1.36	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装				
		PAC-16	5.57	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装				PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装				
										PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装				
S-2  8.05kW		PAC-12	1.35	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装				PAC-7	2.77	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装				
		PAC-3	6.7	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装												
S-3  5.14kW		PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装		S-11  6.5kW  10.89kW		PAC-9	1.36	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装				
S-4  25.48kW		PAC-16	5.57	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装				PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装				
		PAC-2	8.57	ELCB3P 50/50A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装				PAC-6	5.84	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装				
		PAC-2	8.57	ELCB3P 50/50A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装				PAC-14	5.05	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装				
		PAC-7	2.77	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装												
S-5  12.94kW		PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装		S-12  2.83kW		PAC-9	1.36	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装				
		PAC-5	2.66	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装				PAC-13	1.47	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装				
		PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装												
S-6  5.05kW		PAC-14	5.05	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装				S-13  13.4kW		PAC-8	1.56	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装		
S-7  16.03kW		PAC-14	5.05	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装		PAC-8	1.56			ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装				
		PAC-6	5.84	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装		PAC-4	5.14			ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装				
		PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装		PAC-4	5.14			ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装				
S-8  10.71kW  4.13kW		PAC-16	5.57	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装		S-14  5.14kW		PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装				
		PAC-4	5.14	ELCB3P 50/40A	EM-CE5.5-3CE2.0	C31露出塗装												
		PAC-9	1.36	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装												
		PAC-7	2.77	ELCB3P 50/30A	EM-CE3.5-4C	C25露出塗装												
S-9  6.7kW  20.1kW		PAC-1	6.7	ELCB3P 50/50A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装	社会福祉協議会 ト～リ											
		PAC-1	6.7	ELCB3P 50/50A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装												
		PAC-1	6.7	ELCB3P 50/50A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装												
		PAC-1	6.7	ELCB3P 50/50A	EM-CE5.5-3CE3.5	C31露出塗装												
													設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町ふれあいホール空調設備改修工事  図面名称：盤結線図1  SCALE N/S	E-04
													訂正年月日					

盤 仕 様

名 称

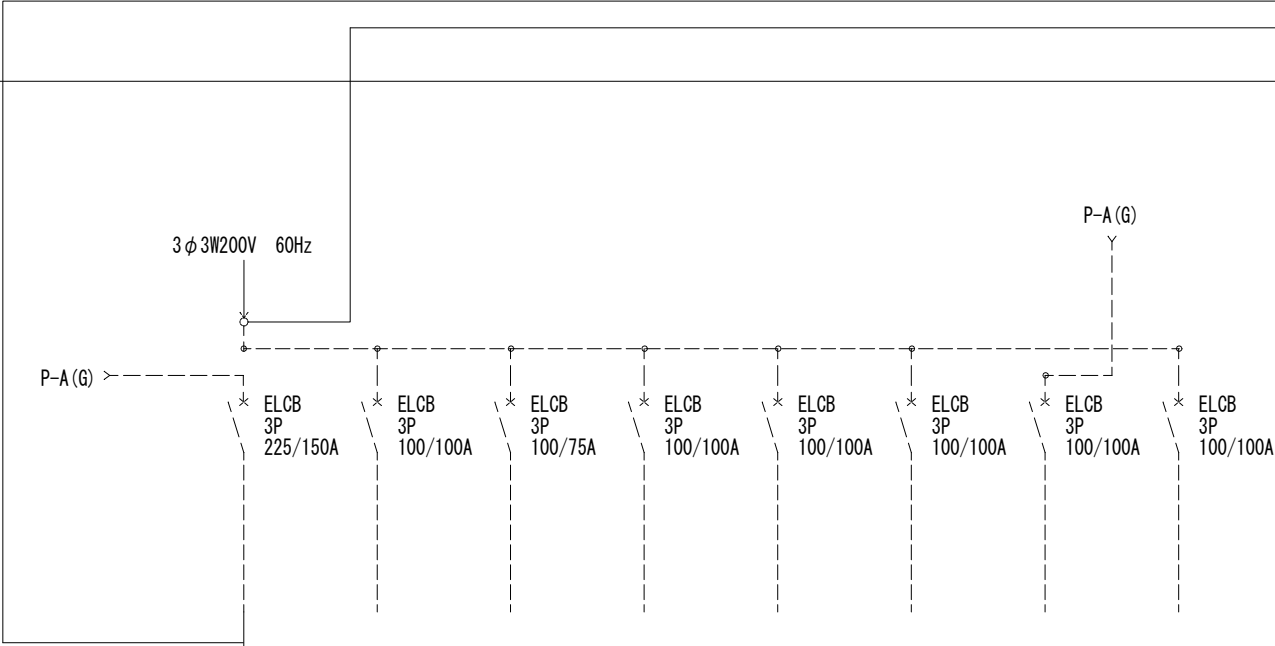
動力盤

P-A

型 式

屋内露出型

既設盤



負荷名称	既設空調機	既設空調機	既設空調機	既設空調機	舞台装置	予備	移動席	予備
負荷記号(既設)	PAC-9	PAC-10	PAC-11	HEX-3	舞台装置			
負荷記号(改修後)	P-AN	予備	予備	HEX-3	舞台装置	予備	移動席	予備
負荷容量 (kW)								

盤 仕 様

名 称

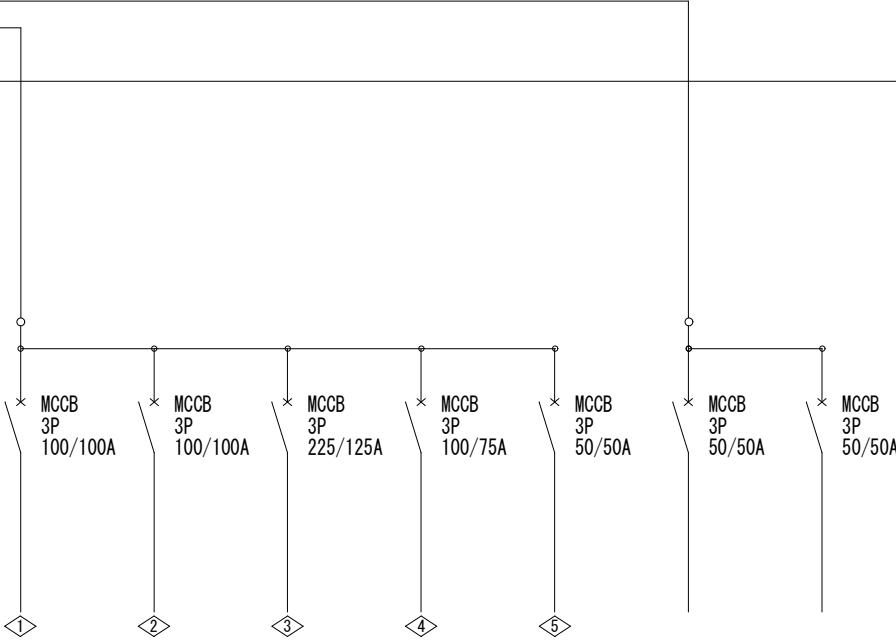
動力盤

P-AN

型 式

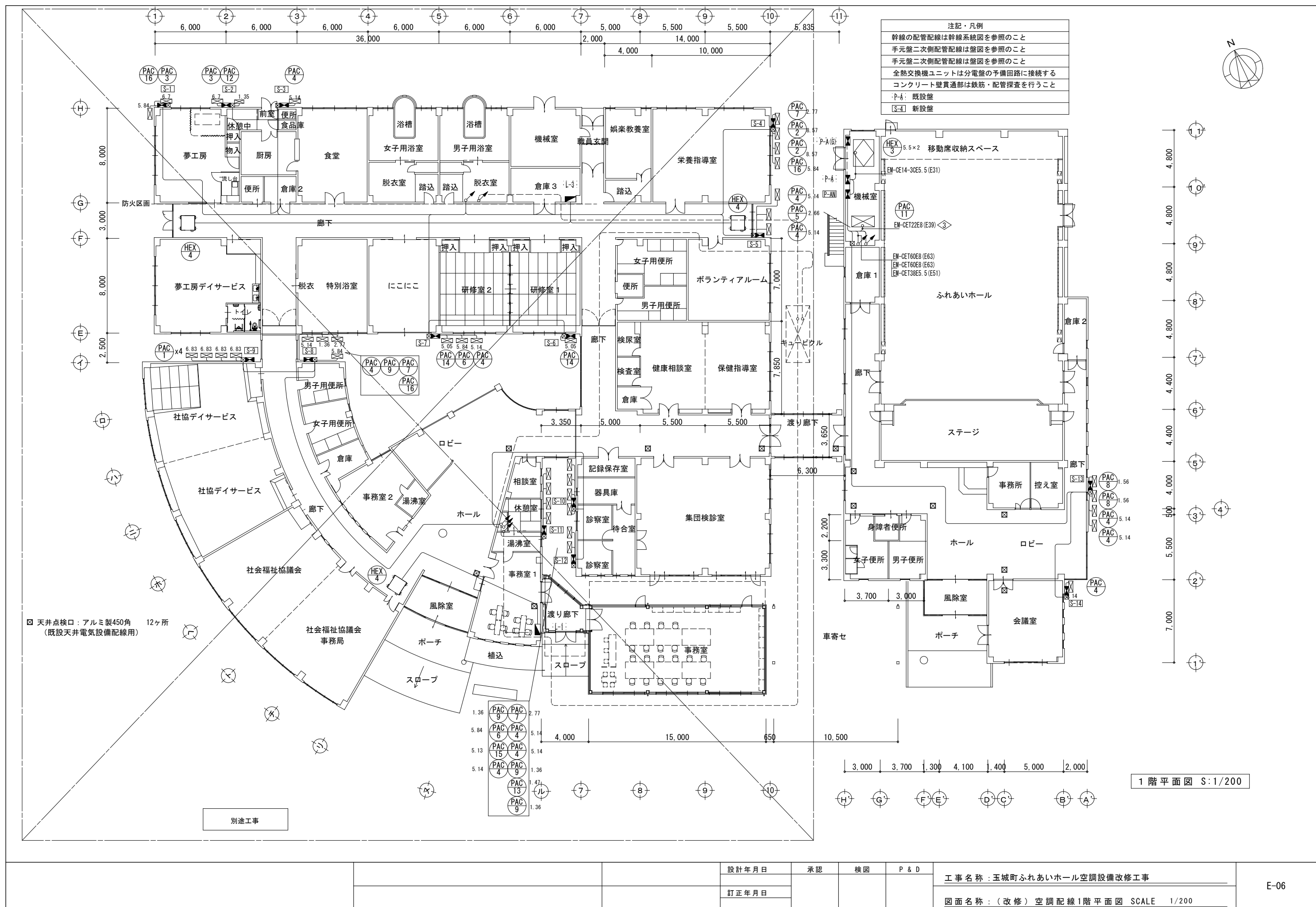
屋内露出型

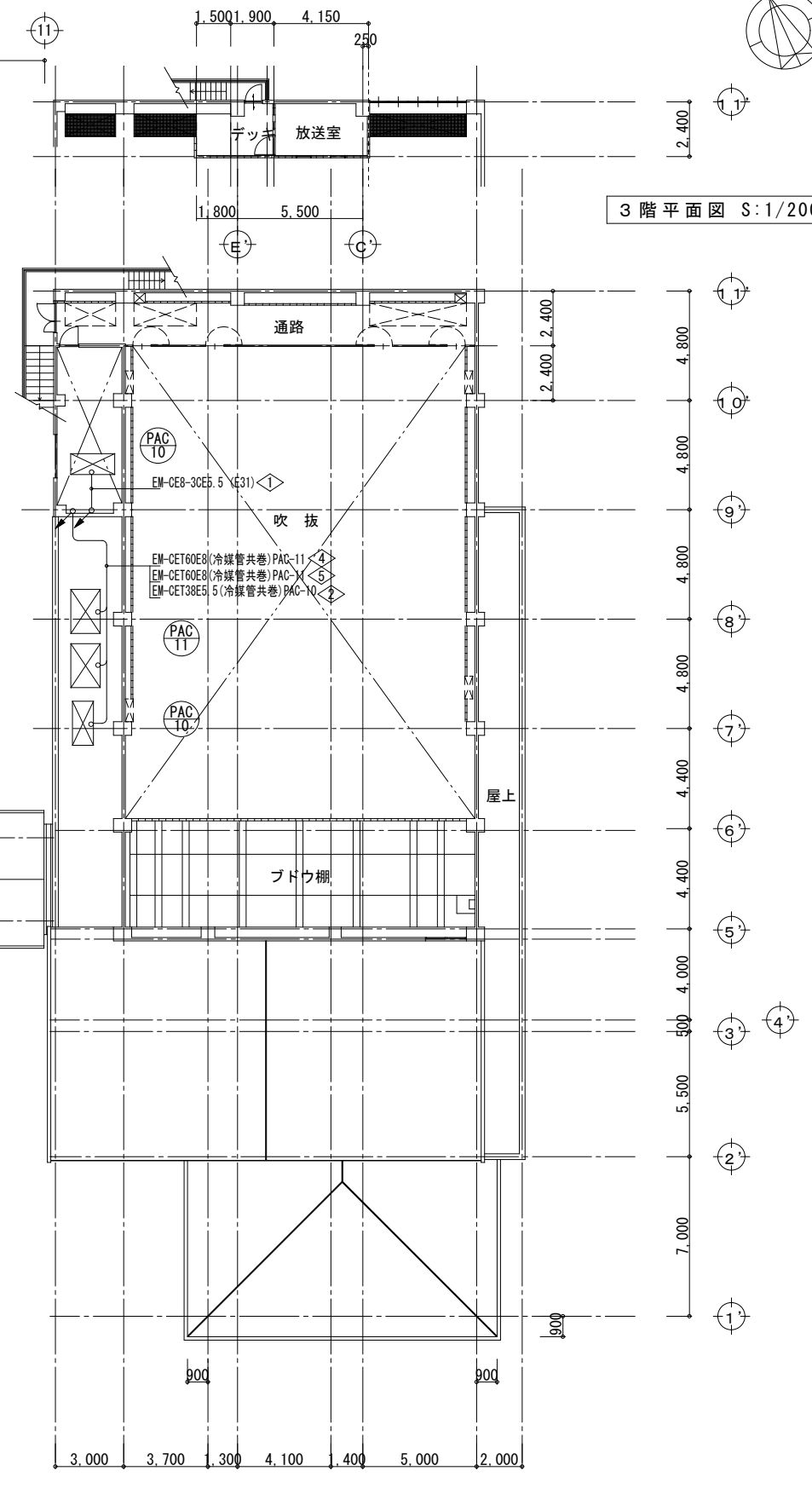
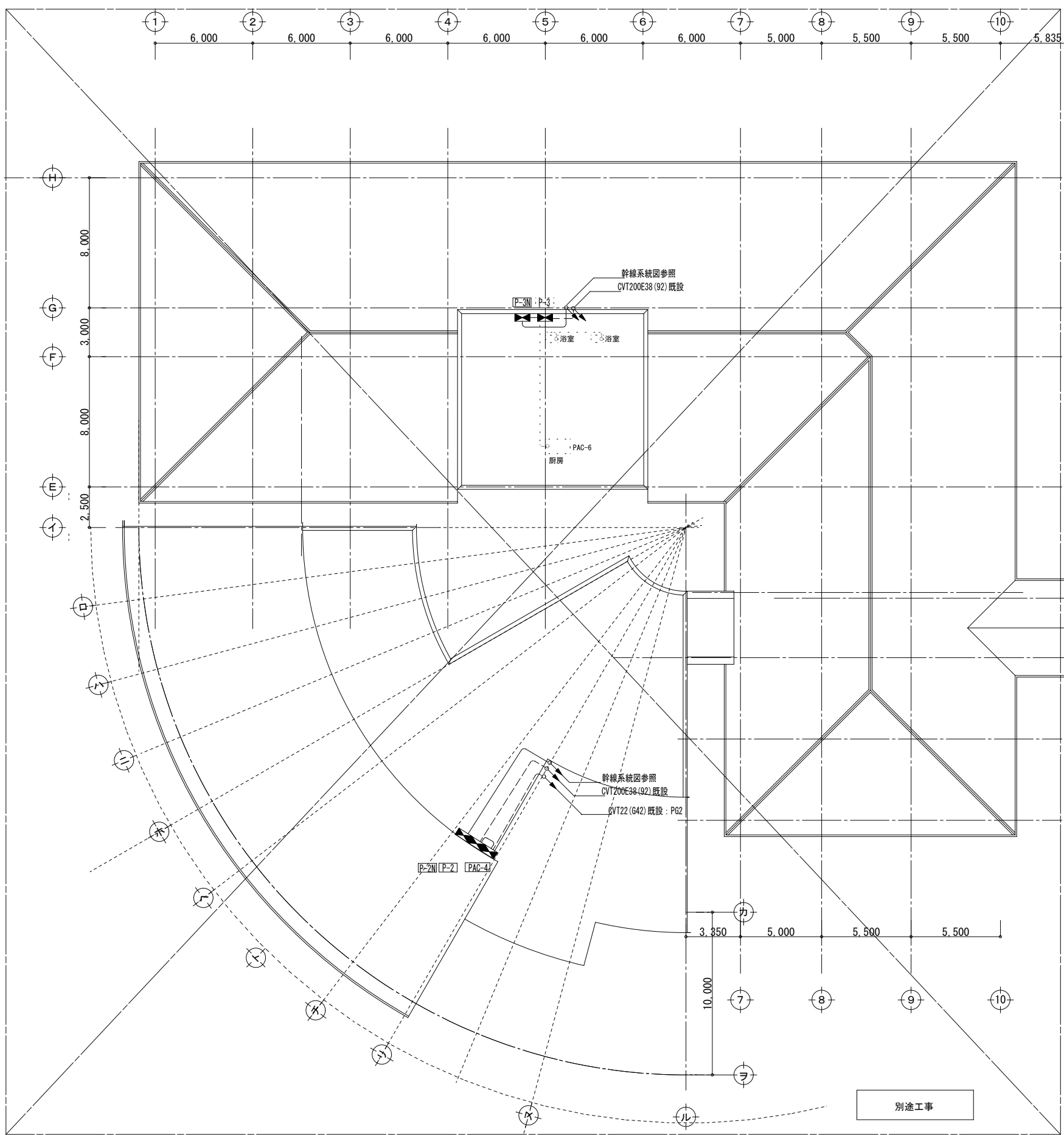
銅板製指定色



負荷名称	新設空調機	新設空調機	新設空調機	新設空調機	新設空調機	手元盤	手元盤
負荷記号	PAC-10室内機	PAC-10室外機	PAC-11室内機	PAC-11室外機1	PAC-11室外機2	S-13	S-14
負荷容量 (最大)	19.5A	83A	64.8A	113.2A	113.2A	13.4kW	5.14kW

設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称 : 玉城町ふれあいホール空調設備改修工事		E-05
訂正年月日				図面名称 : 盤 結 線 図 2		
				SCALE	N / S	

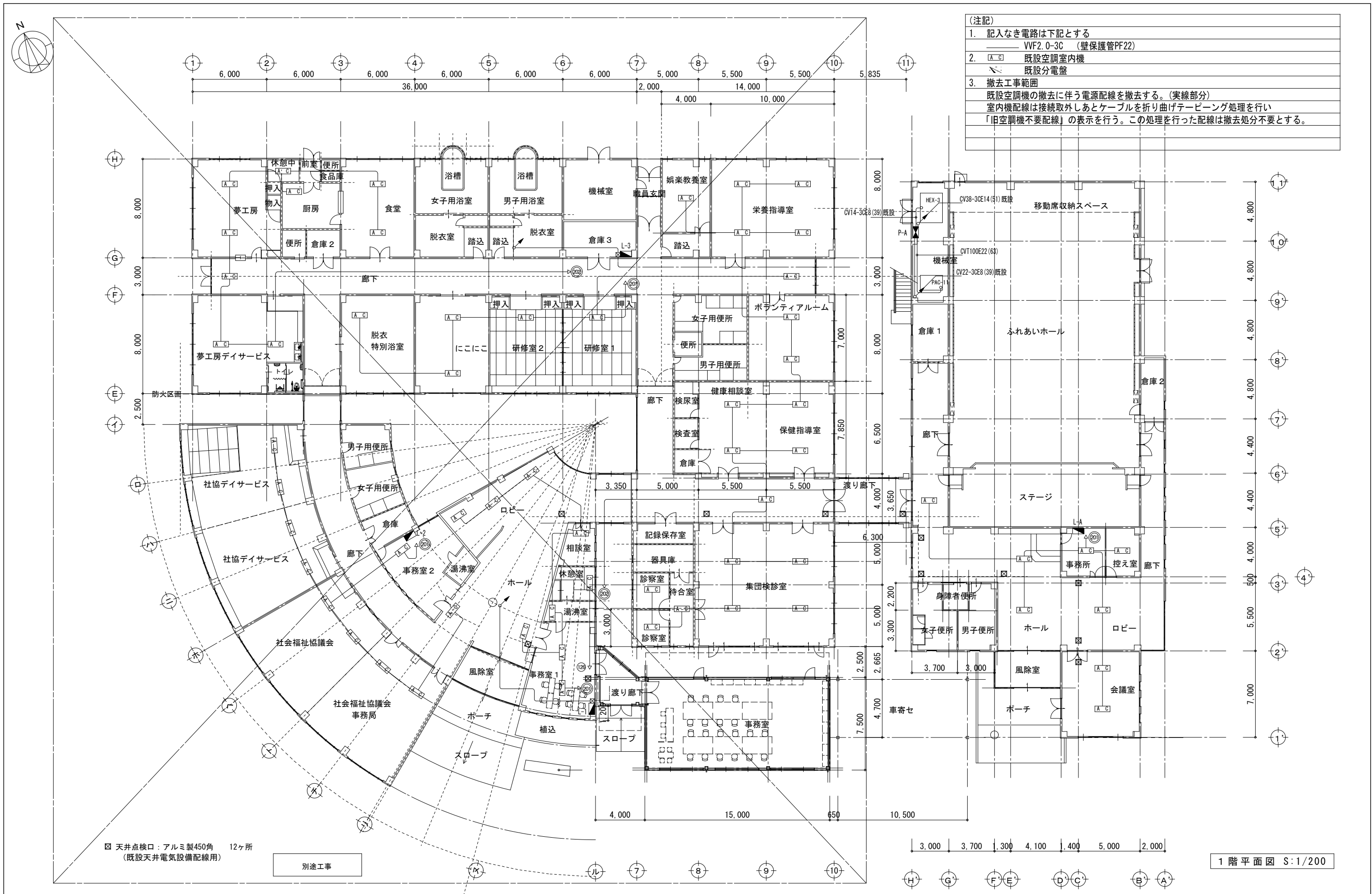




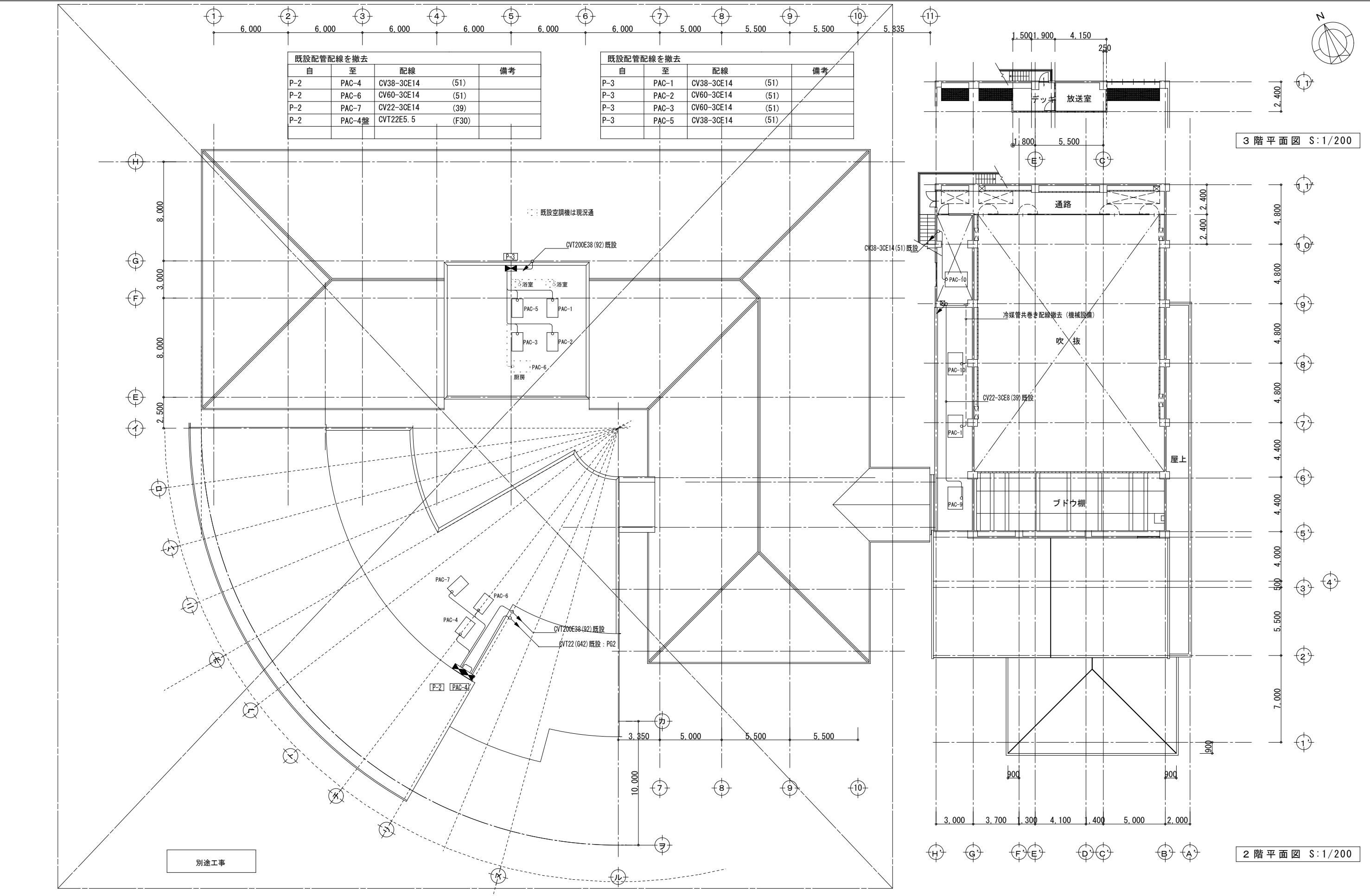
3 階平面図 S:1/200

2 階平面図 S:1/200

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	E-07
			訂正年月日				図面名称：(改修)空調配線2階平面図・3階平面図 SCALE 1/200	



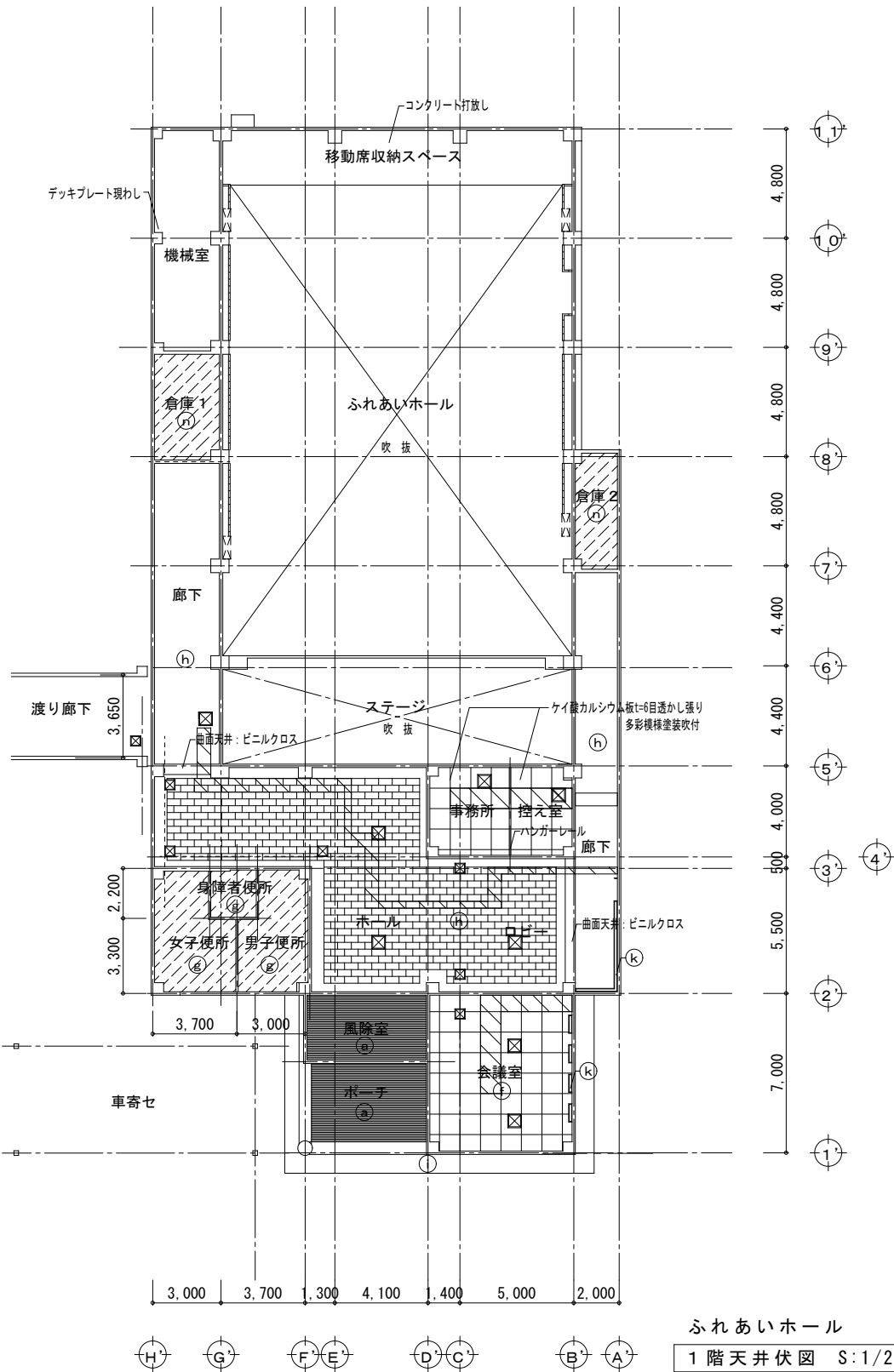
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	E-08
			訂正年月日				図面名称：(既設)空調配線1階平面図 SCALE 1/200	



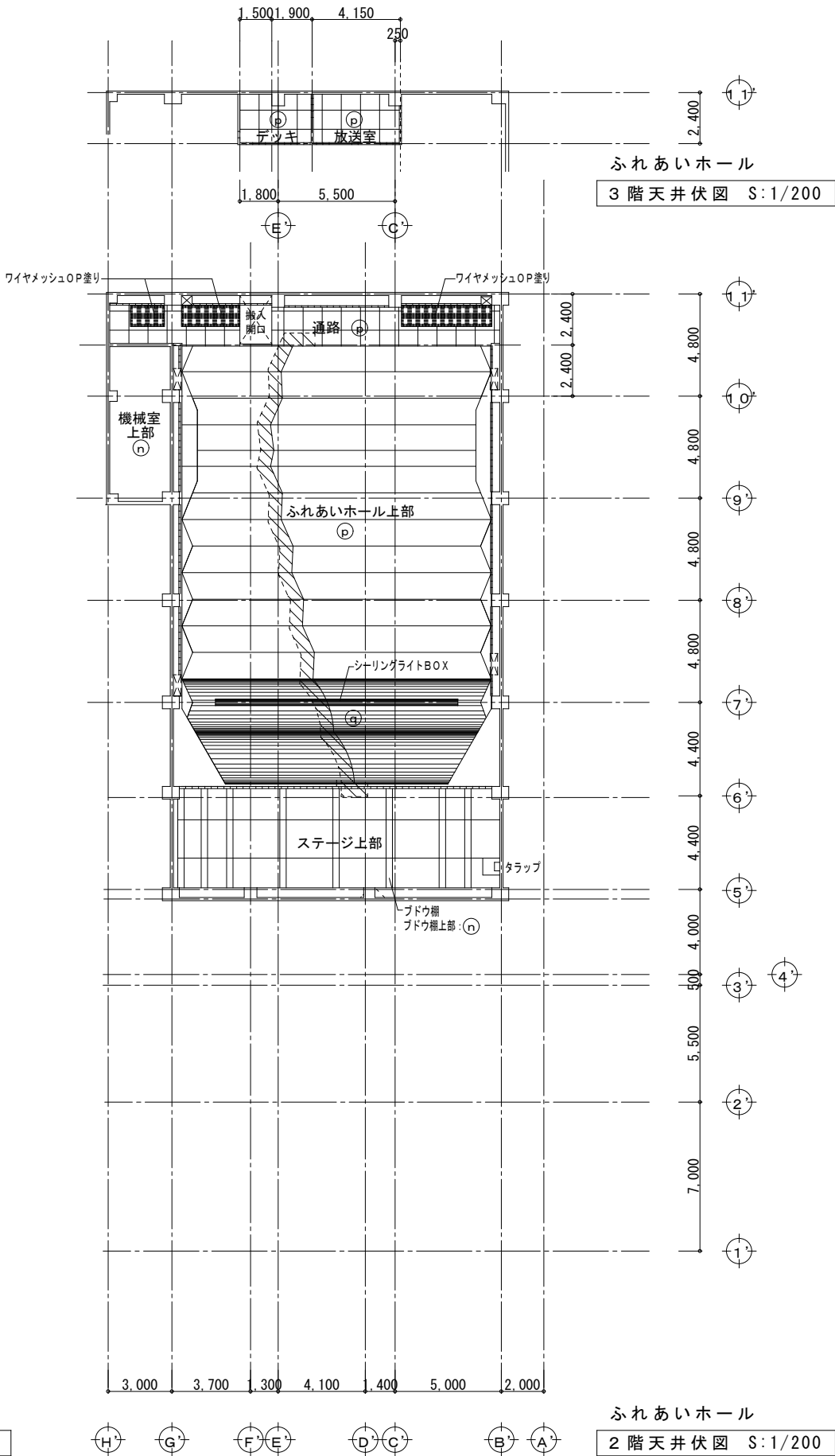
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	E-09
			訂正年月日				図面名称：(既設)空調配線2階平面図・3階平面図 SCALE 1/200	

脱着器具表						
室 名	照明器具	換気扇	火災感知器	スピーカ	その他	備 考
控え室	1	1	1	1		
事務室	1		1	1		
ロビー	6			1		
会議室	4		1	1		

記号	仕 上
(a)	アルミスバンドレルt=0.8 (カラー)
(b)	テーパーボードt=9.5 ビニルクロス
(c)	ケイ酸カルシウム板t=6 目透かし張り E P
(d)	杉桎化粧石膏ボードt=9.5 敷目天井
(e)	ラワンベニヤt=4
(f)	化粧石膏ボードt=9.5 910×910
(g)	ケイ酸カルシウム板t=6 目透かし張り V P
(h)	プasterボードt=9.5 捨て張り ロックウール吸音板t=9
(i)	合板型枠コンクリート打放し補修 アクリルリシン吹付
(j)	ケイ酸カルシウム板t=6 アクリルリシン吹付
(k)	ブラインドBOX OP
(l)	アルミブラインドBOX (ブラック)
(m)	アルミルーバー (ホワイト) 1800×1800
(n)	木毛セメント板
(o)	バスリブ
(p)	吸音石膏ボード t=9.5 E P・ガラスウール t=50 裏打
(q)	難燃有孔ベニヤ t=5.5 E P・ガラスウール t=50 裏打
☒	アルミ天井点検口 600×600
☒	アルミ天井点検口 450×450



ふれあいホール  
1階天井伏図 S:1/200



ふれあいホール  
3階天井伏図 S:1/200

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	E-10
			訂正年月日				図面名称 : 天井改修器具表	
							SCALE 1/200	

機械設備工事特記仕様書

1

工事名称

玉城町ふれあいホール空調設備改修工事

2

工事場所

玉城町勝田4876番地1

3

建築概要

ふれあいホールRC造3階建延べ面積870.57㎡

4

適用基準

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による三重県公共工事共通仕様書（平成28年7月）（最新改定：令和元年7月）国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）平成31年版」「建築、電気、機械設備工事監理指針平成28年版」独立行政法人建築研究所監修「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」なお、以下において選択する事項は、■印のついたものを適用する。

5

一般事項

工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に意欲かつ誠実に施工すること。

設計図面に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図面とおりに施工することで将来不具合が発生しうると判断される場合については、その都度、監督員と協議すること。なお設計図面とおりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。

他工事との取り合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。

1) 提出図書

1) 工事書類：

・施工計画書

・打合記録

・材料搬入報告書

・工程表

・安全・訓練実施記録

・機器明細図

・工事日報

・品質確認書類

・工事写真（データ）等

2) 工事完成図書：

・完成図（竣工図）

・施工図

・機器完成図（ファイル等2部）

・保守に関する説明書（取扱説明書・保証書）2部

・機器性能試験成績書2部

・総合調整測定表（試験結果・測定結果等）2部

・官公署届出書類控、検査済証2部

・出来形確認書類2部等

※ 竣工図・施工図はCADにより作成すること。

※ 工事書類は監繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真集、工事完成図書編）に基づき電子納品（3部）すること。

※ 工事写真は監繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修（平成31年版））に従い撮影すること。

なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営繕第211号）」による。

※ 建築包含工事の場合、監督員に確認のこと。

2) 機器及び材料等

工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。

尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているので、メーカー一選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、同等による環境物品等の調達推進に関する法（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に努める。

又、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。

3) 官公署等への届出手続

工事に伴う関係官公署への必要な諸手続きは、受注者が遅滞なく行い、これに要する費用も負担する。

1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成

・本工事（建築工事・電気設備工事・機械設備工事）

・別途工事

2) 防火対象物使用開始届出書

書類の作成（機械設備図面の作成及び機械設備に関する部分の記入）を行うこと。

4) 品質管理

工事施工に関して、着手前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。

5) 出来形管理

以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。

1) 各種機器据付

・耐震強度（設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ）

・基礎寸法

・水平、垂直等

2) 配管・ダクト工事

・支持間隔

・振れ止め支持間隔

3) 屋外排水工事

・排水勾配

・樹の深さ

4) 水栓、リモコンスイッチ類の取付高さ

6) 製品確認

発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認を行うものとする。

□ 適用する□ 適用しない

7) 耐震安全性の分類

構造体（Ⅱ）類建築非構造部材（B）類建築設備（乙）類

8) 機器の地震力（主要機器）

機器名設置階（）設計標準震度Ks（）地域係数（1.0）

水槽類設置階（）設計標準震度Ks（）地域係数（1.0）

その他監督員が指示するもの

9) 冷媒（フロン類）の回収

■適用する□適用しない

冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編2.4.3により、次の書類の写しを監督員に提出すること。

・フロン回収工程管理票

・特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）

撤去する前にフロンを屋外機ユニットに集める作業（ボンブダウン）を行うこと。

パッケージ形空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷媒の大気中への飛散を防止する措置を講じること。

10) 中間技術検査

実施回数（）回

実施する段階（）

(11) 発生材の処理等

1) 引渡しを要するもの（）

上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。

2) 特別管理産業廃棄物（）

処理方法（）

なお施工に際して、廃石綿等特別管理廃棄物及び疑わしい機器等を見出した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。

3) 現場内において再利用を図るもの□発生土□その他（）

4) 再資源化を図るもの□コンクリート塊□アスファルトコンクリート塊□建設発生木材□

5) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。

6) 引渡しを要しないものは、全て横断に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。

12) 電気保安技術者

□ 配置する■ 配置しない

13) 施工条件

監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。

1) 施工可能日

■ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり□ 指定なし

2) 施工可能時間帯

■ 指定なし□ 指定あり（時～時）

14) 概成工期

建築物等の使用を想定して総合試験運転を行ううえで、関連工事を含めた各工事が支障のない状態まで完了していること。

■ 指定なし□ 指定あり（平成年月日）

15) 仮設工事

構内既存の施設

1) 便所

□ 利用できる■ 利用できない

2) 工用水

■ 利用できる（無償）□ 利用できない

3) 工用電力

■ 利用できる（有償）□ 利用できない

※ 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事起因する電力料金は本工事に含まれる。

16) 足場

□ 別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が定置したものは無償で使用できる。

■ 足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり据置き方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。

公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）第編2.2.1より足場の種別は以下による。

□ 内部足場（□ A種□ B種□ C種■ D種□ E種□ F種□ G種）

□ 外部足場（□ A種■ B種□ C種□ D種□ E種□ F種）

□ 防護シート設置範囲□ 工事に必要な範囲□（）

17) 建築材料等

1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図面に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」設備機材等評価名簿（最新版）及び別記記載の指定資材及び参考見積メーカー又はこれらと同等品以上とする。

品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。

2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。

3) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。

（認定製品の品名）

4) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するよう努めること。

（認定製品の品名：・間伐材製工事用バリケード・間伐材工事看板・間伐材表示板）

18) 建設副産物

請負金額1億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書（実施書）」（建設資材を搬入する場合）及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」（建設副産物を搬出した場合）を作成し、監督員に提出すること。

また、計画書（実施書）の提出とともにJACICが運営する「建築副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せて行うこと。

19) 三重県産業廃棄物税

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から9月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェスト）の数量の集計を超えて請求することはできない。

20) 事故の発生時

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員へ通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員へ提出すること。

なお、事故発生後の措置について、監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

21) 既設との取合い・養生

本工事施工に伴う、既存設備の軽微な加工・改造は、本工事とする。

また、工事施工に際し、既存部分を汚損・破損等しないよう養生を行うこと。なお汚損・破損等した場合は、機能・仕上げ等、既設にない復旧すること。

22) 総合評価方式

総合評価方式の工事において技術提案、施工体制確認資料の記載内容等に不履行があった場合、本件工事完成年度の翌年度に三重県が発注する総合評価方式案件（以下「発注工事」という。）において、貴社の加算点から発注工事の加算点満点の1割を減点します。また、同一年度に複数工事で不履行があった場合は、不履行工事件数に応じて減点します。なお、貴社が特定J・V、経営J・Vの構成員である場合についても、発注工事の加算点満点の1割を減点します。

23) 下請次数制限及び県内（管内）企業優先使用

本工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。なお、その次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。

本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（2次以下の請負人を含む）を三重県内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するように努めること。また、工事場所を所管する建設事務所管内又は隣接する建設事務所管内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定するよう努めること。なお、県外企業を下請契約の相手方に選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。

24) 不当介入を受けた場合の措置

暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について

1) 受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。

2) 1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。

3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。

(25) 主任技術者又は監理技術者

1) 技術者要件

工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たすものとしなければならない。

2) 専任を要しない期間

・現場施工に着手するまでの期間

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所を設置、資機材の搬入、又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。

・検査終了後の期間

工事完成后、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続き片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

26) 火災保険等

三重県建設工事請負契約書第52条第1項の規定により、火災保険、組立保険又はその他の保険等に加えし、その加入証券等を提示しなければならない。

① 保険の目的物工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）

② 保険の加入期間工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間

③ 保険金額原則として請負金額に相当する金額

27) 工事目的物の部分引渡し等について

□ 部分引渡しあり□ 部分使用あり

・指定部分（）・時期（平成年月日）

28) 埋蔵文化財調査

埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。

□ 発掘調査等の実施あり

■ 発見された場合、発掘調査等の実施あり

29) 不正経油の使用の禁止

1) 一般事項

県工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用される車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正経油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。

2) 調査の協力

受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等と同調査を協力するよう管理及び監督しなければならない。

3) 是正措置

受注者は、不正経油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正経油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

30) 社会保険等未加入対策

・適用除外でないにも関わらず、社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。

・受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

31) その他

1) 使用機械

低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。

2) 測定機器の校正記録

工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。測定に先立ち使用する測定機器の検査済証（写し）又は校正記録（写し）を監督員に提示すること。

32) 現場での安全確保（自主施工の原則）

・受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。

・設計図面に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。

33) 電子メールの活用

・「電子メールを活用した情報共有における実施要領 令和元年7月」を適用する。（三重県HP「三重県の公共情報」を参照）

34) 設計図書の照査

三重県公共工事共通仕様書第1編1章1-1-3.2.設計図書の照査に基づく照査を実施すること。

また、照査の実施において、契約書第18条第1項1号から5号に該当する事実がない場合についても、その旨を監督員に報告すること。なお、監督員の請求があった場合は、照査の実施が確認できる資料を提示すること。

6 工事科目

1) 空気調和設備工事

2) 自動制御設備工事

7 工事概要

1) 空気調和設備工事

本工事は、既設ビル用マルチパッケージエアコンを撤去し、個別パッケージエアコンを設置することにより所要の各室について空調するものである。

各機器の据付・試運転調整を含めて機器設備工事とする。

空間設備工事に於ける外気、室内の温湿度条件

	乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%
外気条件	夏期	34.7	27.2
	冬期	1.5	-0.8
室内条件	夏期	26	-
	冬期	22	-

2) 自動制御設備工事

本工事は、設置されるパッケージエアコンについて集中管理するものである。

なお、集中管理方式については各室内機について2位置制御を基本とする遠方発停が行えることとする。

3) 撤去工事

本工事は、更新対象となる既設機器を撤去し、内蔵する冷媒について抜き取り、法令に沿った適正処分を行うものである。

また、図中特記のない機器については、撤去せず、配管配線の処置をした上で放棄とする。

8 総合調整

1) 風量調整

■ 適用する□ 適用しない

2) 水量調整

□ 適用する■ 適用しない

3) 室内外空気の温度測定

□ 適用する■ 適用しない

4) 室内外空気の湿度測定

□ 適用する■ 適用しない

5) 室内気流及びじんあいの測定

□ 適用する■ 適用しない

6) 騒音の測定

□ 適用する■ 適用しない

7) 飲料水の水质の測定（水道法施行規則第10条による水质検査）

□ 適用する■ 適用しない

のうち一般細菌、大腸菌、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物（全有機炭素（TOC）の量）、pH値、味、臭気、色度、濁度について測定を行なうこと。

※ 逆浸透膜面汚染等については、上記適用の有無にかかわらず、測定を行なうこと。

8) その他（）

□ 適用する□ 適用しない

9 工事細目

(1) 配管材料

□ 給水管

水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWVA K116（一般：SGP-VA、VB 地中：SGP-VD）

フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011（一般：SGP-FVA、FVB 地中：SGP-FVD）

※ 継ぎ手はコア内蔵型とする。

※ 給水管100Aはねじ又はフランジ接合、125A以上はフランジ接合（工場加工）とする。

■ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742（一般・地中：H1VP）

水道配水用ポリエチレン管 JWVA K 144（50～150A）（地中：PE）

給水設備用ポリエチレン管 JP K 001（20～40A）（地中：PE）

給水用高密度ポリエチレン管 PWA 005（20～75A）（地中：PE）

水道配水用ポリエチレン管 PWA 001（50～200A）（地中：PE）

水道用ステンレス鋼鋼管 JWVA G 115

一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448

※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。

□ 雑排水管

配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白）

※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用（地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き）

□ 土間：硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU）

□ 土間：リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP）

※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。

□ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はJIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。

□ 通気管

配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白）

※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用（地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き）

□ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP）

□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP）

※ RF-VPは屋外露出不可

□ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はJIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。

□ 汚水管

排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042

※ 同上MD継ぎ手 JPF MDJ 002

□ 土間：硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU）

□ 土間：リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP）

※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。

□ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741（硬質塩化ビニル管VP）又はJIS K 9798（リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP）規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。

□ 給管

排水・通気用給管 SHASE-S203

□ 給湯管

水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWVA K 140（一般：SGP-HVA 地中：内外面耐熱性硬質塩化ビニリング鋼管）

水道用ステンレス鋼鋼管 JWVA G 115

一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448

□ ガス管

配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白）

□ 土間：塩化ビニル被覆鋼管（黒）

□ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774（地中：PE）

※ 地中埋設鋼管は、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。

（注）都市ガスの場合、ガス管理を供給業者の仕様に適応修正のこと。

□ 消火管

配管用炭素鋼鋼管（白） JIS G 3452（SGP-白）

消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（白） WSP041（SGP-VS）

※ 地中埋設管VSは、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。

□ 屋外埋設排水

硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741（VP・VU）

リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798（RF-VP）

排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 AS-58（REP-VU）

リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 JIS K 9797（RS-VU）

※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。

□ コンクリート管 JIS A 5372（プレキャスト鉄筋コンクリート製品）（1類水路用遠心力鉄筋コンクリート管）

設計年月日

承認

検図

P & D

訂正年月日

工事名称：玉城町ふれあいホール空調設備改修工事

図面名称：機械設備特記仕様書（1）SCALE N/S

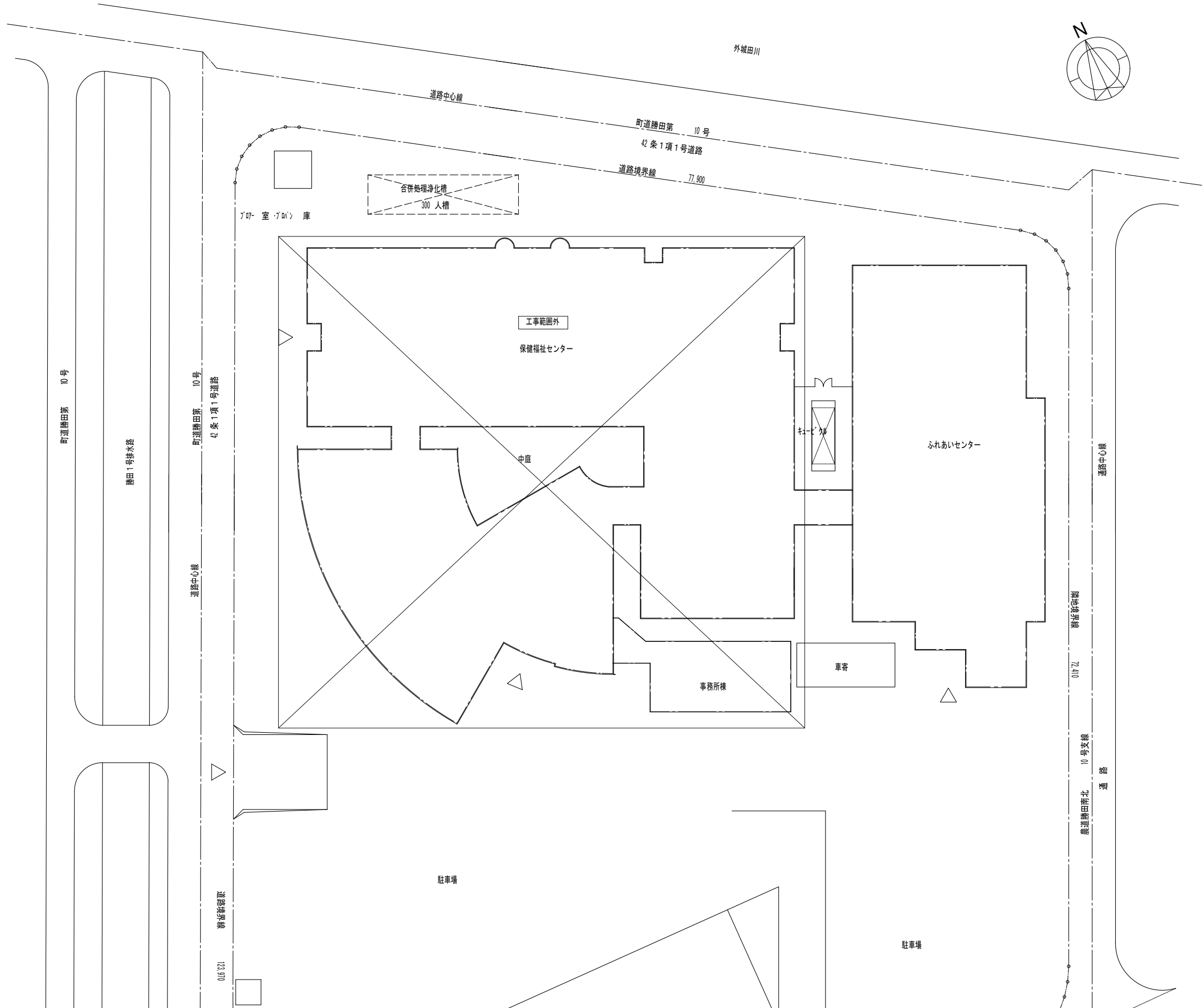
M-01

A2→A3縮小 71%



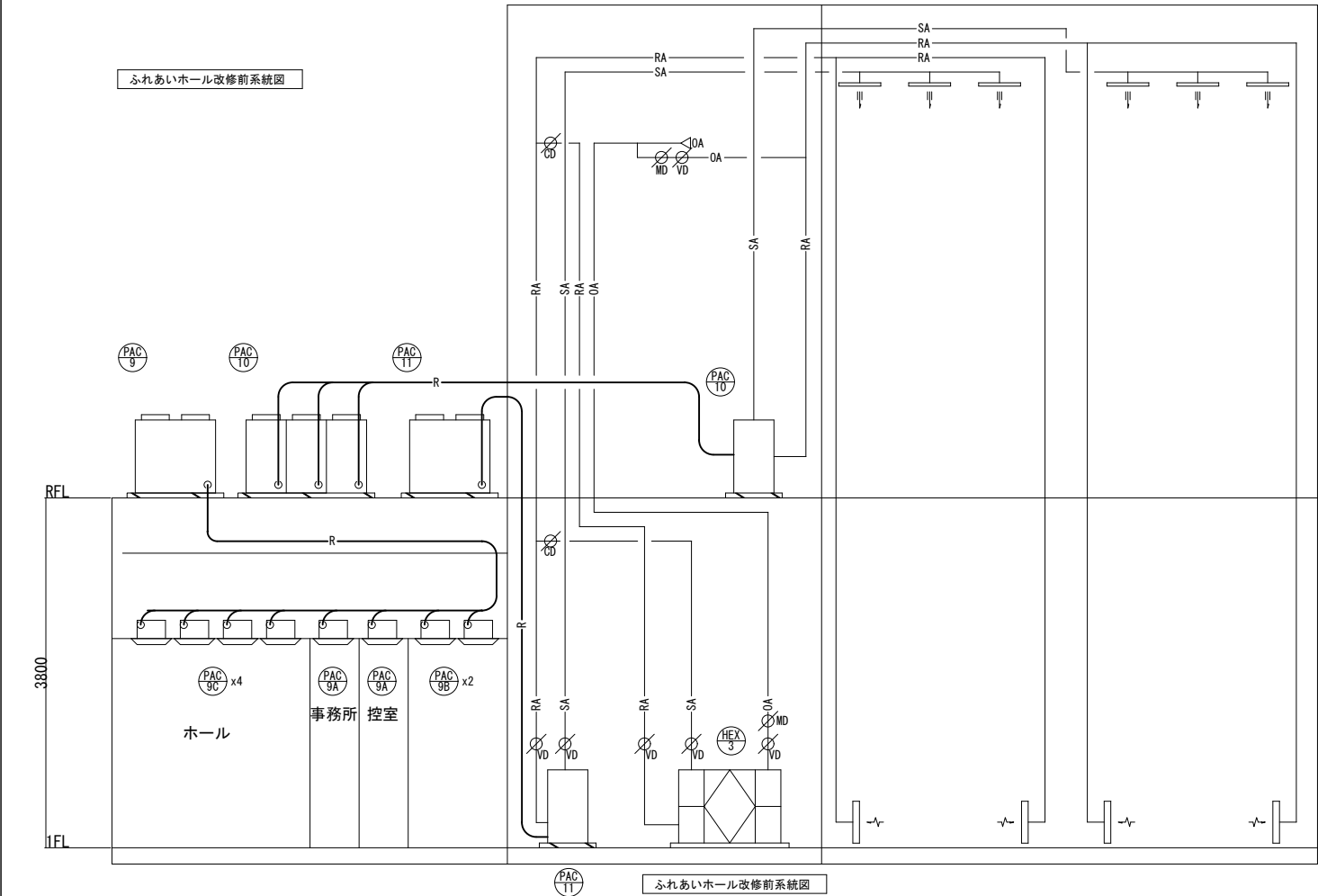


図示記号	
記 号	名 称
----	屋 外 給 水 管
----	屋 内 給 水 管
—R—	冷 媒 配 管
—D—	ド レ ン 配 管
----	ダ ク ト
×	給 水 栓
⊗   ⊕	弁 類 10K



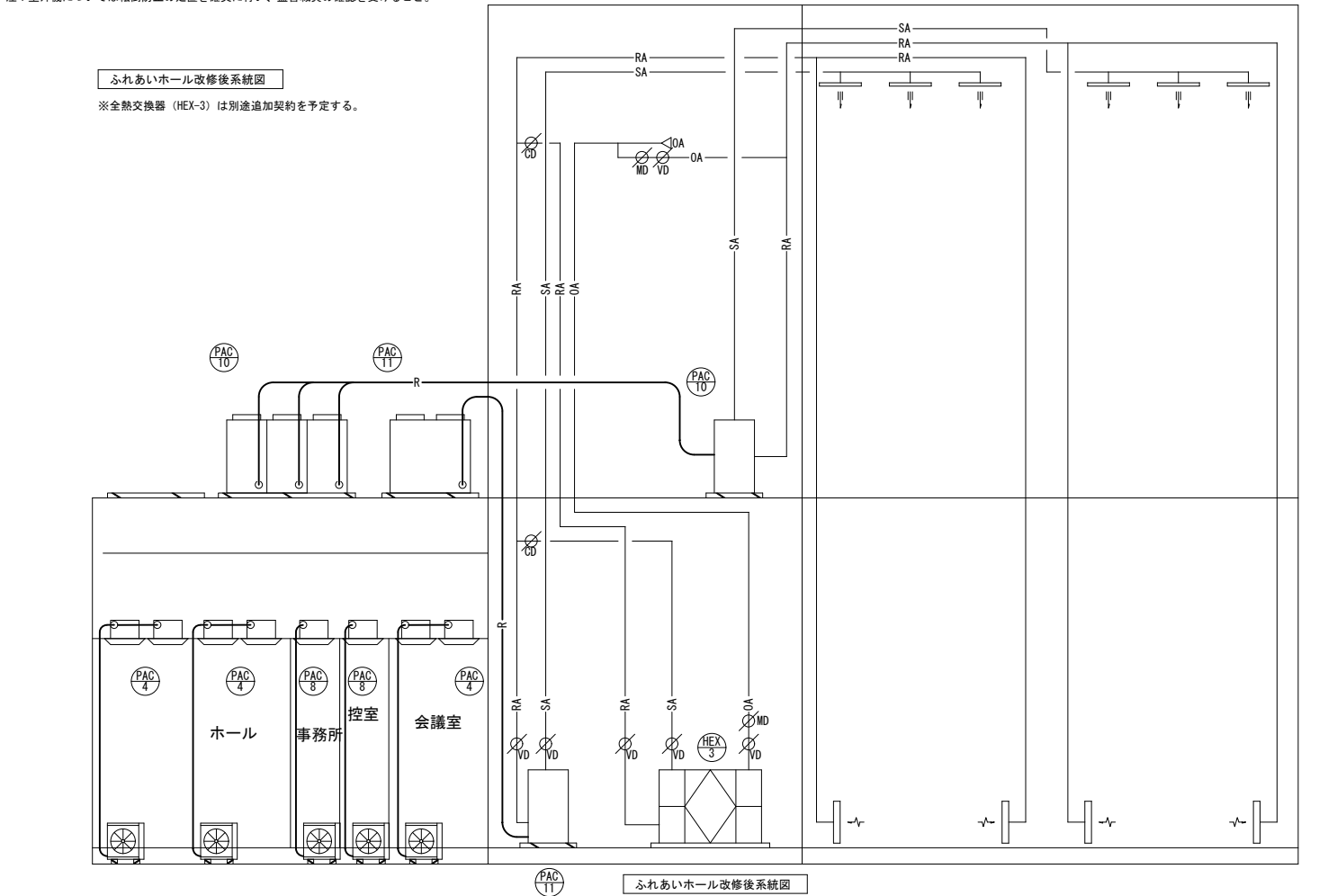
			設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称 : 玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	M-03
			訂正年月日					
							図 面 名 称 : 配置図	
							SCALE 1/300	

撤去機器表									
記号	機器名称	機器仕様	冷房能力 Kw	暖房能力 Kw	相 Φ	電圧 (V)	台数	備考	既設機器
PAC-1	空冷マルチパッケージ室外機	室外機 防振架台	45.0	50.0	3	200	1	屋上機械置場	PUHY-J450BM-A
PAC-1A	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	9.0	10.0	1	200	4	栄養指導室	PLEY-J90QM-A
PAC-1B	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	4.5	5.0	1	200	2	ボランティアルーム	PLEY-J45QM-A
PAC-2	空冷マルチパッケージ室外機	室外機 防振架台	56.0	63.0	3	200	1	屋上機械置場	PUHY-J560BM-A
PAC-2A	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット1方向	2.8	3.2	1	200	2	診察室	PMEY-J28AM-A1
PAC-2B	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	3.6	4.0	1	200	3	保健指導室 待合室	PLEY-J36QM-A
PAC-2C	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	4.5	5.0	1	200	2	健康相談室	PLEY-J45QM-A
PAC-2D	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	5.6	6.3	1	200	4	集団検診室	PLEY-J56QM-A
PAC-2E	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	7.1	8.0	1	200	1	集団検診室前廊下	PLEY-J71QM-A
PAC-3	空冷マルチパッケージ室外機	室外機 防振架台	56.0	63.0	3	200	1	屋上機械置場	PUHY-J560BM-A
PAC-3A	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 壁掛型	2.8	5.0	1	200	1	休憩室	PMEY-J28AM-A
PAC-3B	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	4.5	5.0	1	200	2	にこにこ	PLEY-J45QM-A
PAC-3C	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	5.6	6.3	1	200	2	食堂	PLEY-J56QM-A
PAC-3D	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	7.1	8.0	1	200	3	木工房 音楽教室	PLEY-J71QM-A
PAC-3E	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井埋込型	9.0	10.0	1	200	2	研修室 (天井内残置)	PEFY-J90M-A
PAC-3F	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 外気処理ユニット型 (全熱交換器付)	10.9	12.2	1	200	1	栄養指導室前廊下 送風量1000m3/h 外気量1000m3/h	GU-100HDF
PAC-4 (避難所系)	空冷マルチパッケージ室外機	室外機 防振架台	35.5	40.0	3	200	1	屋上機械置場	PUHY-J355BM-B
PAC-4A	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット1方向	2.8	3.2	1	200	1	相談室	PMEY-J28AM-A1
PAC-4B	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	4.5	5.0	1	200	2	事務室1	PLEY-J45QM-A
PAC-4C	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井埋込型	11.2	12.5	1	200	2	社会福祉協議会事務局	PEFY-J112M-A
PAC-4D	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 外気処理ユニット型 (全熱交換器付)	10.9	12.2	1	200	1	社協前廊下 送風量1000m3/h 外気量1000m3/h	GU-100HDF
PAC-5	空冷マルチパッケージ室外機	室外機 防振架台	35.5	40.0	3	200	1	屋上機械置場	PUHY-J355BM-B
PAC-5A	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	8.0	9.0	1	200	2	木工房ディスプレイ	PLEY-J80QM-A
PAC-5B	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井埋込型	11.2	12.5	1	200	1	特別浴室	PEFY-J112M-A
PAC-5C	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 外気処理ユニット型 (全熱交換器付)	10.9	12.2	1	200	1	木工房前廊下 送風量1000m3/h 外気量1000m3/h	GU-100HDF
PAC-6	空冷マルチパッケージ室外機	室外機 防振架台	56.0	63.0	3	200	1	屋上機械置場	PUHY-J560BM-A
PAC-6A	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	7.1	8.0	1	200	1	事務室2	PLEY-J71QM-A
PAC-6B	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井埋込型	9.0	10.0	1	200	6	社会福祉協議会 社協ディスプレイ	PEFY-J90M-A
PAC-7	空冷マルチパッケージ室外機	室外機 防振架台	28.0	31.5	3	200	1	屋上機械置場	PUHY-J280M-B
PAC-7A	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット1方向	2.8	3.2	1	200	1	ロビー	PMEY-J28AM-A1
PAC-7B	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	5.6	6.3	1	200	2	ロビー	PLEY-J56QM-A
PAC-7C	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井埋込型	9.0	10.0	1	200	2	ホール (ホール側1台天井内残置)	PEFY-J90M-A
PAC-9 (避難所系)	空冷マルチパッケージ室外機	室外機 防振架台	35.5	40.0	3	200	1	屋上機械置場	PUHY-J355BM-B
PAC-9A	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット2方向	2.8	3.2	1	200	2	事務所 控え室	PLEY-J281MD-A
PAC-9B	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	4.5	5.0	1	200	2	会議室	PLEY-J45QM-A
PAC-9C	空冷マルチパッケージ室内機	室内機 天井カセット4方向	5.6	6.3	1	200	4	ふれあいホールロビー	PLEY-J56QM-A
PAC-10	空冷ヒートポンプ床置ダクト接続 背面吸込型	室外機 室内機 防振架台	61.1	70.6	3	200	1	ホール機械室	PAH-J630DC
PAC-11	空冷ヒートポンプ床置ダクト接続 背面吸込型	室外機 室内機 防振架台	135.0	137.0	3	200	1	ホール機械室	PAH-J1400K
RA-1	ルームエアコン	室外機	2.2	3.4	1	100	1	屋上機械置場 (過去改修により室外機のみ)	
HEX-3	全熱交換器ユニット	ローター回転型	外気量8800m3/h 熱交換8800m3/h 熱交換ファンS.50W 送風ファンS.50W	3	200	1	ホール機械室	EU-1500FA	
	空冷マルチパッケージ用 集中リモコン						2	事務室1	

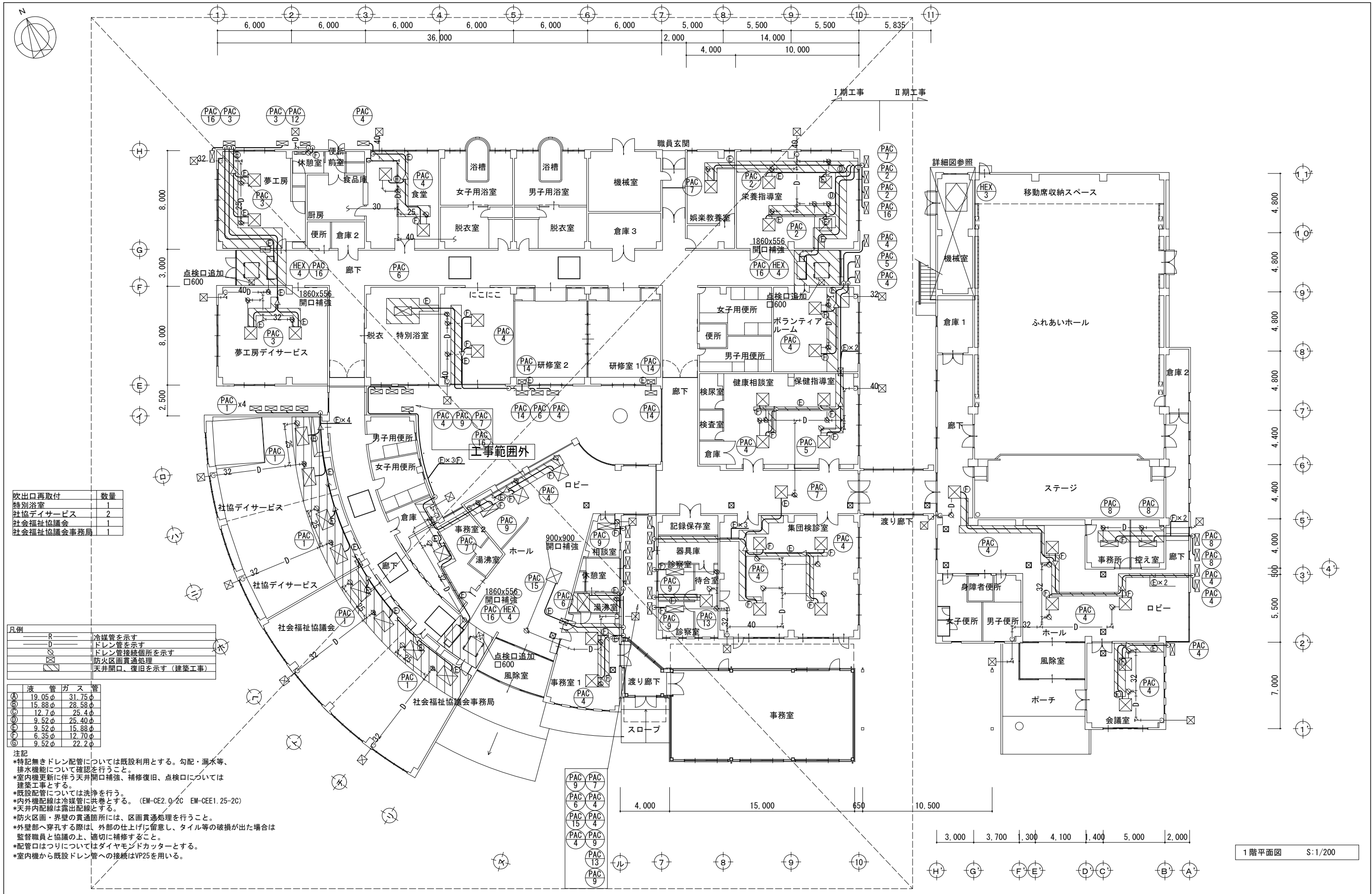


改修機器表												
記号	機器名称	機器仕様	電気容量							台数	据付位置	備考
			冷房能力 Kw	暖房能力 Kw	相 Φ	電圧 (V)	送風機出力 Kw	消費電力				
								冷房	暖房	低温暖房		
PAC-1	空冷ヒートポンプパッケージ	天井埋込型 ツイン 耐塩害	14.0	16.0	3	200		4.74	5.13	6.70	4	社協事務室(避難所系) 社会福祉協議会 社協ディスプレイ
PAC-2	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ4方向 ツイン 耐塩害	20.0	22.4	3	200		6.11	5.74	8.57	2	栄養指導室
PAC-3	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ4方向 ツイン 耐塩害	14.0	16.0	3	200		4.25	4.12	6.7	2	木工房 木工房ディスプレイ
PAC-4	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ4方向 ツイン 耐塩害	10.0	11.2	3	200		2.40	2.48	5.14	11	食堂 喫茶コーナーロビー ふれあいホールロビー(避難所系) 事務室1(避難所系) にここ 健康相談室 集団検診室 ボランティアルーム 会議室(避難所系)
PAC-5	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ4方向 ツイン 耐塩害	7.1	8.0	3	200		1.89	1.68	2.66	1	保健指導室
PAC-6	空冷ヒートポンプパッケージ	天井埋込型 耐塩害	10.0	11.2	3	200		2.97	2.83	5.84	2	特別浴室 湯沸室
PAC-7	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ4方向 耐塩害	7.1	8.0	3	200		1.98	2.01	2.77	3	事務室2 総運転室 集団検診室前廊下
PAC-8	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ2方向 耐塩害	3.6	4.0	3	200		0.885	1.04	1.56	2	ふれあいホール事務所(避難所系) 控室(避難所系)
PAC-9	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ1方向 耐塩害	3.6	4.0	3	200		0.91	1.01	1.36	4	相談室(避難所系) 診察室1・2 喫茶コーナーロビー
PAC-10	空冷ヒートポンプ床置ダクト接続 背面吸込型	室外機 室内機 防振架台 耐塩害	50.0	56.0	3	200		15.38	16.42	18.83	1	ホール機械室
PAC-11	空冷ヒートポンプ床置ダクト接続 背面吸込型	室外機 室内機 防振架台 耐塩害	140.0	160.0	3	200		39.89	42.67	68.44	1	ホール機械室
PAC-12	空冷ヒートポンプパッケージ	壁掛型 耐塩害	3.6	4.0	3	200		0.944	1.15	1.35	1	休憩室
PAC-13	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ4方向 耐塩害	3.6	4.0	3	200		0.759	0.871	1.47	1	待合室
PAC-14	空冷ヒートポンプパッケージ	床置型 耐塩害	10.0	11.2	3	200		2.62	2.81	5.05	2	研修室1・2
PAC-15	空冷ヒートポンプパッケージ	天井セ4方向 耐塩害	10.0	11.2	3	200		2.32	2.45	5.13	1	玄関ホール
PAC-16	空冷ヒートポンプパッケージ	天井ビルトイン 耐塩害	10.0	11.2	3	200		2.98	2.72	5.57	3	栄養指導室前廊下 木工房前廊下 社協前廊下(避難所系)
HEX-3	全熱交換器	ローター回転型 (ローター0.2KW) 分割搬入型 防振架台	外気量8800m3/h 熱気量8800m3/h 熱交換ファンS.50W 送風ファンS.50W	3	200						1	ホール機械室
HEX-4	全熱交換器ユニット		風量[m3/h] 1,000		1	100		熱交換 0.58	普通換気 0.625	騒音[dB] 53.5	3	栄養指導室前廊下 木工房前廊下 社協前廊下
	集中リモコン	液晶カラータッチパネル			1	100					1	事務室1

注：室外機については転倒防止の処置を行い、監督職員の確認を受けること。



		設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	M-04
		訂正年月日				図面名称：空調機器表・ふれあいホール系統図 SCALE N/S	



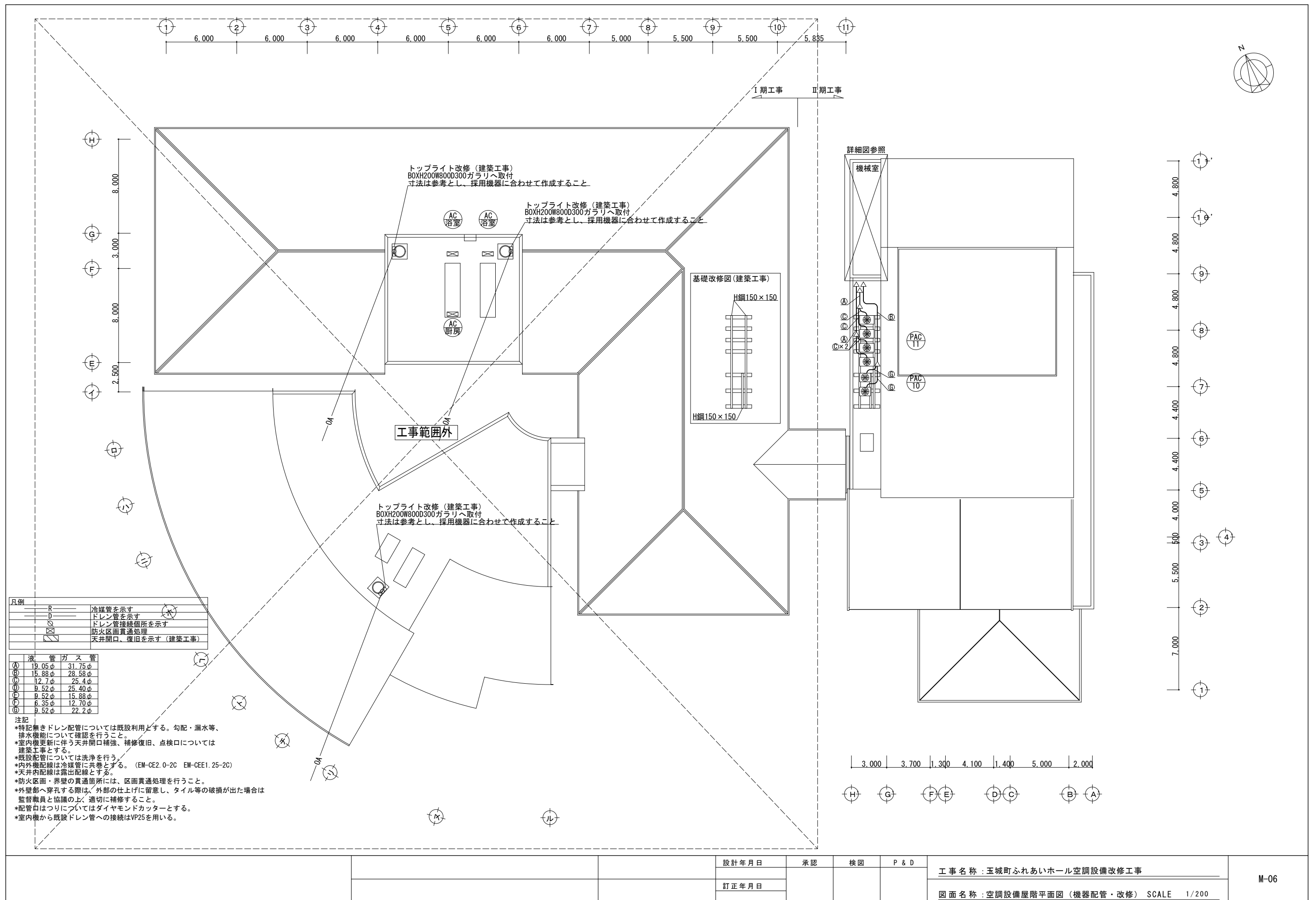
吹出口再取付	数量
特別浴室	1
社協デイサービス	2
社会福祉協議会	1
社会福祉協議会事務局	1

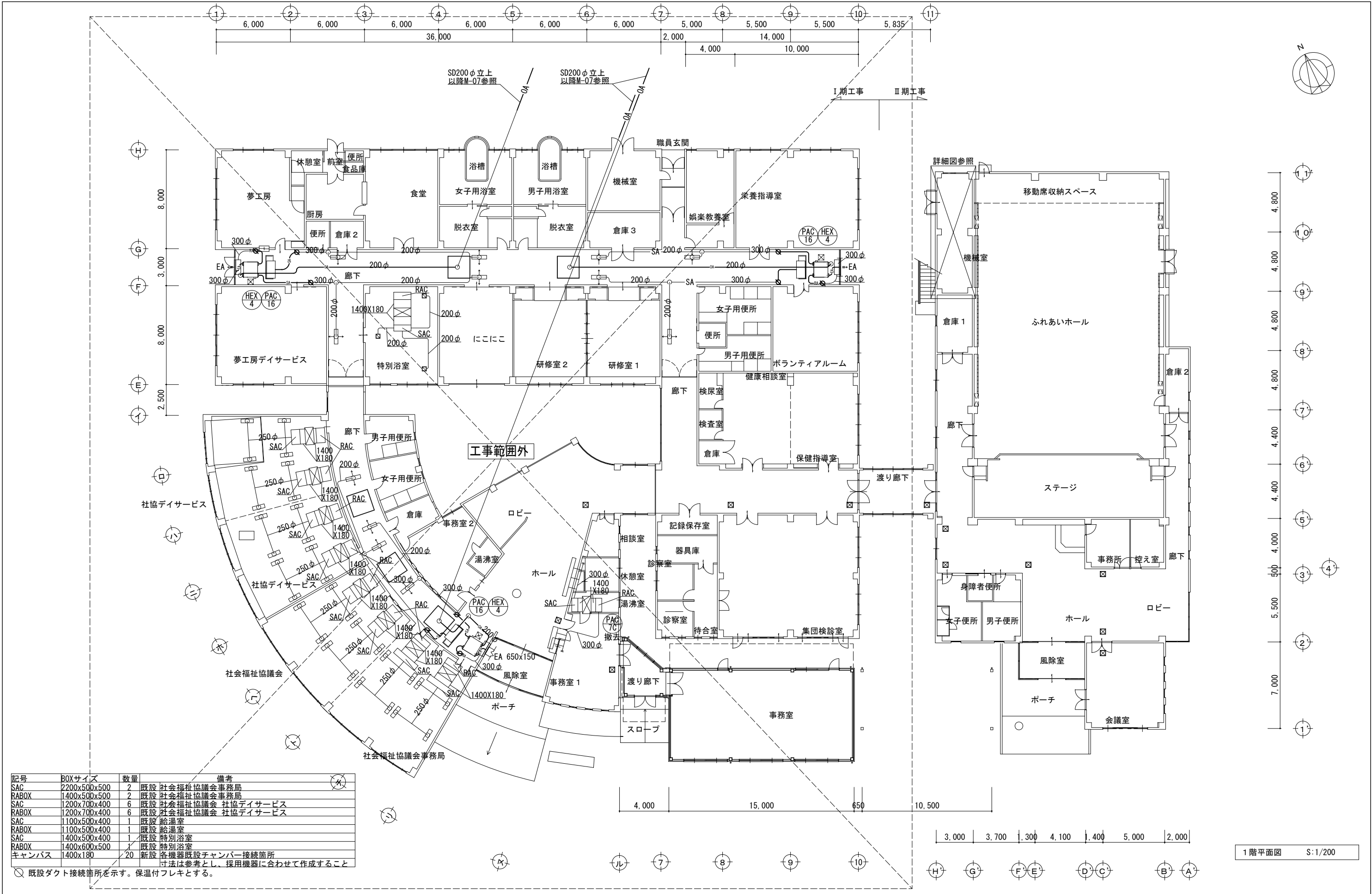
凡例		冷媒管を示す
R	—	ドレン管を示す
D	—	ドレン管接続箇所を示す
⊗	—	防火区画貫通処理
⊗	—	天井開口、復旧を示す（建築工事）

液管	ガス管
① 19.05φ	31.75φ
② 15.88φ	28.58φ
③ 12.7φ	25.4φ
④ 9.52φ	25.40φ
⑤ 9.52φ	15.88φ
⑥ 6.35φ	12.70φ
⑦ 9.52φ	22.2φ

注記  
\*特記無きドレン配管については既設利用とする。勾配・漏水等、排水機能について確認を行うこと。  
\*室内機更新に伴う天井開口補強、補修復旧、点検口については建築工事とする。  
\*既設配管については洗浄を行う。  
\*内外機配線は冷媒管に共巻とする。（EM-CE2.0-2C EM-CEE1.25-2C）  
\*天井内配線は露出配線とする。  
\*防火区画・界壁の貫通箇所には、区画貫通処理を行うこと。  
\*外壁部へ穿孔する際は、外部の仕上げに留意し、タイル等の破損が出た場合は監督職員と協議の上、適切に補修すること。  
\*配管口はつりについてはダイヤモンドカッターとする。  
\*室内機から既設ドレン管への接続はVP25を用いる。

設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	M-05
訂正年月日				図面名称：空調設備1階平面図（機器配管・改修） SCALE 1/200	



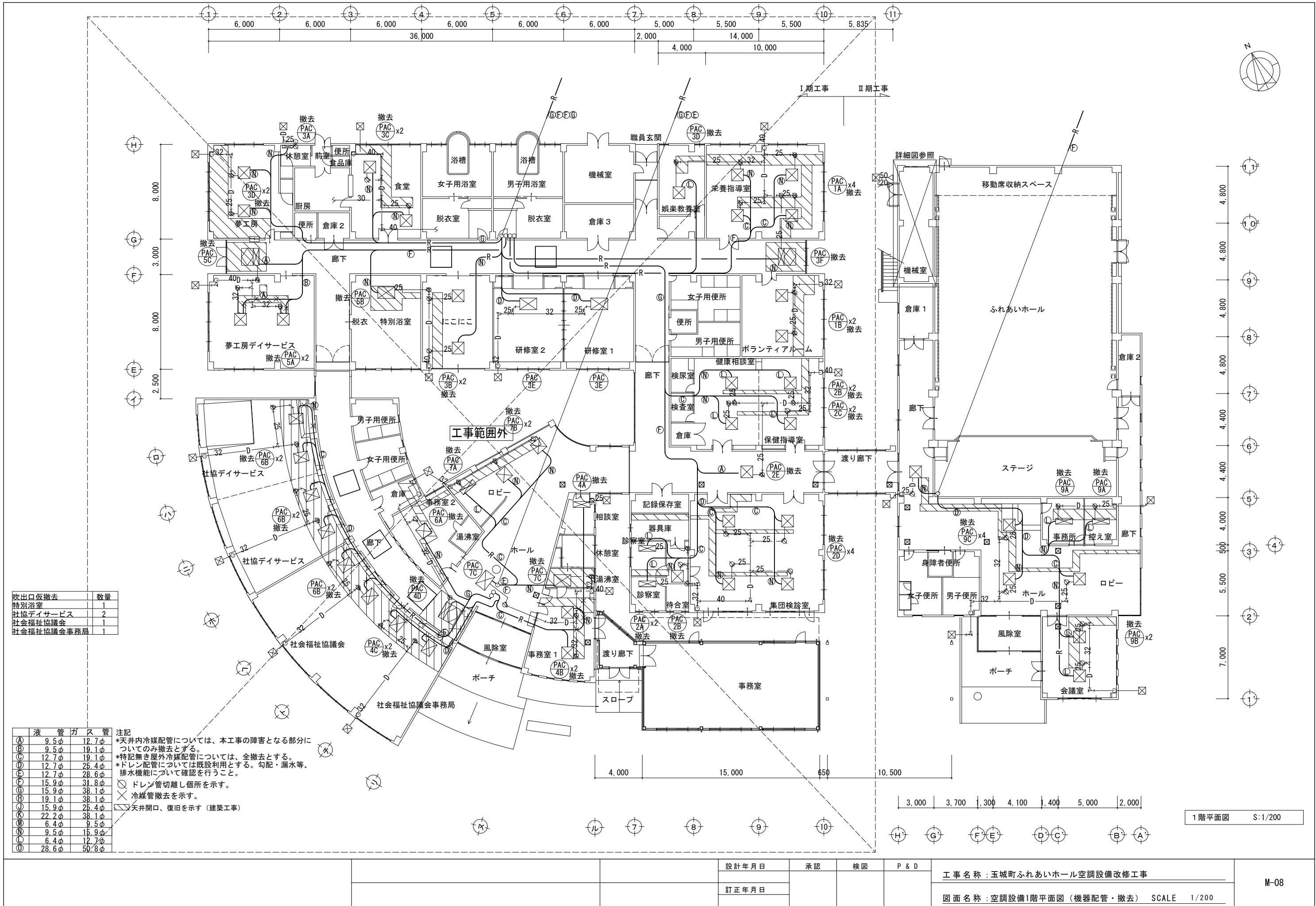


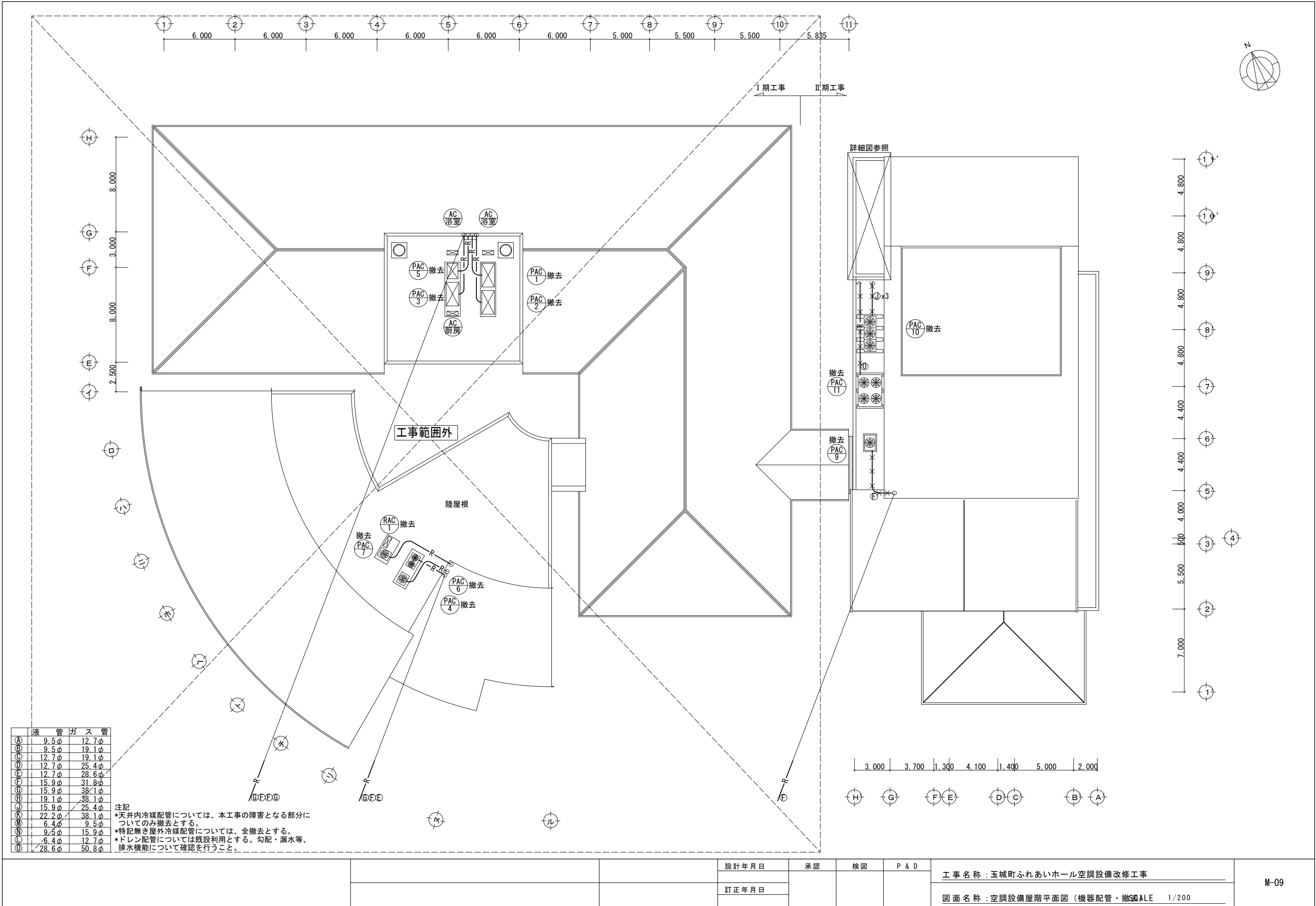
記号	BOXサイズ	数量	備考
SAC	2200x500x500	2	既設 社会福祉協議会事務局
RABOX	1400x500x500	2	既設 社会福祉協議会事務局
SAC	1200x700x400	6	既設 社会福祉協議会 社協デイサービス
RABOX	1200x700x400	6	既設 社会福祉協議会 社協デイサービス
SAC	1100x500x400	1	既設 給湯室
RABOX	1100x500x400	1	既設 給湯室
SAC	1400x500x400	1	既設 特別浴室
RABOX	1400x600x500	1	既設 特別浴室
キャンパス	1400x180	20	新設 各機器既設チャンパー接続箇所

既設ダクト接続箇所を示す。保温付フレキとする。

1 階平面図 S:1/200

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	M-07
			訂正年月日				図面名称：空調設備 1 階平面図（ダクト・改修） SCALE 1/200	



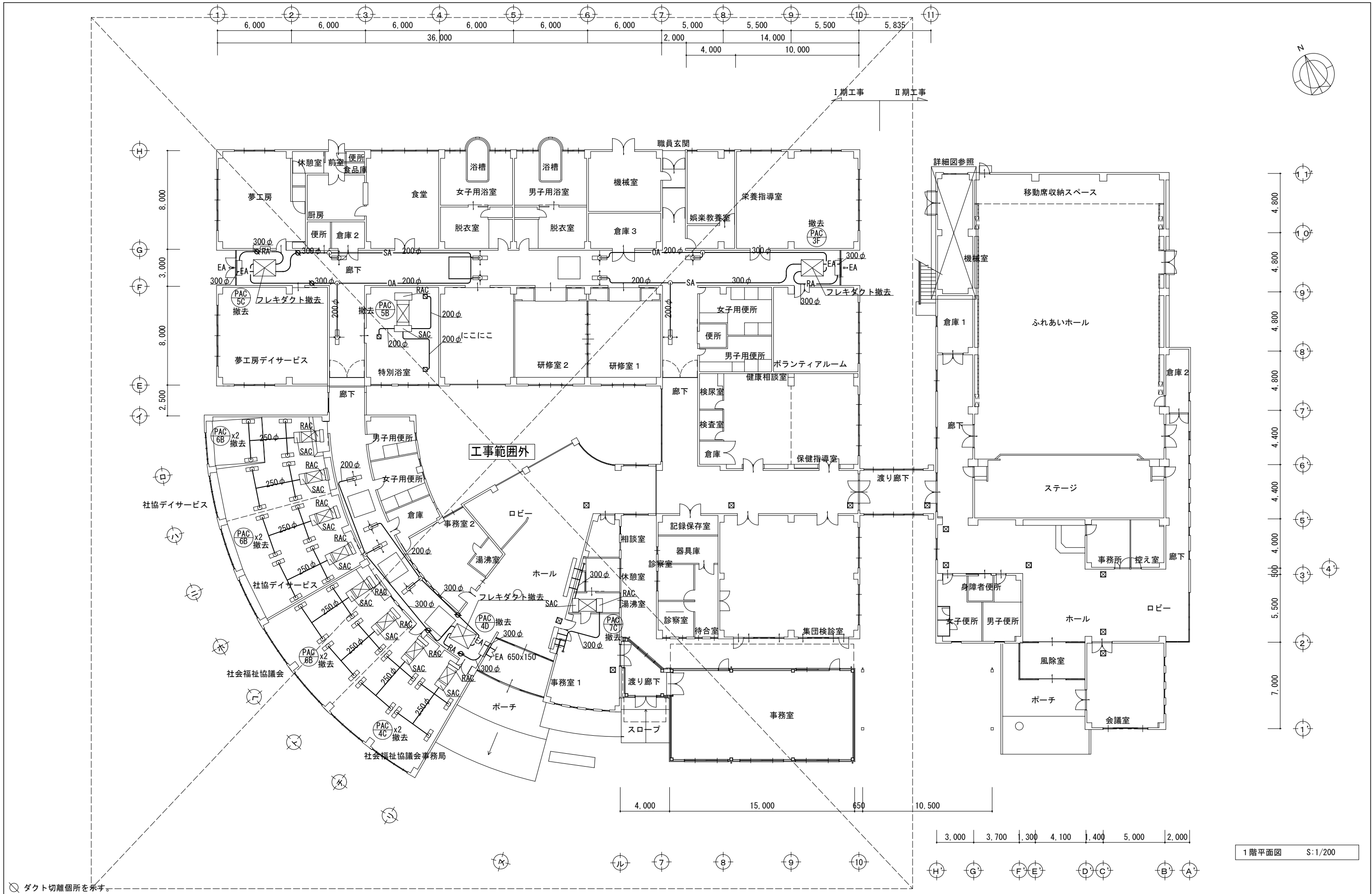


	液 管	ガ ス 管
Ⓐ	9.5φ	12.7φ
Ⓑ	9.5φ	19.1φ
Ⓒ	12.7φ	19.1φ
Ⓓ	12.7φ	25.4φ
Ⓔ	12.7φ	28.6φ
Ⓕ	15.9φ	31.8φ
Ⓖ	15.9φ	38.1φ
Ⓗ	19.1φ	38.1φ
Ⓙ	15.9φ	25.4φ
Ⓚ	22.2φ	38.1φ
Ⓛ	6.4φ	9.5φ
Ⓜ	9.5φ	15.9φ
Ⓝ	6.4φ	12.7φ
Ⓟ	28.6φ	50.8φ

注記  
\*天井内冷媒配管については、本工事の障害となる部分についてのみ撤去とする。  
\*特記無き屋外冷媒配管については、全撤去とする。  
\*ドレン配管については既設利用とする。勾配・漏水等、排水機能について確認を行うこと。

設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	M-09
訂正年月日				図面名称：空調設備屋階平面図（機器配管・撤去）	
				SCALE 1/200	

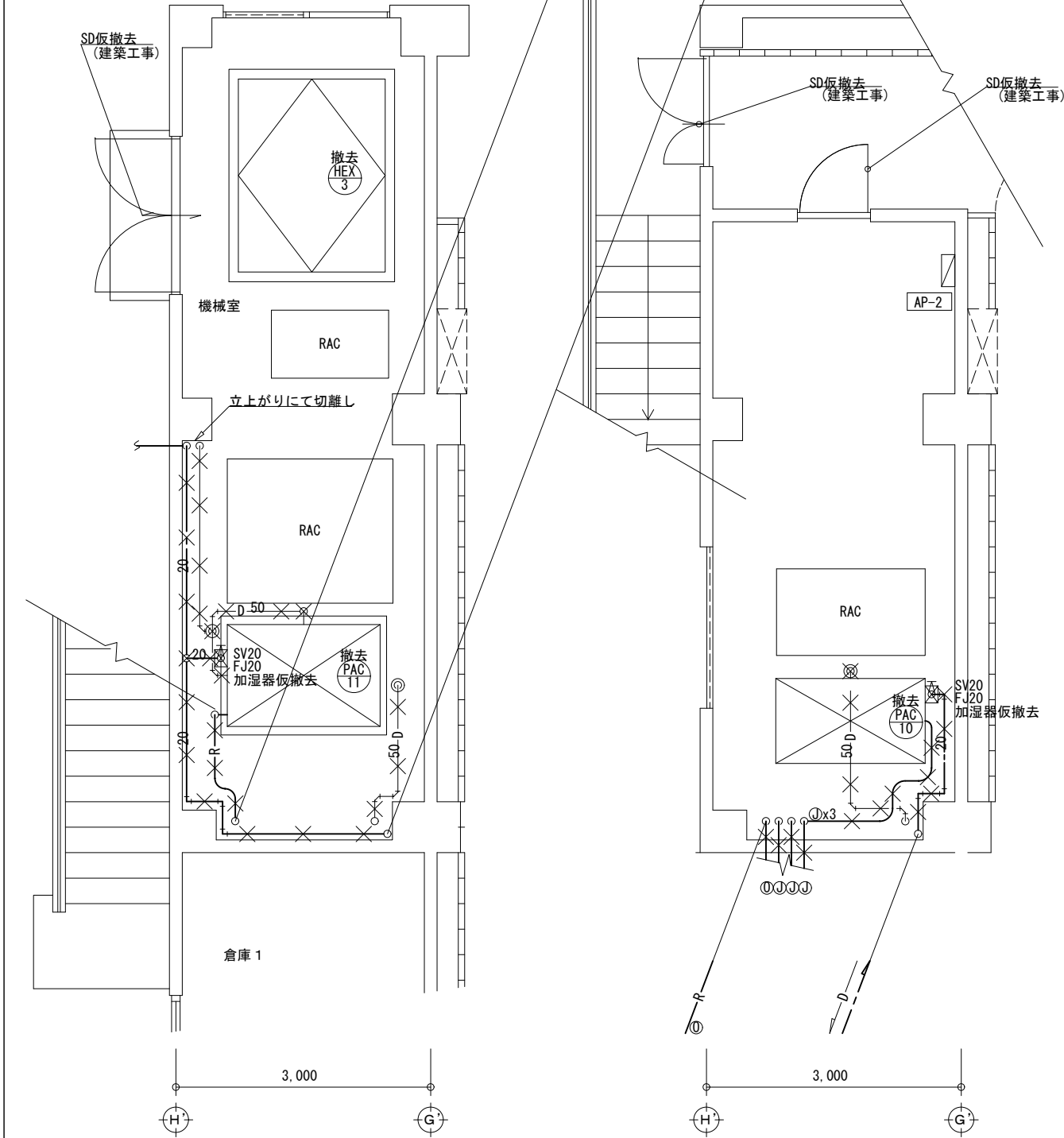




			設計年月日	承認	検図	P & D	工 事 名 称 : 玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	M-10
			訂正年月日				図 面 名 称 : 空調設備 1 階平面図 (ダクト・撤去) SCALE 1/200	

	液	管	ガ	ス	管
④	9.5φ	12.7φ			
⑤	9.5φ	19.1φ			
⑥	12.7φ	19.1φ			
⑦	12.7φ	25.4φ			
⑧	12.7φ	28.6φ			
⑨	15.9φ	31.8φ			
⑩	15.9φ	38.1φ			
⑪	19.1φ	38.1φ			
⑫	15.9φ	25.4φ			
⑬	22.2φ	38.1φ			
⑭	6.4φ	9.5φ			
⑮	9.5φ	15.9φ			
⑯	6.4φ	12.7φ			
⑰	28.6φ	50.8φ			

× 配管撤去を示す。

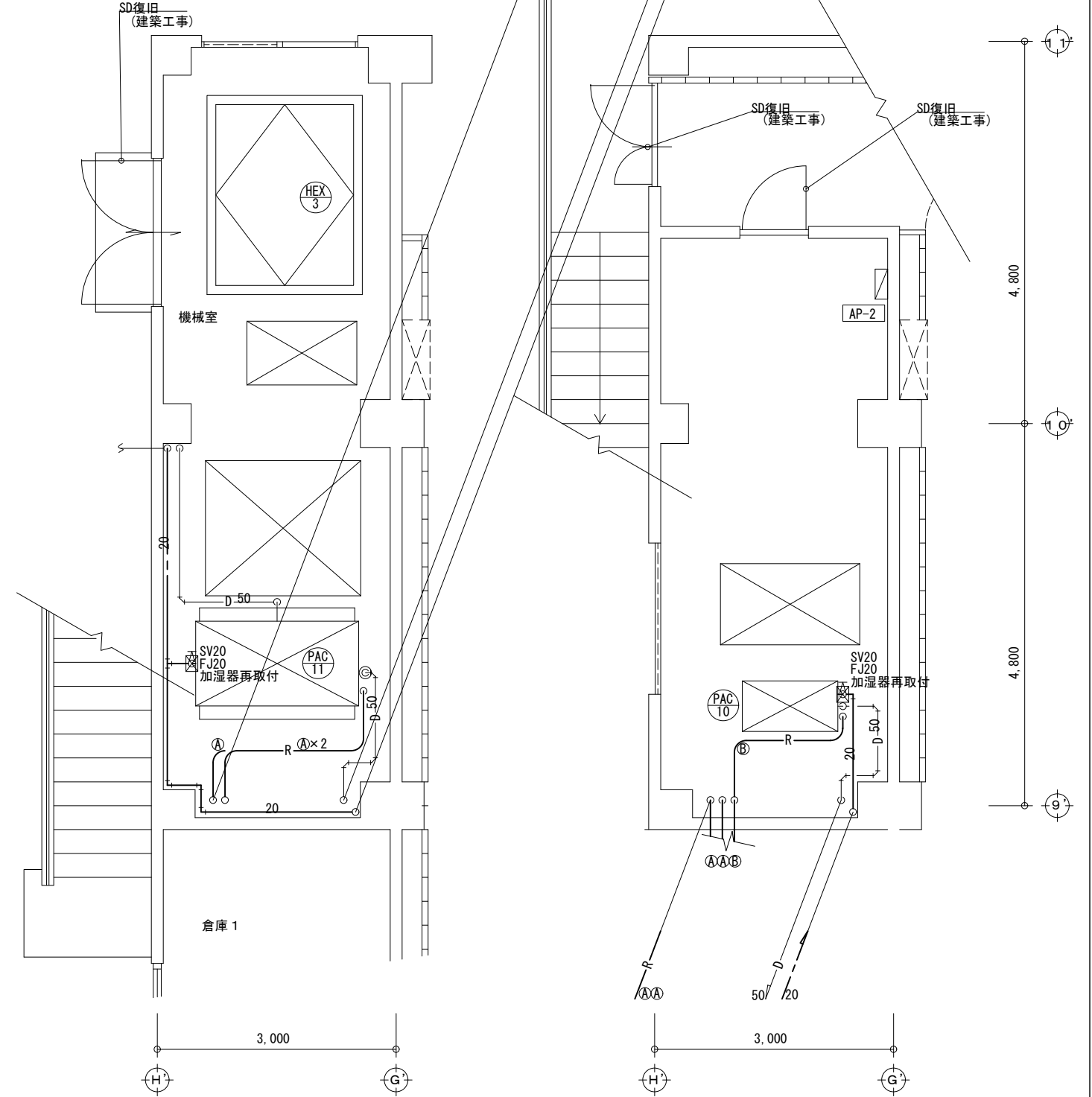


1階撤去図

2階撤去図

注記  
\*特記無きドレン配管については既設利用とする。勾配・漏水等、排水機能について確認を行うこと。

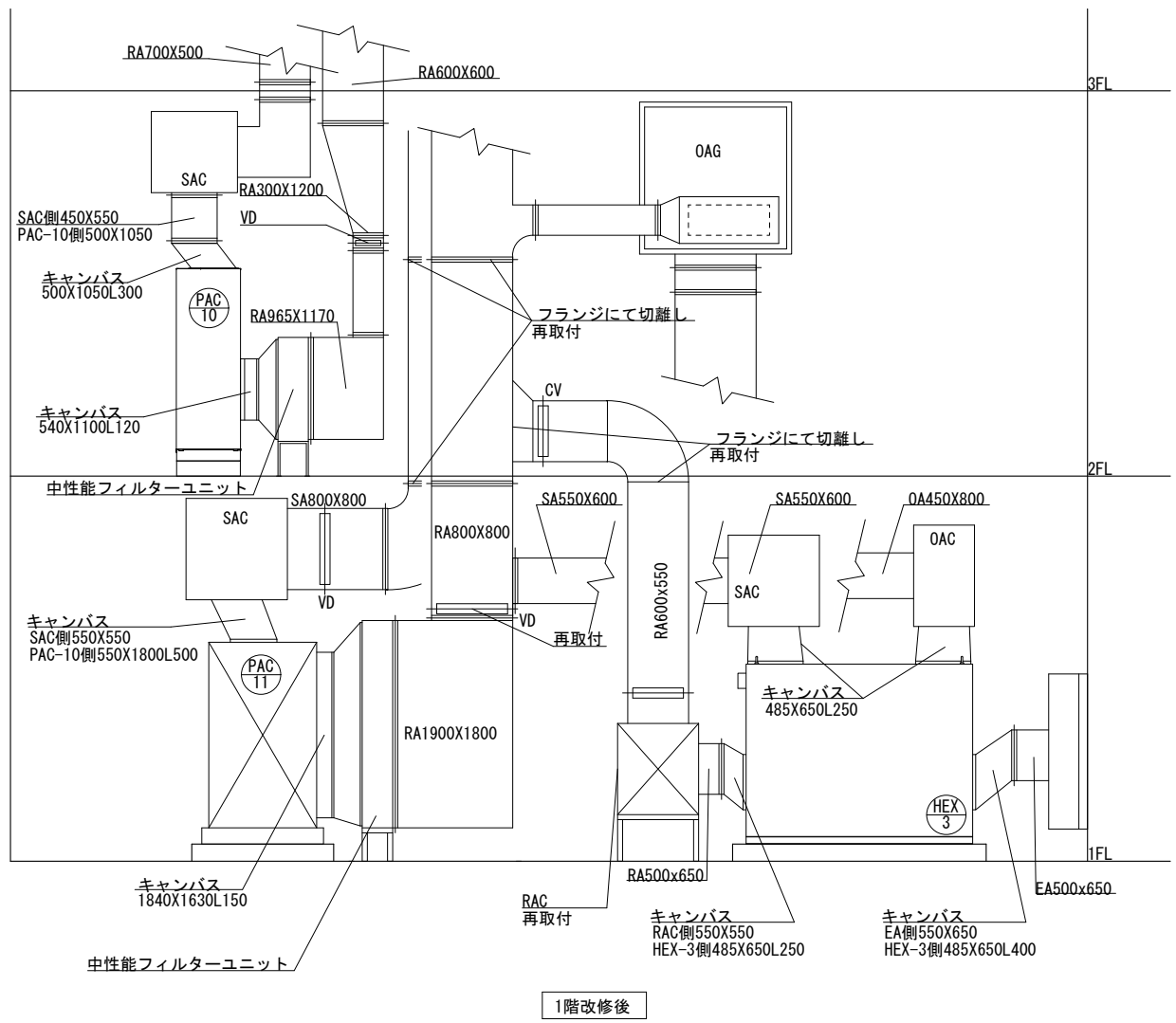
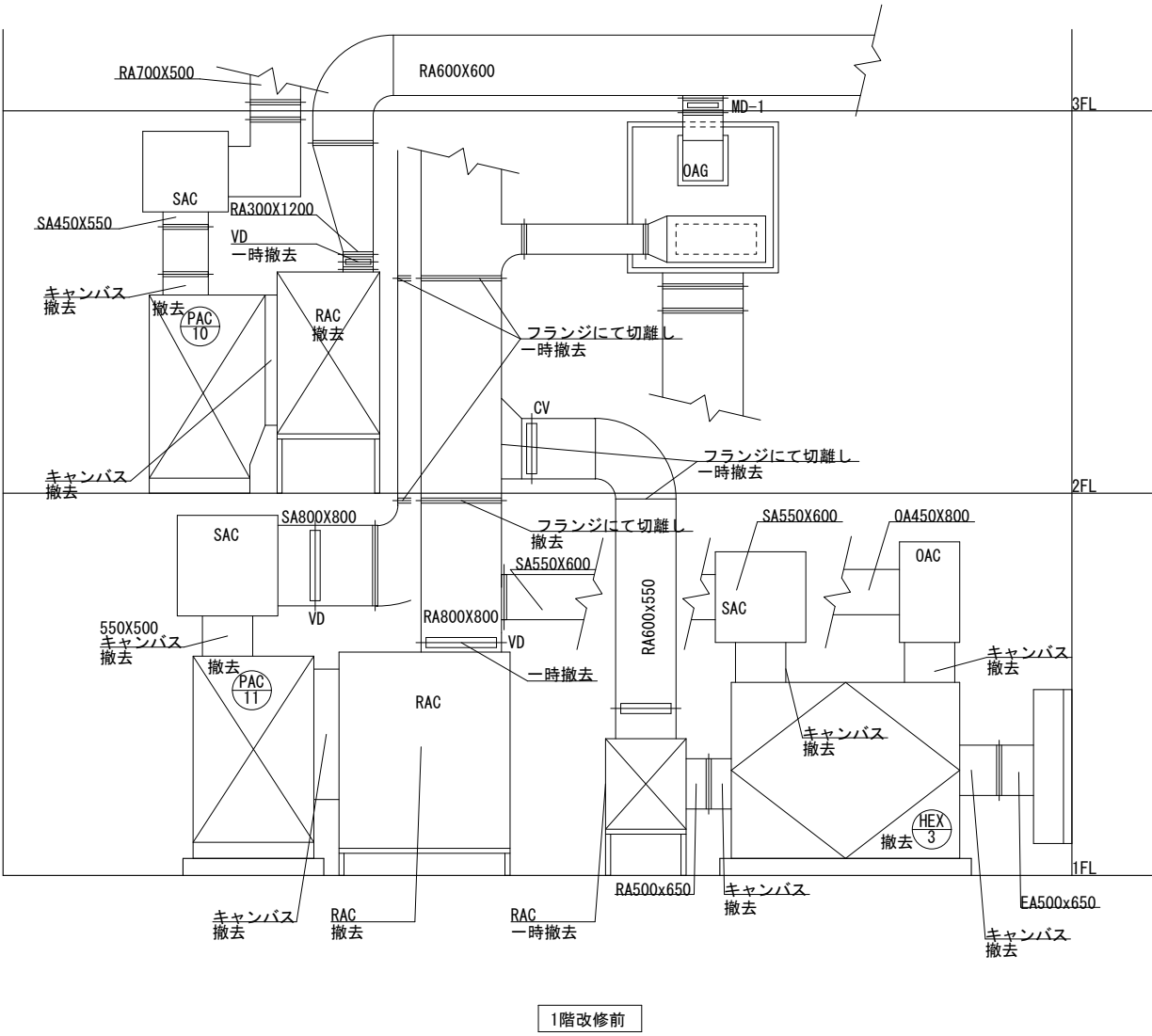
	液	管	ガ	ス	管
④	19.05φ	31.75φ			
⑤	15.88φ	28.58φ			
⑥	12.7φ	25.4φ			
⑦	9.52φ	25.40φ			
⑧	9.52φ	15.88φ			
⑨	6.35φ	12.70φ			
⑩	9.52φ	22.2φ			



1階改修図

2階改修図

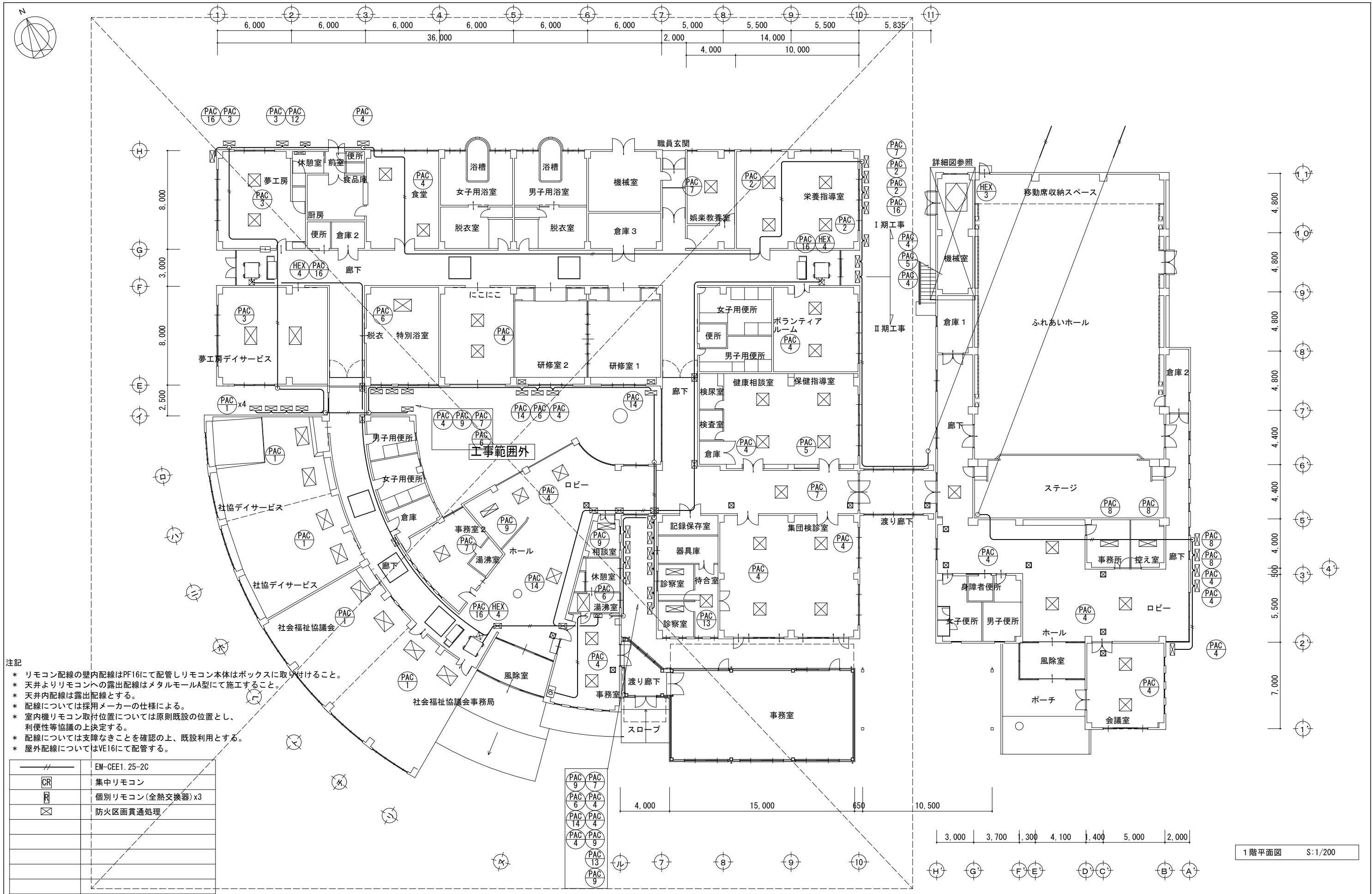
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	M-11
			訂正年月日				図面名称：ふれあいホール機械室詳細図（配管） SCALE 1/200	



たわみ接手	取付機器	中性性能フィルターユニット	取付機器
500X1050L300	PAC-10	メインフィルター70t (1.5段×3列)	PAC-10
540X1100L120	PAC-10	プレフィルター (LL-M50t)	
SAC側550X550	PAC-11	1230x1290x300	
PAC-10側550X1800L500	PAC-11	室内機接続管	PAC-11
1840X1630L150	PAC-11	相フランジ	
RAC側550X550	HEX-3	メインフィルター70t (3段×3列)	
HEX-3側485X650L250	HEX-3	プレフィルター (LL-M50t)	PAC-11
EA側550X650	HEX-3	1910x1840x300	
HEX-3側485X650L400	HEX-3	室内機接続管	
485X650L250	HEX-3	相フランジ	

\*寸法は参考とし、採用機器に合わせて作成すること

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	M-12
			訂正年月日				図面名称：ふれあいホール機械室断面図（ダクト） SCALE 1/200	

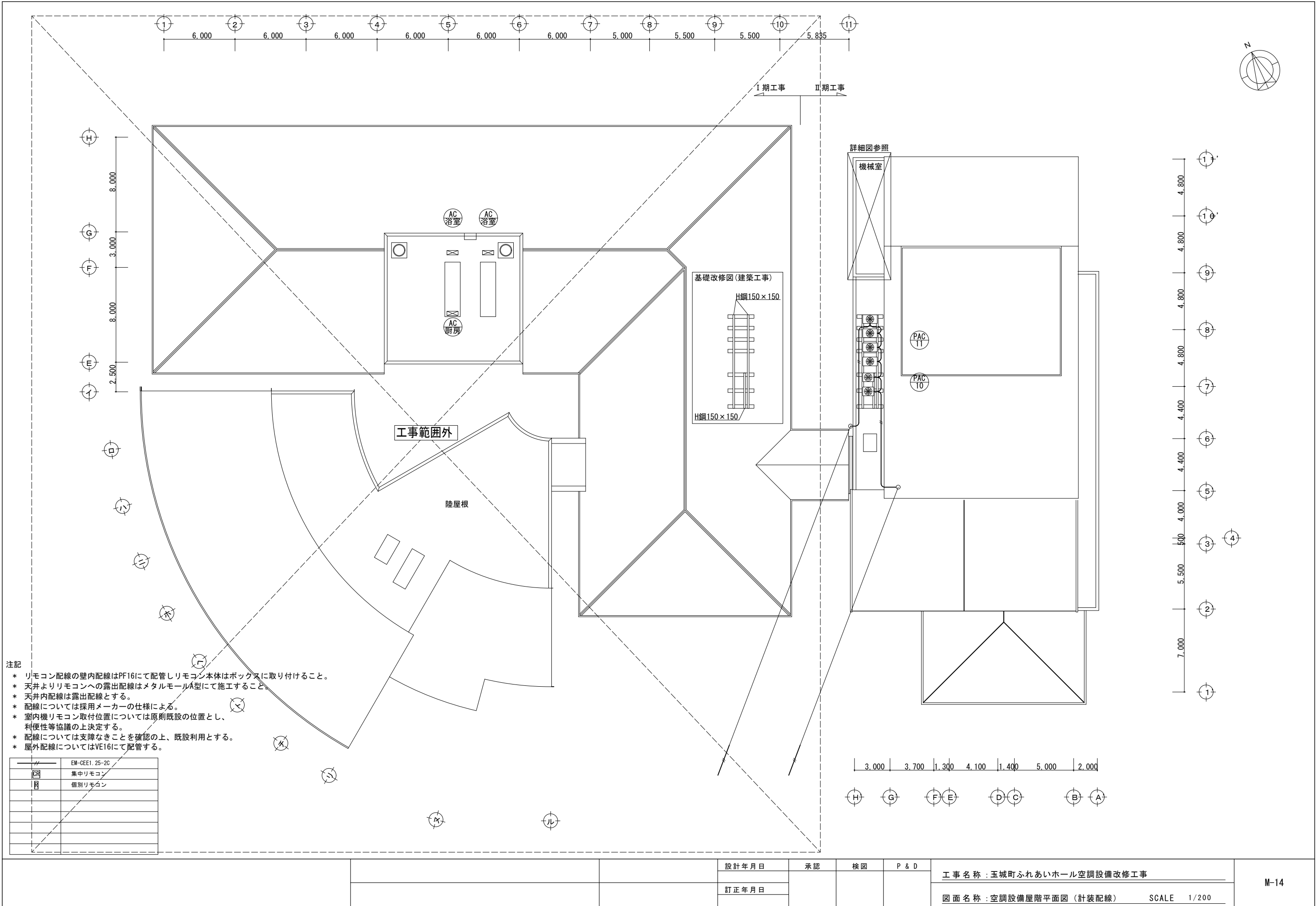


注記

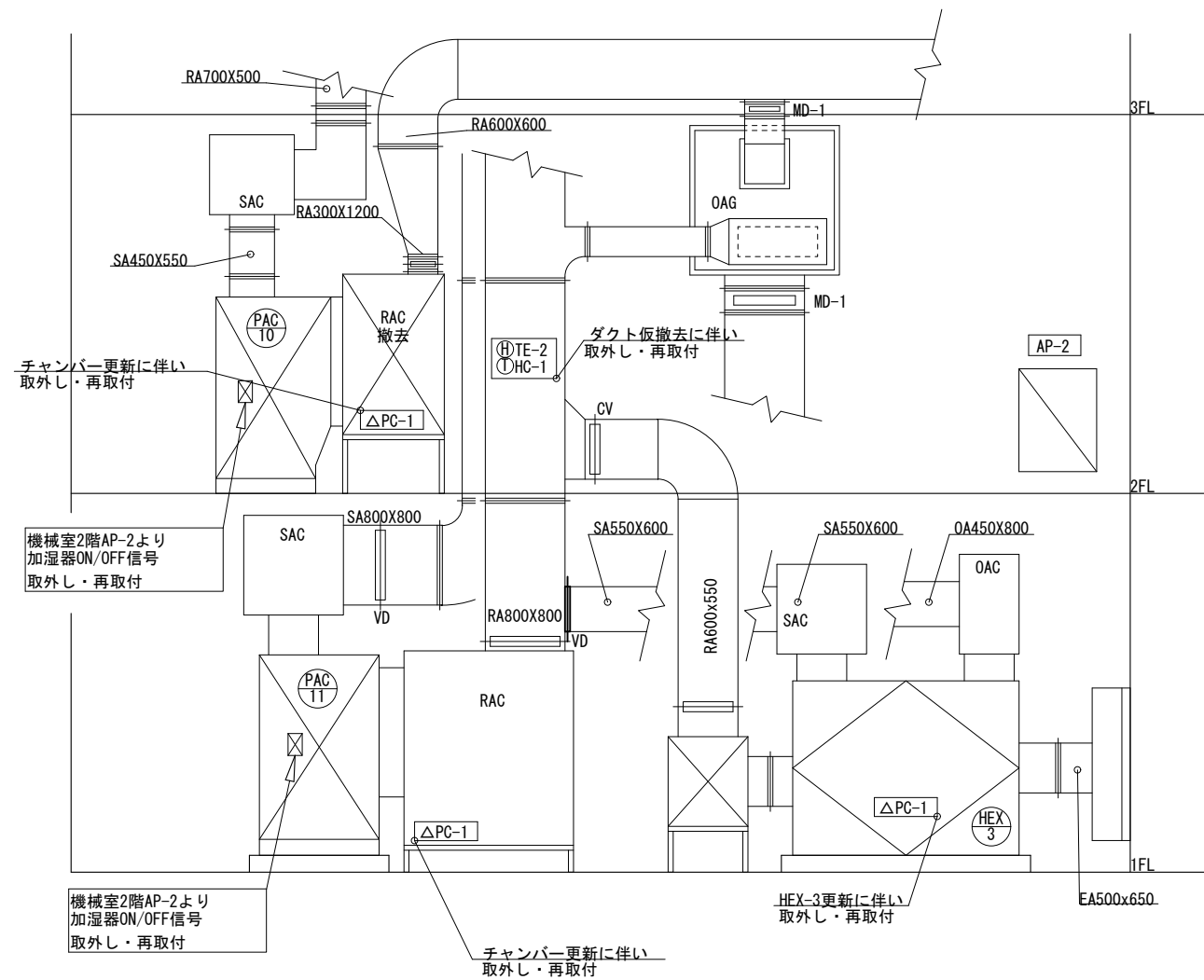
- \* リモコン配線の壁内配線はPF16にて配管しリモコン本体はボックスに取り付けること。
- \* 天井よりリモコンへの露出配線はメタルモールA型にて施工すること。
- \* 天井内配線は露出配線とする。
- \* 配線については採用メーカーの仕様による。
- \* 室内機リモコン取付位置については原則既設の位置とし、利便性等協議の上決定する。
- \* 配線については支障なきことを確認の上、既設利用とする。
- \* 屋外配線についてはVE16にて配管する。

——//——	EM-CEE1. 25-2C
CR	集中リモコン
R	個別リモコン(全熱交換器)x3
⊠	防火区画貫通処理

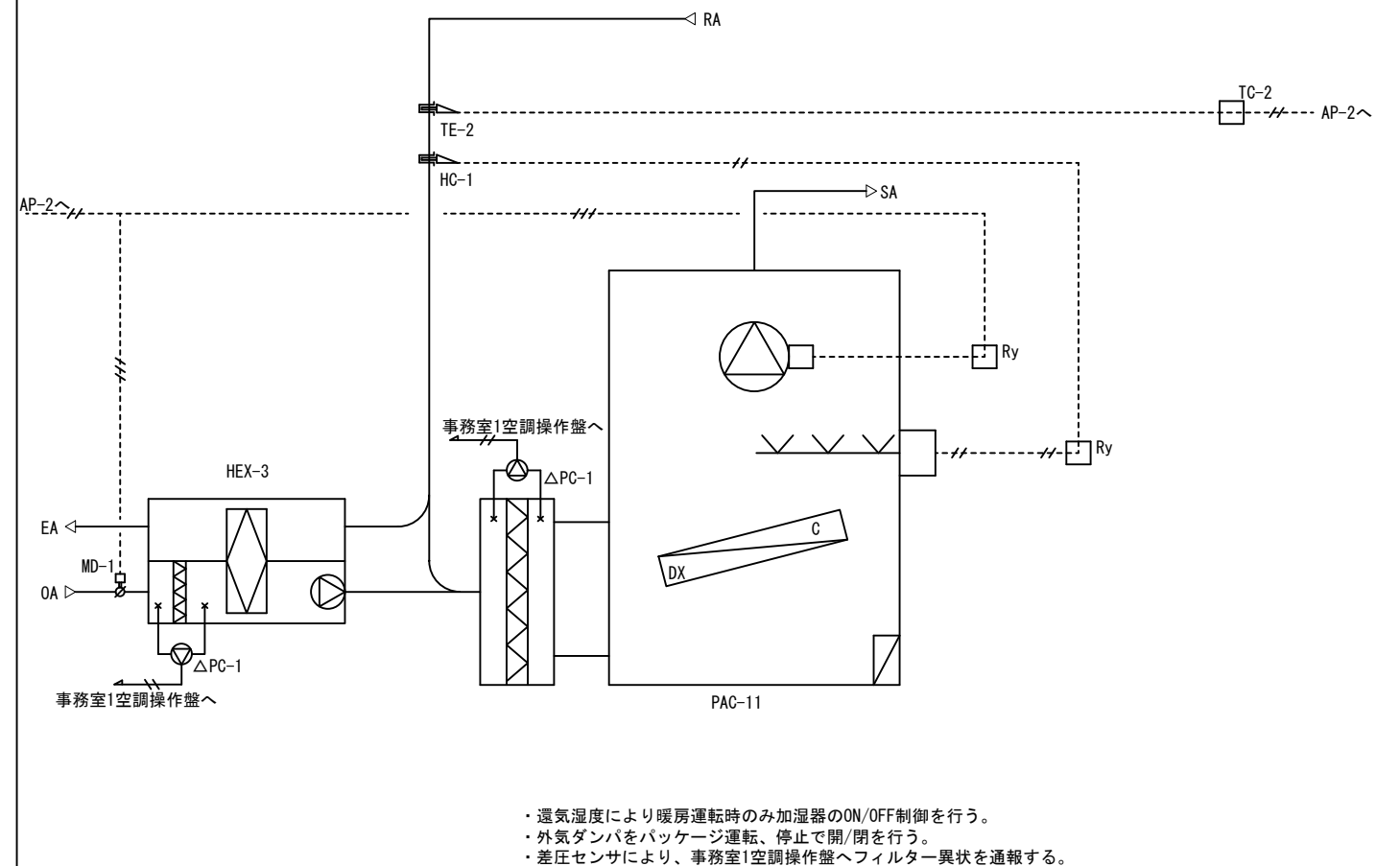
設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	M-13
訂正年月日				図面名称 : 空調設備 1階平面図 (計装配線)	
				SCALE 1/200	



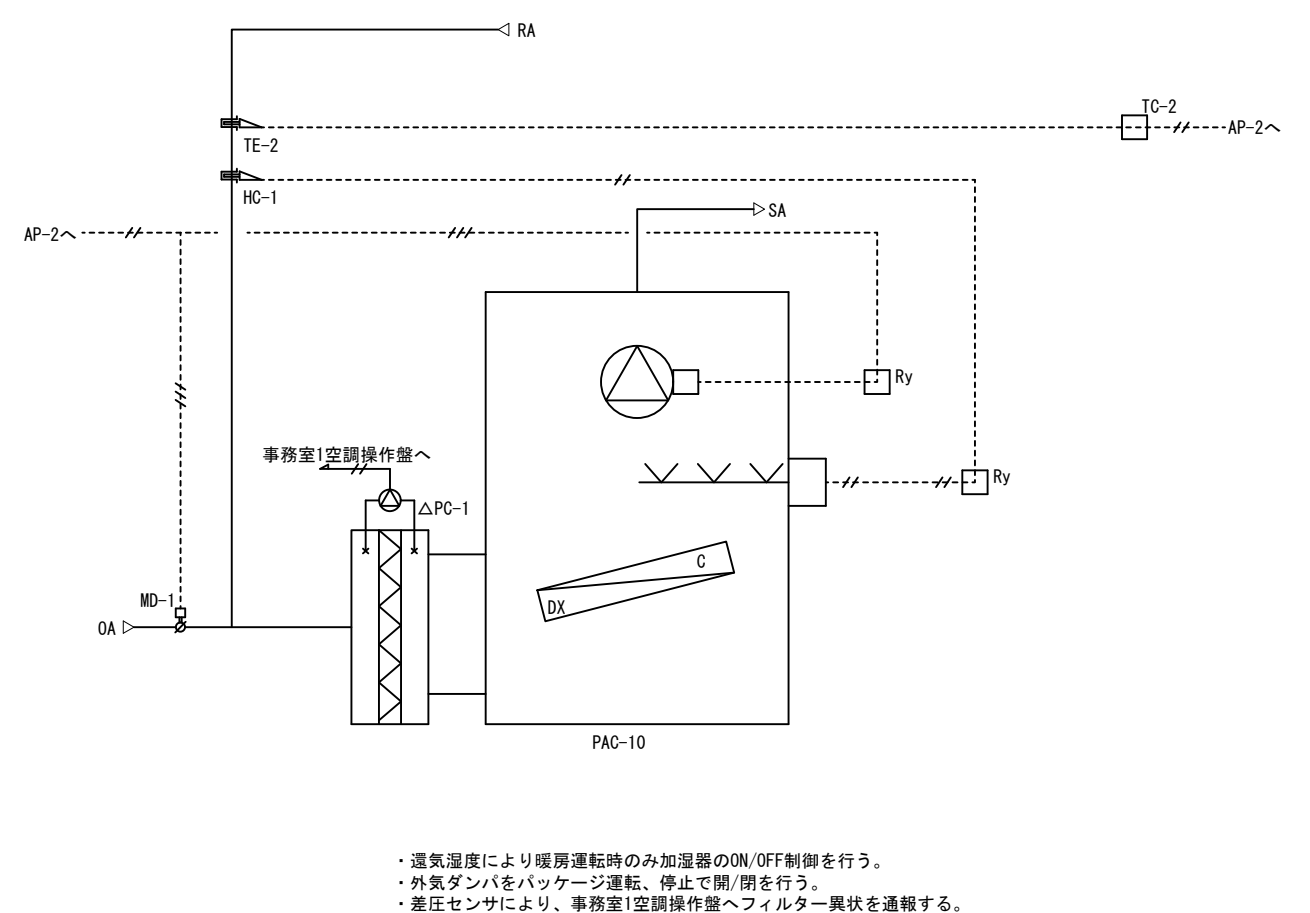
TC-2	温度調節器
TE-2	ダクト用温度検出器
HC-1	ダクト用湿度調節器
MD-1	ダンパーモーター
△PC-1	差圧スイッチ
AP-2	空調制御盤



PAC-11制御系統
------------



PAC-10制御系統
------------



			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町ふれあいホール空調設備改修工事	M-15
			訂正年月日				図面名称：ふれあいホール機械室詳細図（自動制御）SCALE 1/200	